

特集●アート・あっと・ホームな街

せんがわ 21

'94.夏

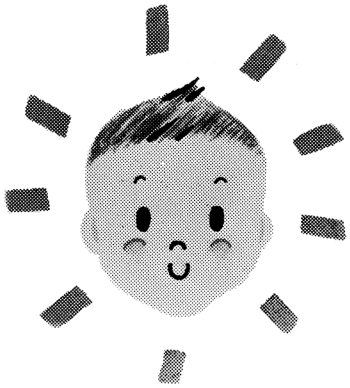
WAKODO

あっかるい笑顔、はぐくみたい。

お母さんと赤ちゃんのあったかい関係を応援する。
やさしさが基本のパートナー、和光堂。



おしぼりウェッティー
旅行に、ドライブに、ピクニックに。いつでもどこでも、簡単にスッキリ拭けるのがうれしい。



ベビーフード
赤ちゃんだって味にはうるさい。
育ち盛りの赤ちゃんにおいしい離乳食、充実のラインナップ。

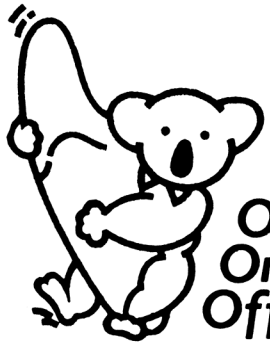


和光堂株式会社 東京工場 東京都調布市若葉町2-2 TEL (03) 3300-0111

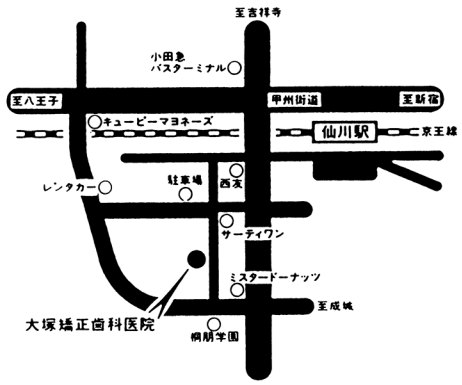
大塚矯正歯科医院

歯並びに関するお問い合わせ
御予約はお電話にてお願いいたします

TEL 3308-0707



Ohtsuka
Orthodontic
Office



休診日　日曜・祭日・金曜日
診療時間　10：00～13：00　15：00～18：30

健保組合推薦・生保指定機関・各病院御用達

●各種互助会会員取扱●

東京博禮社

低価額で立派な御葬儀を!!
￥28万より個人葬・自宅葬・大型社葬迄
クレジットカード取扱



写真（２号飾り）

≪株式会社東京企業グループ≫
24時間受付・TEL 3331-7100・FAX 3331-0585
本社　仙川町１－１－１－D２

英語の力が思うように伸びず八方塞がりで悩んでいる
今ある英語力を更にグレードアップしたいと思っている
とにかく英語に触れていたい、英語を楽しみたい
各種検定試験に挑戦して、是非資格を修得したい

敬心アカデミー（敬心外語）

<SINCE 1953>

・・・♡ こあんない ♡・・・

●対　象…３才児から成人まで
●コース…個人指導とグループ指導があります

個人指導

総合英語	各自のニーズに合わせてお選び下さい。 Generl English　Reading Grammar　Structure Composition　Business English Journalese　Entrance Exam TOEFL　STEP（英検） 中・高校生の補習 大学生の転部科
フランス語	入門のA・B・Cから上級まで
ドイツ語	総合的に指導

グループ指導

英会話	Native Speaker による楽しいレッスン
児童英会話	３歳児から中学生までが対象。 外国人教師の楽しいレッスン

スタッフから
「英会話を習ってみたいが英語から遠ざかって何年もたつ」という方…総合英語で英語の初歩から復習して会話クラスへ移ると効果的です。
～受付でご相談下さい～

●費用…

コース	入学金	年間維持費	月払い授業料	備考
総合英語	20,000円	10,000円	A．週１回選択の場合 13,000円 B．週２回選択の場合 25,000円	☆月の後半から受講する場合には、その月の授業料は半額となります。 ☆案内書は無料で差上げますので、お立寄下さい。
ドイツ語				
フランス語				
英会話				
児童英会話	20,000円	10,000円	児童・週１回選択の場合10,000円	

K.F.L.A. ガイド

専修学校 敬心外国語専門学校

専門課程（昼間２年制）

英語学科
国際ビジネス学科

■お気軽にお問い合わせ下さい。
☎03 3300-6885
FAX 03（3305）2537　10:00am～7:00pm（土12:00まで）

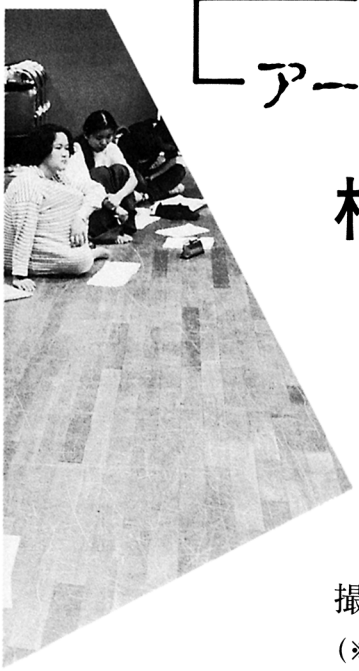
〒182 東京都調布市仙川町１－２



桐朋祭（中高部文化祭）の大たれ幕画※

ポロニアホールと発表・演奏風景※

仙川の
アート・スペース
桐朋学園







撮影　加藤純一郎

（※印は桐朋学園提供）

短大小劇場「イーハトーボの劇列車」※





ヘンリエック・ミルビス氏の公開レッスン



カル・ライスター氏（別館ホール）※





桐朋音大333教室

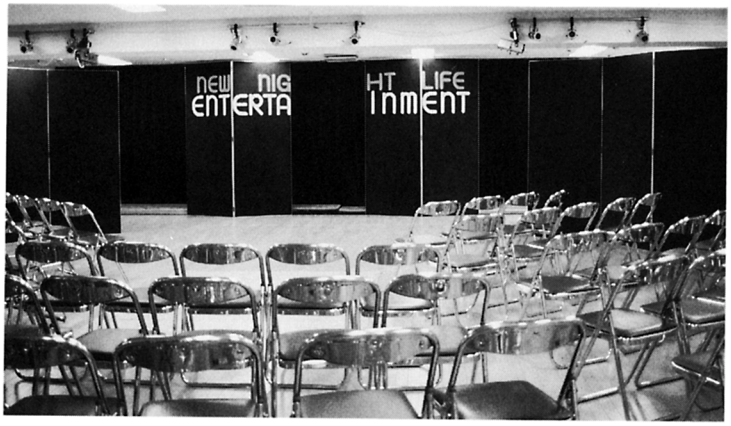


蜷川幸雄教授のレッスン（短大小劇場）





（写真提供　オフィス．ツーユー）





郡司
イベントホール
仙川



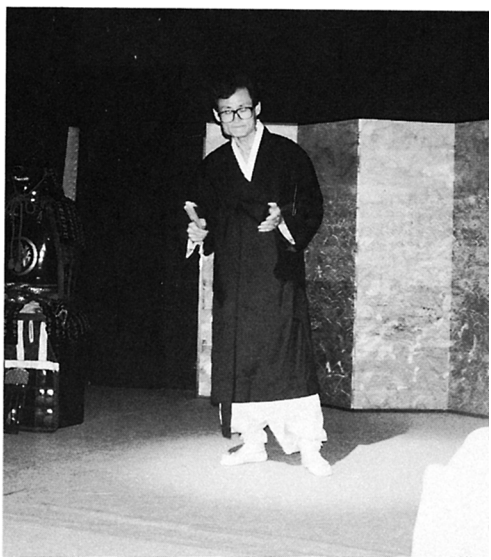
プラザ・ギャラリー
（仙川アヴェニュー）

スペース仙川

韓国の老人大学との芸能交流



（写真提供　スペース仙川）

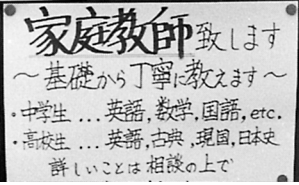


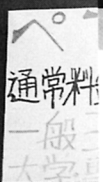
まちコミ あらかると

――某月某日の仙川――









① ② ③ ④

Photo by 山下 琢

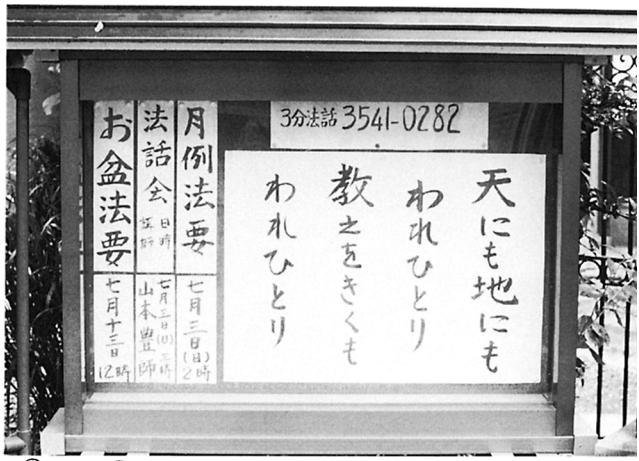

本日の催物
絶賛上演中


5th
REGULAR CONCERT
JINDAI BRASS BAND
せんがわ


声と呼吸と歌と演技
耳なし芳一
国内公演・海外公演
Tel & Fax 03-3367-8094
NEW NIGHT LIFE
'94 春のブライダル フェア
Legenda x lutnjo
オペラ・アリアと合唱のつどい
94 3 27
日本発 地球一周船旅
3.16 府中の森芸術劇場どりーむホール

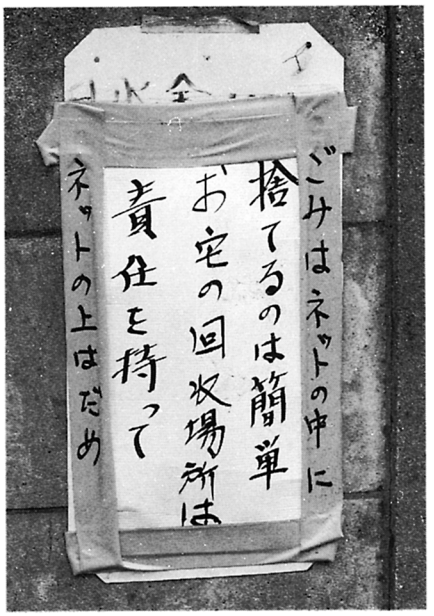

ハイドン
天地
桂歌丸
'94 3/10


法話会
毎月八日午后一時
和讃講話
親鸞聖会多摩支部例会
毎月第三土曜日午后一時
法話、歎異抄に聞く
大悲偈
常に我が身を照すなり
正信偈


3分法話 3541-0282
月例法要
七月三日(日)2時
法話会
七月三日(日)2時
山本豊師
お盆法要
七月十三日 10時
天にも地にも
われひとり
教えをきくも
われひとり

⑥ ⑤
⑦ ⑧
⑩ ⑨





⑪ ⑫
⑭ ⑬
⑮







せんがわの〝まちコミ〟〝くちコミ〟広場のメッカである、駅前南側の大きな掲示板‥

日々新たに今までに何千人ものメッセージが発信されつづけている。キャプテンシステムやCATVより、はるかに身近、手軽、確かな市民の情報交流プラザである。駅の東・西・北側にも大きな掲示板が増設されたなら、さらにどんなに便利なことだろう。

「子猫あげます」「ゴミ捨てるな」から、もっとユニークなメッセージまでが、お店のショーウインドウや町内の掲示板などの多様な場に個性豊かに発信される時、もっと楽しいまちライフが始まる。

さて、今回のアラカルト15景、すべての場所がおわかりになりましたら、写真番号、場所を記載したハガキを編集部までお寄せください。

先着10名様に「豪華な粗品」を進呈いたします。

〝肩もみ〟のうまいカメラマン　山下　琢



仙川点描







撮影　加藤純一郎

夢を共有できる街に
――小さなアート・スポットから

プランニング・コンサルタント　山岡　義典

大学を卒業して間もない頃だからもう三十年も前のことになろうか、大学の近くに院生仲間で一部屋借りて設計事務所らしきものを構えていた。その最初の仕事が、烏山駅前の再開発の絵を描くことであった。駅前の小学校が廃校になるというので、そこを中心に広場を囲んだショッピング・アーケードを作り、順次周りの商店街を整備・再開発しつつ新しいスタイルの副々都心を建設しようという構想を、私たちは提案した。しかしこの提案は残念ながら実現することなく、その小学校跡地はなし崩し的に公園や公共施設に分割されてしまったのは、今見るとおりだ。烏山駅前は確かに活気はあるが、どこにでもある駅前商店街の域を出ていない。

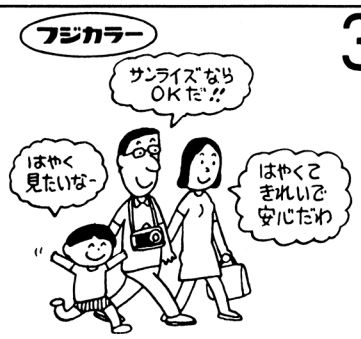
私の生活圏に仙川が加わったのは、それから数年後のことだ。妻の実家が近くにあったためで、まだその頃は京王ストアもなく、駅前からその敷地にかけては、けやきだったろうか、小さくはあるが美しい並木があった。商店街も、まださささやかなものだったような気がする。仙川に住み始めたのは、さらにその数年後、結婚して子供が生まれてからで、2Kのいわゆる木賃住宅であったが、駅に近くもあり、しかも閑静な住宅地の中で、大変気にいっていた。『せんがわ21』の創刊のお手伝いをしたのは、それからしばらくしてからであった。仙川の街が急速に変貌しはじめた頃である。

やがて子供達が成長するにつれ、さらに一つ遠くの駅、つつじケ丘の近くに一戸建を求めて移り住むことになった。二年前にもう一度居を移したが、あちこち探しながら結局もとの家のすぐ近くに落ち着いたから、家族ともども、案外気にいった地域なのかもしれない。そしてその魅力の一つは、この都会的な雰囲気の仙川に、自転車やバスですぐ行けるということにあったような気がする。週末など、結構だれかれとなく、私を含めて家族が訪れている。

さて、仙川とは不思議な街である。二つの急行停車駅に挟まれ、各駅停車しか止まらない駅の圏域なのに、それらに劣らぬ活気に漲っている。ちょうどいい位置と距離に桐朋学園という世界的に著名な学校があることがその一つの理由であることは間違いないが、駅と線路の構造が素晴らしいのも大きな理由だ。オープンカットのホームの独特の眺めや、駅の階段の上がり降りが少なく改札口が一カ所しかないことも重要だが、何よりも踏切がないのがいい。日常的にはあまり気づかないこのような些細なことが、この街を魅力的なものとして特徴づけている。勿論、実篤の思い出もその大きな要因ではあろうが。

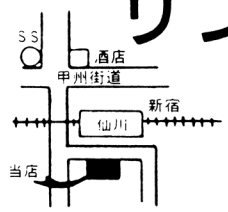
そしてそれらの雰囲気が生み出すのだろうか、小さなアート・スポットが随所に出現しつつある。日常生活と隣り合わせのこのような空間こそが、成熟社会に向かう日本の本当の豊かさなのだ。やがてそれらのネットワークは、世界に開かれた仙川へと広がっていく。そんな夢を皆が共有できる街に、そろそろなり始めているのかもしれない。





3時迄のが今日出来る店!

仙川駅前 サンライズ現像所



スタジオ撮影 証明・オーデション写真 お見合・記念撮影

☎03-3300-6808
☎03-3326-4116
ヨイイロ

BOOKS
MEDIA BOX
CD VIDEO

東国書林

営業10:30～23:00（平日）
22:30（日祭）
京王線仙川駅前
TEL 3308－5613

MAGAZINE BOX313

商店街・芝信前 TEL 3326－8424

広げよう〝実篤と新しき村〟の輪!

広げようパチンコの輪!

絶好調! パチンコ コトブキ

京王線仙川駅前 ☎3308-8450

いま!スポーツ新聞がおもしろい。

⊙一般紙
朝日新聞
日本経済新聞
東京新聞
サンケイ新聞



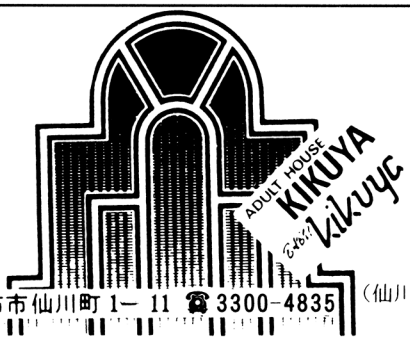
⊙スポーツ紙
日刊スポーツ
サンケイスポーツ
中日スポーツ
デイリースポーツ

☎3326-4693
調布市若葉町2-4-25神代高校信号入る

ASA仙川
所長 橋本 功

アダルトハウス キクヤ

アダルト紳士洋品専門店



ミセス ブティック

キクヤ

〒182 調布市仙川町1－11 ☎3300-4835 (仙川商店街)

せんがわ２１　目　次　No15

□巻頭言　夢を共有できる街に／山岡義典 …… 1
■特集１　「アート・あっとホームな街」 …… 6
◇ファン倶楽部／土方淳子　◇散策スポット／なべくらますみ
◇画廊街／窪島誠一郎　◇小劇場／足立　誠　◇速描／栗田行雄
◇サウンド／片桐雅教　◇サロンコンサート／澤武紀行
◇アジトパブ／青木史世　◇ミニシネマ館／村上　豊
◇寄席／別府純一　◇茶道／十亀礼子

○ミュージカルダンサーを育てる街に――郡司行雄スタジオ …… 18
○桐朋学園シアター …… 20
桐朋学園の公開とご案内／三浦利文
桐朋学園音楽部門主催の演奏会／難波　田紀夫
○実篤記念館資料館オープン …… 28
帰ってきた実篤――資料館オープン／堀　公彦
実篤記念館マルチメディア情報提供システムの概要
■特集２　「せんがわ習いごと教室・パート３」 …… 33
――時を輝かせて、豊かな時を紡ぐ――
マップ２１「カルチャーサロン・インせんがわ」 …… 34
写真上達実践講座あらかると／長　正男 …… 45

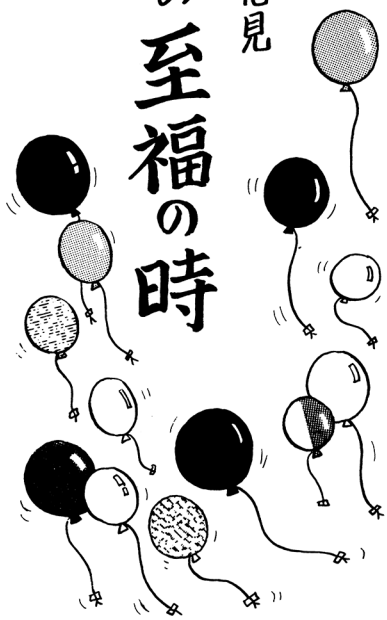
□口絵写真　せんがわのアートスペース …… G2
□グラビア　まちコミ　あらかると …… G5
□仙川点描 …… G8
□せんがわギャラリー …… 表Ⅳ

■シリーズ　10人の意見「私の至福の時」 …… 4
人と仕事　わざわざ相談室のカウンセラーたち／劉　雲 …… 47
せんがわ界隈史　仙川婦人会の歩み／伊藤綽彦 …… 50
□えっせい　コミックエッセイ　白百合女子大学を描くの記／中島りえ …… 24
六年ぶりの仙川と個展／木山司津子 …… 26
一枚の写真からの出会い／三浦隆志 …… 27
まちニティ自由大学 …… 31
□インフォメーション
フリーマーケットを仙川で …… 54
ショッピングモール …… 56
『せんがわ２１』No14――特集・せんがわ界隈史――の紹介 …… 59
読者のひろば …… 62
せんがわ21　人財＆カンパ大募集!!　編集後記 …… 67
□資料室　仙川駅の時刻表 …… 66

表紙・口絵及びグラビアデザイン／山岡義典
表紙写真　／加藤純一郎
写真・資料提供　／真垣　蓼、桐朋学園、桐朋学園大学、調布市実篤記念館
仙川商店街協同組合、京王帝都電鉄
イラスト　／こやまきょうへい、小沢基弘、鈴木美穂、山下　琢
レイアウト　／劉　雲、鈴木啓子
タイプ　／木村任男（木村企画）
ワープロ入力　／劉　雲、大久保信昭、鈴木啓子、松尾洋助
ワープロ出力　／今待幸男、三沢千恵（ワークス）
題字　／こやまきょうへい、小沢基弘、鈴木美穂、山県裕治
校正　／大久保信昭、鈴木啓子、劉　雲
広告・グラビア版下制作／木下　仁
本文版下制作　／劉雲、木下仁、新井　満、山口教良（シーダー企画）
印刷総務　／陰山俊憲、大江宏明（和幸印刷）
雑誌配布　／社会研究フォーラム

一〇人の意見

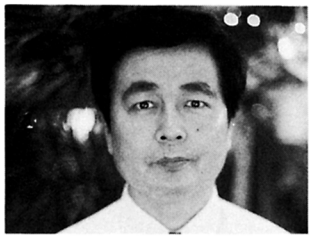
私の至福の時





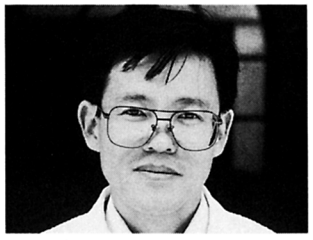
●**伊藤美雪**さん――ピッコロモンド

琥珀色の液体が渇いた喉を通り過ぎると、体中の血液がボワッと熱くなる。心快い疲労感が全身に広がっていく。この一瞬の至福のために、スキーを担いで山に行ったり、常夏の島にダイビングに向かうのかもしれない。もちろん、お店の仕事の後の一杯も格別だ。



●**さとう健次**さん――上祖師谷

平日は花店の経営、休日は各種イベントの司会が私の仕事です。ステージでは開演ベルの鳴る瞬時の身の引き締まる思い、それにもまして客席の皆さんの一斉に起こる笑顔に接する時、一番の喜びを覚えます。11月20日に日本青年館大ホールの司会があります。私の一瞬の至福を皆様!!　見て下さい。



●**日原臣仁**さん――和光堂

我が子の付き合いで野球の球拾いをしていたが、ふとした切掛けで少年野球のコーチをすることになった。子供達と一緒に同じ目的に向かって練習に汗を流し、時には叱り、励まして成果が試合に出て、いいゲームができた時は気分いい。ビールも美味しいぞ～～。子供達と喜び合う時である。



●**森田英子**さん――主婦・緑ケ丘

私は本の虫。紙も活字もこんなに氾濫していなかった頃は、品物を包んでくれる古新聞も、必ず読んだ。だから東国書林と、神代書店と、緑ケ丘図書館にいる時が至福の時。本を抱えて時間がたっぷりある時は、もっと至福の時。著者と共に世界を歩き、ヒロイン、ヒーローと共に魂は宙を舞う。



焼肉専門店　　商談，クラス会，パーティーの席にご利用下さいませ

焼肉あかべこ

午前11:30～深夜12:00　定休　火曜

サービスランチタイム
午前11：30～午後2：30　日，祭は除く

仙川駅第一勧銀前　　☎3308-4419



●**笠原千恵美**さん――歌手

わずかな節制の日々と眠れぬ夜を過ごした末に、ええい、ままよとステージに上がる。天の助けか雑念が消え、自分のイメージしたように集中して歌えた。観客の反応も良い。そうしたライブのあと、ごっくんごっくんと冷えたビールを飲む。これが最高!! この味のビールを飲みたくて、歌ってます。



●**大内正章**さん――団体職員・中原

幸せ、嬉しさ…… 場があり、環境があり、文化がある。そこにおいしい物と飲み物がある。楽しい話題があり、そしてそこに笑顔がある。それらに加え、心地よい音楽などが奏でていれば、なお良し。そして、おいしいと感じることのできる我健康に感謝! そして乾杯!!



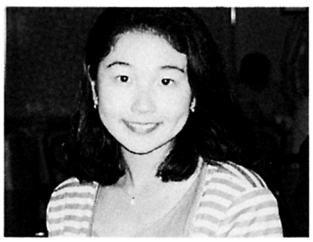
●**外山由紀子**さん――若葉町・主婦

一番幸福を感じる時は、どんな時かしら? 人様に聞かれると、決まって「寝る時」と答えてしまう。現実過ぎる答! 本当は、台所に立ち、主人のちょっと頑張った顔、年頃の娘達のことを思いながら夕食を作り、口のこえた主人が「うまい」と言ってくれた時は、文句なしに幸福を感じてしまう。



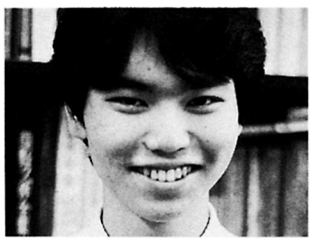
●**菅　哲生**さん――グローバル設計

建築設計の中で、最も感動を覚えるのは、建物が完成して、建物の外部足場及びシートが外れ、その建物の全体が、自分の目で確認出来るその瞬間です。建物の質感、色調、そして造形、その総合的な「かたち」が自分自身のイメージにぴったり合った時、「設計士をやってて良かった」の一言です。



●**林麗子**さん――白百合大放送研

土曜日の夜にしているボウルガーデンのDJ。お客様のリクエストに応えながらの曲紹介でお客様とのコミュニケーションが生まれたり一方通行にならない所が何より楽しくやり甲斐があります。自分の大好きな曲をBGMに、美味なお料理をいただくのは素敵な事と思います。ぜひいらして下さい。



●**河邊宗知**さん――社研フォーラム

一年前の今日この時、自分がどこで何をしていたかが、分かる時。枕もとに積み上げられた本の山が地震で崩れ落ち、その重みと痛みを身をもって知る時。いずれにしろ、私にとって多くの快楽に共通するのは、常に不定型で流れゆく「時間」が、具象的なものに凝固しているのが実感できた瞬間だ。

珍味、新鮮さで評判――築地・気仙沼より直送

〈四季の特別メニュー〉

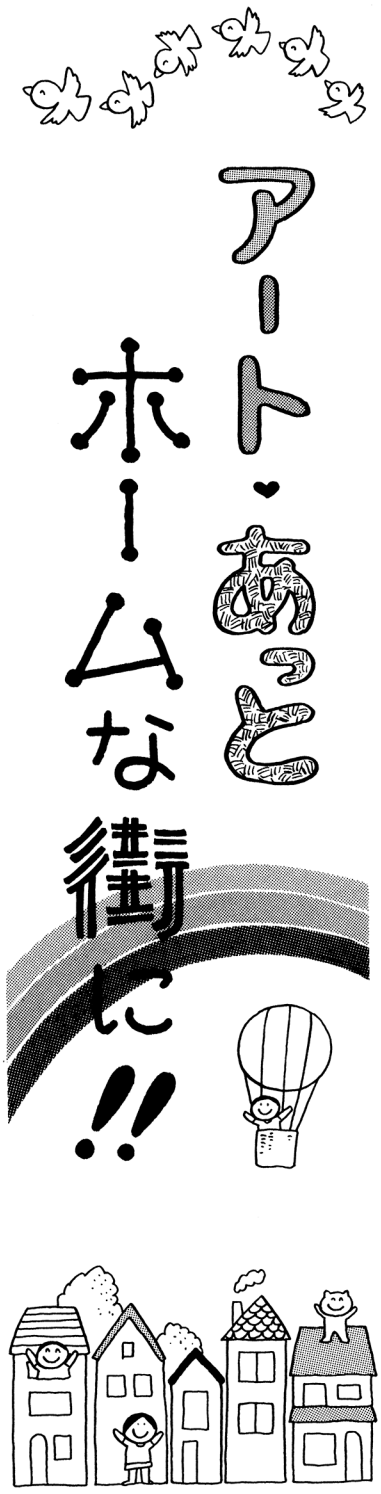
春・磯の香りいっぱいの芽かぶ
白魚のおどり喰い
夏・殻ウニ
秋・サンマの刺身
冬・殻がき(生食)

すしの磯春

<出前承ります>

仙川保育園前

☎ 3300-1710, 5002　　水曜定休



仙川にもどると〝ホッ〟とする——これがこの街の魅力の絶えざる源泉。今はまさに千年サイクルの〝世紀末〟仙川の〝元気の素〟はギャートルズパワー〝夢みる力〟この時代閉塞の脱却は己の自然性〝欲望〟の発露から〝アート＋サロン〟＝あっとホームな街・仙川の中での〝新世界〟イメージの展がり いささか独断のシナリオ

●ファン倶楽部●

古澤巖を囲むＩＦＦの仲間たち

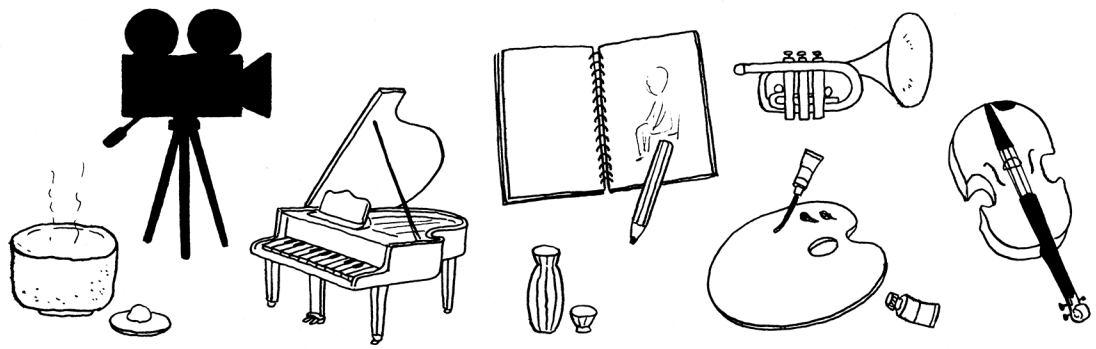
土方　淳子

どんな偉大な芸術家も、始めからその存在を世間に知られている人はほとんどいないでしょう。我らが天才バイオリニスト・古澤巖さんにしても、その例外ではありませんでした。しかし、彼にとっての幸運は、この心豊かで人情に厚い仙川の街から巣立つことになったことだと思います。

桐朋音大在学中から、古澤さんはメキメキと頭角を現し、その天才ぶりを知るところとなったアンカーヒアのオーナー・桃澤俊夫氏を「これはただ者ではない」とうならせました。そして、そのサービス精神あふれる人柄からも、「こいつを世に出すために何かしてやろう」という熱い思いを抱かせることとなりました。こうして現在の古澤巖ファンクラブ、ＩＦＦ（Iwao Furusawa Friends）が誕生したのでした。

今でこそ放っておいてもチケットが売り切れる古澤さんのコンサートも、発足当時は席をうめるのに苦労したと聞きます。現在の会員数約1、300名のＩＦＦをここまでにするには、さぞやご苦労があったことでしょう。でも、そうした手探り・手作りの活動は、今も根底に脈々と流れています。そのＩＦＦの主な活動は、例えば会員向けの会報誌の作成・送付、チケットの優先予約受付と発送や、あちこちのコンサート会場へ出向いて、このファンクラブの活動を広めたりもします。

またある時は仙川のアンカーヒアで新年会をかねてミニコンサートを開いたりもしました。これは本当にすぐ目の前で古澤さんのバイオリンの音を聴くことができ、すぐそこに本物の古澤さんが演奏しているというその雰囲気に感動したものです。しかし、この活動のお手伝いをしている我々スタッフ全員がボ



ランティアで、会長である桃澤さんご夫妻も含め、普段は皆それぞれの職業を持っています。そしていざ活動開始となると二々五々集まって来ては、その様々な立場や視点から意見を出し合い、役割分担を決めて動き出すのです。

でもそこは古澤さんのバイオリン中毒の我々のこと、その音楽活動に共に携われる喜び以外には何もありません。それほど古澤さんのバイオリンの音色は素晴らしく心にしみる音であり、またそのコンサートスタイルは今までとかく堅苦しいイメージのあったクラシックのコンサートのイメージを一掃するものであり、一度そのコンサートに行った人は我々スタッフのように、もう中毒予備軍となってしまうのです。

今や新聞紙上を賑わし、ＪＴのコマーシャルやＮＨＫなどにも登場する古澤さんは本当にお忙しく、日本全国を、そして世界をも飛び回る毎日です。そうした古澤さんの活躍はファンとしての望みであり、夢の実現でもあるのですが、反面なかなか打ち合わせもままならず、うれしいような悲しいような、まさにきんさんぎんさん状態になりつつあるのも事実です。でも、我々ＩＦＦのメンバーは、この仙川の街が、そしてこの手作りの活動が、古澤さんの原点だと秘かに自負しているのです。

（国領町）

●散策スポット●

文芸・アートの楽しめる空間

なべくら　ますみ

実篤公園と記念館を見学したいので案内して欲しい、と友人に頼まれたのを幸いに、私も久し振りで実篤氏に接して来ようと、二つ返事で引きうけた。

私が初めて実篤公園へ行ったのは、開園されたばかりの頃で、まだあまり手入れもされていず、植込みや池なども荒れていたのが、来る度に綺麗になっている。勿論、当時は記念館は出来ていなかった。

久し振りに訪れた記念館は、展示物が更に充実して、平日であるのに見学者がかなり多い。いくつかの年配者グループが、資料を片手に熱心に書や手紙などをのぞき込んでいる。また、若い人の文学離れが、しばしばの話題になっている現在、たまにでもこういう所で学生らしい人や、若いカップルに出会えるのはうれしい。

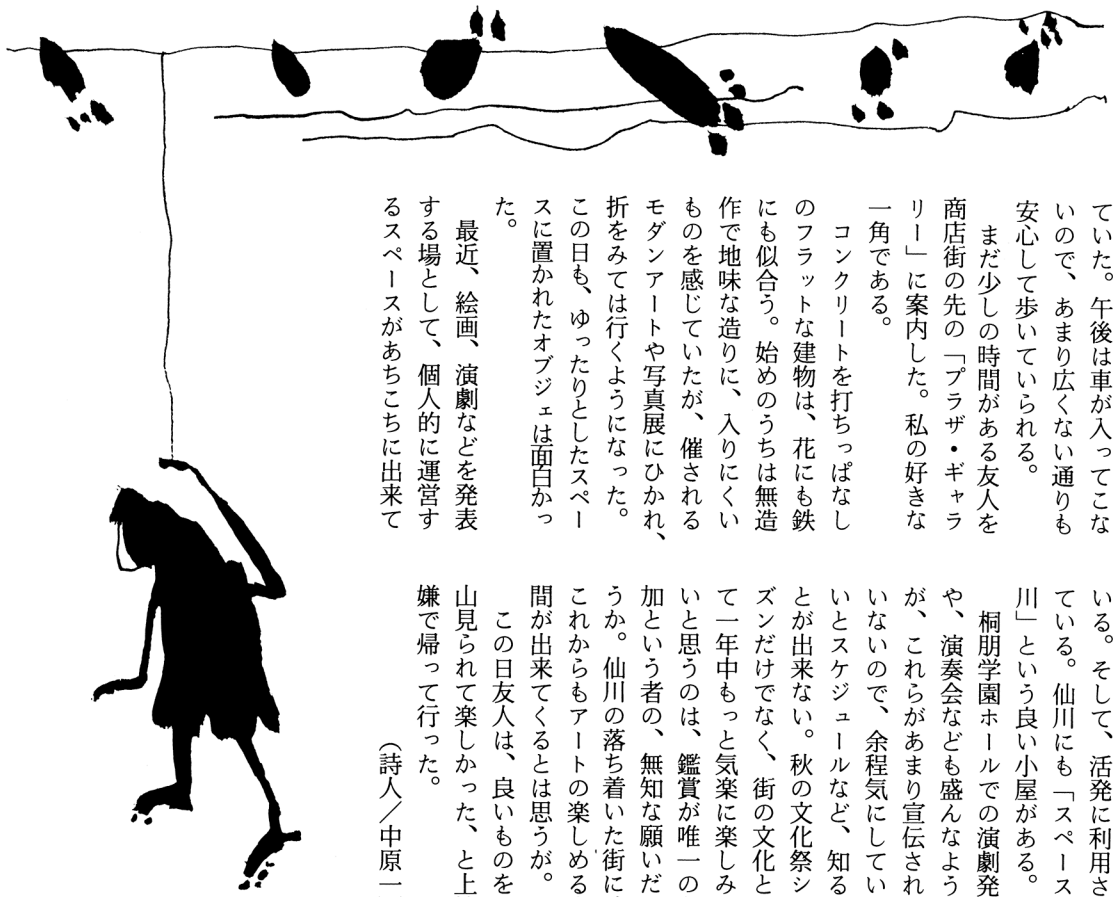
中庭の見える休憩所では、仲間同志小声で話したり、資料を読んだりしている。遠くから来たらしい女性が背中のバックを下ろし、持ってきた小さいポットからお茶を飲んでいた。

それぞれが自分の世界を大事にしながら、同じ空間を共有している。良い雰囲気だ。

私達は二年程前、埼玉県毛呂山の「新しき村美術館」で、思いがけない作家との往復書簡などを見たことを思い出し、会話がはずんだ。

見ごたえのある記念館の内容に、友人は十分満足していた。

お昼を過ぎた商店街は賑わっ



ていた。午後は車が入ってこないので、あまり広くない通りも安心して歩いていられる。

まだ少しの時間がある友人を商店街の先の「プラザ・ギャラリー」に案内した。私の好きな一角である。

コンクリートを打ちっぱなしのフラットな建物は、花にも鉄にも似合う。始めのうちは無造作で地味な造りに、入りにくいものを感じていたが、催されるモダンアートや写真展にひかれ、折をみては行くようになった。この日も、ゆったりとしたスペースに置かれたオブジェは面白かった。

最近、絵画、演劇などを発表する場として、個人的に運営するスペースがあちこちに出来ている。そして、活発に利用されている。仙川にも「スペース仙川」という良い小屋がある。

桐朋学園ホールでの演劇発表や、演奏会なども盛んなようだが、これらがあまり宣伝されていないので、余程気にしていないとスケジュールなど、知ることが出来ない。秋の文化祭シーズンだけでなく、街の文化として一年中もっと気楽に楽しみたいと思うのは、鑑賞が唯一の参加という者の、無知な願いだろうか。仙川の落ち着いた街に、これからもアートの楽しめる空間が出来てくるとは思うが。

この日友人は、良いものを沢山見られて楽しかった、と上機嫌で帰って行った。

（詩人／中原一）

●画廊街●

仙川断想——プラザ・ギャラリー賛

窪島　誠一郎

私は一年の半分を信州の美術館で暮らし、あと半分は講演や取材などで全国を旅している家出同然の男だから、世田谷（成城町九丁目）にある自宅に帰ることはめったにない。でも、たまに家に帰るときには、かならずこの仙川プラザ・ギャラリーに立ち寄って、タヾ茶をのみ、ときにはお酒や菓子までご馳走になって帰ることにしている。ご主人の伊藤容子さんとあれこれ世間ばなし芸術ばなしに花を咲かせ、最近はどこにもいゝ女がいないだの、いゝ男がいないだのとボヤいたあと、やおら恐妻の待つわが家へと足をむけるのである。

ギャラリーの壁にかざられている絵には、ほとんど眼をやることはない。「絵をみること」を職業にしている私には、何となくそれが大儀で（不謹慎きわまりないが）、よほど興味ある画家の仕事でも紹介されていないかぎりは無関心を装っている。でもときどき、容子さんご推薦の画家の絵がならべられていて、半ば強制的にその絵の感想をもとめられることがある。そんなときは、のらりくらり話題をはぐらかすか、あるいは逆に頭に血がのぼったように情熱的に作品論をたたかわすかのどちらかである。「絵をみること」は、大げさにいえば私にとって自分という人間の生霊を賭けた行為だから、必然的にそうなってしまうのである。

ときどきあんまりヒドイ絵に出喰わすと、出された菓子がまずくなる。反対に、これはめったにないことだが、いゝ絵や彫刻と出会えば心の中でニヤリとするのである。タヾで茶菓子をご馳走になって、その上いゝ芸術とめぐりあえるのだからこんな幸せなことはない。容子さん、これからもっとがんばってお酒やお菓子がうまくなる作家を発



掘してください。
　さて、そんなニクマレぐちを安心してたたけるのも、仙川プラザ・ギャラリーが今やそれだけ自然にこの町にとけこんでいるという証左だろう。私は正式の仙川町民ではなく、いわば自称「モグリの町民」だが、仙川という町のもつ何ともふしぎなふんいきには以前からひそかに心惹かれている者の一人なのである。
　洒脱なセンスにあふれているかと思えば、ヤボな田舎の匂いがあり、気位高い山の手の香りがするかと思うと、どこかに下町人情のあたたかさをもそなえている渾然一体とした魅力がこの町にはある。もうちょっとカッコよく言えば、人間の日常の営みがもつ清と濁、明と暗、光と影とが一つの箱に投げこまれたようなミステリアスな気分がここにはあるのである。さしずめ、今年開業七年目を迎えた伊藤さんのプラザ・ギャラリーなどは、その仙川を代表する屈指の「摩訶不思議空間」といっていいのではなかろうか（ちょっとホメすぎかな）。

（信濃デッサン館主・作家）

●小劇場●

劇空間——スペース仙川

足立　誠

　少々堅い話になりますが、最初に今の演劇、特に小劇場と呼ばれているモノの状況について述べておきたいと思います。
　劇団あるいは個人が一つの公演を打つのに80万から500万円ほどのお金がかかります。これは規模や芝居のスタイル、劇場などによって異なりますが最低このぐらいはかかるでしょう。本来支払われるべき役者の出演料、演出料、作者への著作料などを加えると、その倍程度かかると思われます。（これらが支払われている所は数少ないでしょう）チケット代が一枚2、500円として最低経費を得るには320人から2、000人の観客を動員しなくてはなりません。
　しかし1、000人以上の観客を動員できる劇団はそれほど多くはありません。ですから当然赤字が出るわけで、その赤字は劇団員や主催者が負担しているのです。
　ヨーロッパなどでは公演を打つ劇場で稽古をするのが普通のようです。これは市町村が交響楽団を持っているのと同じように劇団を持っていたり、劇団が劇場を持っていたり、企業がバックアップしているからなのですが、日本ではほとんどそのようなことはありません。劇場で稽古できるということほど舞台芸術を創る上で必要なことはないと思うのですが、それが出来ない状況は残念でなりません。
　このような問題は地方自治体などが演劇を取り入れていけば解決できうることであり、真に豊かな社会をつくる一つの方法だと思うのですが、それが現実となるにはまだまだ時間がかかるでしょう。
　この様な環境の中で、皆疲れきってしまい才能のあるアーティストが育たないことは大きな損失です。また商業ベースにのる芝居しか生き残ることが出来ないのであれば、演劇は芸術とはいえなくなるでしょう。
　「スペース仙川」は建坪25坪ほどの小さな小屋ですので、大がかりな芝居は無理ですし、劇場費を押えるために最低限の機材しかありません。しかし少人数の芝居や定期的な芝居には最適な空間です。オールマイティの小屋ではなく使用するのにあたってかなり限定されますが、限定されるからこそ、この空間が生かされ良質のものが出来うるのです。
　また劇場費÷収容人員では、都内で一、二を争うほどのコストパフォーマンスなので、小屋の設備などの条件さえ合えば余分な心配をすることもなくアーティストに専念できるでしょう。
　特に一人芝居など少人数で創る演劇では、観客を動員するのが難しく、また観客を増やしていくためには継続して芝居を打つことが必要なので、スペース仙川などのローコストの劇場での長期的な展開が、現時点では

芸術を創るための唯一の方法といえましょう。

芝居には劇場の廻りの雰囲気も重要なのです。仙川は活気のある商店街とスペース仙川のある裏通りが劇的な空間を助けていると思いますし、芝居の後先に美味しい物を食べながら、芝居の話ができるのも観る人にとっては楽しみの一つです。

スペース仙川では吉田央舟の一人芝居「耳なし芳一」を八年間ロングラン公演してきたこともあり、数多くの一人芝居を打ちたい方に使って頂き、互いに刺激し合いながらよりよい物を創り出す空間にし、〝一人芝居のメッカ〟にしていければと思っております。

（飛田給）

●速描●

仙川クロッキー道場奮闘記

栗田　行雄

この道場を開いて、今年六月で満十四年になります。駆出しの画材店が、お客さんの要望は何でも叶えようと張切ってのスタートでしたが、毎週の開催が一年間で、アッと云う間に五十万円の大赤字。これでは何ともたまらず、私自身の勉強のためにも、何とか継続していくことが肝心と、最初のハシャギ過ぎは考え直し、この十年間は月二回、第2、第4木曜日を開催日と定め、「スペース仙川」を舞台として、三百八十八回目を迎えるところまできました。モデルさん紹介所の方も顔となり、まあいいモデルさんを廻してくれていると思っています。

昨年十二月には、『週刊宝石』に〝たまにはマジメにゲージュツ家〟〝絵心なくてもクロッキーなら気楽〟と紹介されましたが、問い合わせは一人もいませんでした。的外れだったのでしょう。とにかく習い事は好きでなければ長続きせず、従って身にもつきません。

お陰様でこのところ、仙川クロッキー道場の雰囲気が気に入ってくださる固定客に支えられて、何とか生き延びています。

私も事業の損は自分への月謝だと思って、ほとんど皆出席に近くやったので、自分の口から云うのもおかしいのですが、だいぶ上手になりました。今では三分と云わず一分でもドントこい、クロッキーは速描の練習だから、旅のスケッチにはもってこいです。私の海外旅行はフランスの二十日間とシチリアの十日間だけですが、飛行機の中から眺めた風景とか、美術館、博物館の中でのスケッチ、動く車からのスケッチ等、片っ端から画いたデッサンが百枚以上になります。たとえ一分でも二分でもメモした線には、その時の気持ちが上手、下手を通り越して残っているものです。夢中で動かした線が面白く、帰国後何枚かは絵にもなったし、ならないものでも、その時の情景が思い出されて、とても良い記念になっています。写真にはない生の線は貴重な記録です。

と云うわけで、クロッキー道場の方の経営はその後も赤字を重ね、百万円を突破しましたが…。私自身の内に残ったものと天秤にかけて、収支の決算はまあまあだなと思っているところです。

（モッテ店主）

●サウンド●

ハーモニータウンの街角コンサート

片桐　雅教

仙川は以前から学園都市として成長をしてきた街、又実篤公園に代表される文化の薫る街でもあります。その中にあって、日本を代表する音楽家を数多く輩出している桐朋学園と仙川駅、甲州街道とを結ぶ仙川商店街を何か特徴づけようと考え、音楽のイメージを全面に打ち出し、音楽と調和をテーマにお年寄りから子供までみんなが一つに調和する街づくりを目指しております。

そこで、これまでのショッピングモール仙川を2年前から〝ハーモニータウンせんがわ〟

と改名し、商店街の四つのブロックごとにトランペットタウン、バイオリンタウン、ピアノタウン、ハープタウンと楽器名で区分けしています。各タウンの街路灯にはその楽器を型どったペナントが取り付けてあり、仙川橋のところにはそのシンボルとも言うべき曲線美を生かした3本足のアーチがあり、〝音楽の薫る街〟に相応しく時間別に四つの種類のオルゴールの音色が流れます。



街の中を音楽をベースに人々がふれあい、語り合いができる、そんな親しみのある街であれば最高だと思っています。仙川で〝おらほせんがわ夏祭り〟を始めとしてワクワクするようなイベント、心温まるイベント等を数多く企画していますが、こんなイベントをご存じですか――

〝街角ミニコンサート〟

各タウンの商店街通りの店先で小さなコンサートを年数回開催しています。第1回目は各タウンごとの楽器で4ブロック同時に開催し、第2回目以降は四つのブロックを縦断演奏し、通り行く人々に道端の生演奏を楽しんでもらい、身近な音楽に接して、よりいっそうのふれあいを感じて戴ければと思っています。各店の看板があったり、とてもコンサート会場とは思えない場所もあります。雨にふられて傘をさしながらもじっと聴いてくれる人、大きな拍手をしてくれる人、横目でチラッと見ながら急ぎ足で行く人。でもこれが我々が目的としていたほんとの〝音楽をベースにしたふれあい、親しみのある街〟ではないかと思っています。

魚屋さん、八百屋さんの横にブティックがある街、そういった庶民的な街の小さな、小さなコンサート、通りすがりに演奏していたら、立ち止まって聴いて見てください。

（仙川商店街協同組合理事長）

●サロンコンサート●

音楽の中に街が居る

澤武　紀行

仙川の街にお世話になるようになって、今年で七年目になります。桐朋学園大学があるので、とても音楽色の強い街だなァという印象を受けます。しかし、意外にも街の中に演奏する場所、演奏を聴いてもらう場所がない。演奏者にとっては聴いてもらうということがとても勉強になります。また、聴き手も「自分もあの様にまではならなくても、何か少し演奏できる様になりたい」と、新たな自分を発見できるのではないかと思います。

ブティックを経営されている稲川さんは、とても熱心に声楽とピアノを習っておられますが、稲川さんいわく、「絶対、ピアノや歌を習いたい人はいるはず。ただきっかけが無いだけ」。実際僕も稲川さんのお店で、その様な方にお会いしています。

では、きっかけとは？

まず仙川に大人（とはかぎり

ませんが）対象の音楽教室というものがあるだろうか。残念ながら公けの場所はない様です。個人で習っておられる方は、いると思いますが。

今、カルチャーセンターが盛んになっていますが、僕の知るかぎりでは、音楽を楽しく、かつ上手になろうという主旨の教室は少ないです。何か特別なもの、会社経営のものが多いのではないでしょうか。音楽とは別に特別なものではないのです。

さて、きっかけが出来ました。「では、どこかでレッスンを」と考えた時、ほとんどの方はこまるのではないでしょうか。やはり教室というものがなければ、実際の行動には移せないのが現状です。教室といっても、かた苦しい場所ではなく、自分をみがきつつ、同好の士としての情報交換や交流の場になってゆければ、とても素敵なことではないでしょうか。それこそ、月に一度、仙川で音楽をしている人達で発表会をやったり、ミニコンサートを週に一、二回やったり。街のサロン、そうです!!サロンにすればいいのです。サロンとは、フランスなどの大邸宅の大広間、特にパリ上流婦人の客間における招待会、名士の集まり、とあります。といっても、そんなぜいたくな空間を仙川で望むことはむずかしいですが、ほんの少しおしゃれに集まるというのも素敵ではないですか!

地域が音楽の中にあるといった素敵な街に、この仙川はなってほしいと願っています。自由なる欲望の発露＝アート。田園的な風景を担保しつつ、都市的な〝サロン（クラブ）〟といった同好の士によるスペースを多種多様に持つ、アート＋サロン＝あっとホームな街。仙川にとって、素敵な街のキャッチフレーズではありませんか!



●アジトパブ●

ジャズが聴こえる……洒落た会話と

青木　史世

仙川商店街の永楽信用金庫があるビル二階に「ザ・ボール・ガーン」はある。広いスペースはすでにふたつの印象を持っているのだが、それらをリンクさせるように現代アートの作品集がさり気なく飾られている。

「うちはけっこう若いコたち白百合の学生さんや桐朋の高校生たちがワイワイやってくれています。でももうちょっと年齢を重ねた方々にも来ていただけるような店にもしたい。誰かと自分のスタンスを超えて何かを話したい時、年を重ねたからこそ何のてらいもなく口に出せる夢を話したい時に『アジト』のように集まれる場所にしたいと思ってね。それで今のスペースを二つに分けてみようかと」オーナー藤内さんは自分の思いつきが楽しいらしく、イタズラ坊主のような笑みをみせる。

藤内さんと仙川の街の出会いは偶然だった。友人が柴崎に住んでいて、買い出しに仙川の京王ストアに来た際、商店街の人通りが多いのに惹かれて、この街で商売をしようと思ったのが仙川に関わった最初だという。

「もう十五、六年以上も前のことになるんです、ここで店を出そうと思ったのは、仙川の街って人通りが多いし、独特の雰囲気があるでしょう。大学が二つあって、しかもその一つが音大で、街にはまごうことなくアカデミックなものがある。でも、それを売り物というか、表面きってかざしていないところが大好きです。僕がここに来てから、この街も徐々に育ってきています。それに伴って僕も育っていくような気がするんです。ええ、僕も『ほんもの』になっていけるような気がしてね」

文化とは人々が生活することあるいは生活するのにエネルギーとして必要なものなのかもしれない。だから、市井の人々の感

性からはずれたものは文化といえない。人々が明日への活力を得るためにどこかで集いたいという想いを持つのは自然だろう。集う場所が、ある知人の家であってもいいだろうし、ある店であってもいい。そういう場所がある街だということが大切なのだから。

「そう、あまり堅苦しく考えてほしくありませんね。ちょっとおいしいものが食えて、ほどよくお酒が飲めて、この地域に住んでいるアーティストが歌うのを聴いて、洒落た会話ができて……そんなところがあればうれしいじゃぁありませんか」

藤内さんと話していると、未来がまだたくさんあった青春の日々のフィーリングが戻ってくる。当時に旅したイタリアとそこで出会ったレストランのマスターの声が耳元でするような気がした。

「セニョリーナ、あなたが食べたがっていたパフェを作ってみたよ。どうだい、これで日本にいるようだろう？　ここだってあなたの居る場所なんだよ」

（若葉町三）

●ミニシネマ館●
〝仙川名画座〟——パトロン求む

村上　豊

仙川に住みついて二十余年。ここ十年程は、教員生活のかたわら映画三昧の日々で、試写会と映画館を求め、新宿・銀座、はたまた大井町・横浜にまで足をのばす有り様で、毎年二〇〇本を超える映画を観ている。

四年間の大学生活をおくった広島でも、今程ではないものの、結構映画を観ていた。が、上京当初の半年間位はさっぱり映画館に足を向ける気持ちにならなかった。おそらく、新しく始まった教員の仕事に慣れるのに精一杯だったからだろうが、遠い映画館と高い料金に違和感をおぼえたことも大きな理由だった。

どこにでもほぼ自転車で行けた広島と違い、新宿にせよ渋谷にせよ、映画館に行くのに電車で三十分弱というのは、正直億劫だった。また、東京の映画館のほとんどが一本立て興行だったのにも驚かされた。今でも地方都市では見かけるが、広島では新作でも二本立てが普通だったので、それに慣れた頭には料金が異常に高く感じられた。しかし、映画の虫はしっかりと復活し、今日の状況を迎えている。

東京で最初に行ったのは国立スカラ座で、『イナゴの日』と確か『卒業』だったと思う。その国立スカラ座ももう無い。地価の高い東京で、レンタルビデオの普及する今日、小さな名画座が消えてしまうのは必然なのだろうが、残念なことだ。京王線沿線には特色のある展開をしている映画館もあるが、「こんな映画館が仙川にあったら」と思うそのイメージをつづってみよう。

まずは館名だが、やはりここはオーソドックスに〔仙川名画座〕で。客席数は一〇〇名前後。イスは幅の広い方が良いが、むしろ前後の余裕があり、イスの背に頭がおさまる位のものが疲れなくて良い。前の座席と半分ずつズレた配置だと、前の人の頭がジャマにならなくていいんだけど。当然、スクリーンも少し高めの位置で、音響もサラウンドまでは必要無いけれど、ドルビー対応にはしてもらいたい。ロビーには一〇〇円で使えるコインロッカーが設置されてて、〔Light & Shadow〕といった仙川名画座通信などが置いてあると言うこと無い。また、ビールとレギュラーコーヒーの自動販売機がほしい。

しかし、何と言っても番組が大事。配給の関係が難しいため、館主がいつも苦労しつつ洋画の名画を並べ、七時三〇分から始まるやや早めのレイトショーでは邦画の古い作品を日替わりで特集を組んでいますというのが、最高。時に、フィルム・ノワール特集や狸御殿シリーズ特集なんていうのがあると嬉しい。料金は大人で一〇〇〇円だと有難いけれど、一二五〇円でも無理かな。一万円で十回観られる会員チケットなら、買っちゃうな。

そして、館主の伯母さんが映画好きの娘と一緒に、近くで呑み屋を開いていて、美味しい日

本酒を飲ませていたりしたら、もう毎日でも通っちゃうんだけどなあ。こんな、近くて安くて内容の充実した〔仙川名画座〕のオーナーになってくれる人、誰かいませんか？

（桐朋女子中・高校　教諭）

●寄席●

〝いわし〟と〝人〟、〝寄席〟の愉しみ

別府　純一

仙川の下りホームから見上げると、天婦羅といわし料理を生業とする「こしじ」という店がある。

私は最初、健康のためにも、いわしのＥＰＡ（注）で酒が呑めれば、という気持ちで暖簾をくぐった。

ところが、いわしの料理だけでも十数種類、持ち味をとことん生かそうとする熱意と工夫がうかがえる。以来十余年、お蔭さまで還暦の今日まで元気に通い続けている。

こんなに永くあきもせず通っているのは「いわしと酒」があるからだけではない。心の通う気のおけない人々との出会いがあるからでもある。

主人は京都出の脱サラで、自ら包丁を握る心やさしい男である。一方女将は高井戸の井戸で産湯を使った一寸した美人の江戸っ子である。女将居るからこの店は成り立つとのもっぱらの評判である。

常連も、それぞれのかみさんから見放されたおじさん達と、罪ほろぼしのために仕方なくさえない表情を浮かべて古女房と同伴で現れるカップル、そして結構いい所に勤めているくせに赤い糸に恵まれない放れ凧の面々、しかし人間としては皆魅力満点で、出張などで三日も逢わぬと懐かしさがつのる。

私をひきつけるもうひとつのものが「寄席」である。

間もなく十年になろうとするのだが、常連客の落語家桂南治師匠の骨折りで始った「新春こしじ寄席」で、毎年正月の二日間、二階の座敷で盛大に催されている。

高座には我々二十数名だけで聞くには勿たいない顔ぶれで、今はなき三遊亭柳好師匠の味な噺も忘れられぬし、最近では講談の華、神田陽子さんの明るい雰囲気と色気に魅せられている。年に一回といわず、桜と月見の季節の二回ぐらいは増やしてほしいと私なりにプッシュしている。

決して、寄席の後の「喰い放題、呑み放題」が目当てではない。

（注）ＥＰＡ――エイコサペンタエン酸の略。とにかく中年期の人には最高です。三十数年漁業に生きてきた私が申し上げるのです、信じて下さい。

（緑ヶ丘一）

●茶道●

茶室に集うということ

十亀　礼子

〝茶の湯〟の心の真髄といえば、千利休の唱えた「和敬清寂」の四文字に凝縮されているといえるでしょう。

「和」これはお互いに和やかに仲良くするということです。それは、人と人、人と物など全ての間に作ることができます。英語にすると、Harmony となります。「敬」は敬い合うということです。「清」は清らか、それも見掛けだけでなく、心の中まで清らかであることを意味しています。「寂」は落ち着きとか、平安、平静、つまりどんな時にも動じない心を表現しています。

茶道では、年令や性別、肩書などに左右されることなく、皆茶の湯を学ぶ仲間として集い、敬まい合っているのです。

さて、このような精神の下に我家の茶室には小学生から五十過ぎの方まで、時には外国の方まで、男女を問わず、お稽古に励んでいます。

お稽古の時には、さあ今日はどんな道具の取り合せにしよう

か、床に掛ける軸は、花は、お菓子は、器は、とあれこれ迷いながら決めていきます。これが楽しみでもあり、頭を悩ますことでもあります。「一期一会」の心意気とでも言えばよいのでしょうか。

朝から部屋を清め、菓子を作り、花を生け、炭火を熾し、釜を懸け、という具合にバタバタと走り回りながら、一服のお茶を頂くための用意をします。そうして、着物に着替えて、茶室に入ると、それまでの慌しさが嘘のように落ちつきます。

お茶室は別世界、小宇宙とでも言えばよいのでしょうか。日常から切り離された一時が過ぎるのです。話題は専ら茶の湯のこと。茶の湯は日本の総合文化といえますから、書、花、建築、焼き物、歴史……と全てが含まれます。そこで話もありとあらゆることについてとなります。



「鴨居」や「敷居」を知らないことにショックを感じたり、紙で作られた安藤忠雄作の茶室を詳しく知っているのに驚かされたりと、お互いの知識や経験を分ち合うといった感じです。

正座の苦手なお嬢さんが次の手順を考えてまめに動くようになったり、苦いお茶に顔をしかめていた人が甘いお菓子の後のお茶を待ち遠しく思われるようになったり、気に止めることも無かった草花に季節の移ろいを感じるようになったりと、人それぞれに変化していくのをお互いに実感できます。これは本当に嬉しいことです。又、手前味噌になりますが、お茶を続けられる方は皆さん若々しくなるようです。

最初は、ご近所のお子さんにお稽古していたのが、お母さんも、又そのお友達もと、我家の茶室に集う方々は思いもかけない広がりとなりました。

茶室に集う方々と共に「和敬清寂」の精神で、より美味しい一服のお茶を目指していきたいと思うこの頃です。

（若葉町三）

『ヨーロピアン・ポースレイン・アート』

チャイナ・ペインティングをご存知ですか。白磁の器に筆で絵を描いて、家庭用の電気炉で焼成するホビーで、日本ではまだ歴史が浅いのでご存じない方も多いでしょう。

チャイナ・ペインティングには、大きく分けと、細い筆で緻密な絵を描くヨーロピアン・スタイルと、太い平筆を使い、筆さばきのテクニックを駆使するアメリカン・スタイルの二つがあります。この本ではヨーロピアンをベースに両方をミックスさせ、普通の絵を描くような制作方法をとって作られた作品が紹介されています。



学生時代からアンティークが好きだった松村さんは、骨董屋のウィンドウでいつも見るだけでおわっていた素晴らしい作品を、自分の手で再現できたらとの思いを込めて制作を続けてこられました。最近では、この分野の本や材料の入手がずいぶん楽になりましたが、試行錯誤の時期もあったとのこと。

「ダイニングテーブルの上で制作ができ、作る楽しみ、使う楽しみ、プレゼントして喜んでいただける嬉しさなど、盛りだくさんの夢をあわせ持ったチャイナ・ペインティングを、多くの方々に知っていただきたい」と松村さん。

この本は自費出版なので一般の書店には出ていません。興味のある方は松村さん（☎3308・8762）までご連絡ください。

A4判カラー32頁総アート

頒価三八〇〇円

生鮮食料品のビックストアー

新正宿 MARUSHO 仙川駅前店

年中無休 10：00～22：00　　☎ 3300-1415

Elégance boutique

ehime | CHOFU SENGAWA 1－12－12　TEL 3326-2476

PHOTO TECHNIKA テヒニカ

カラー・モノクロ
撮影一般

D.P.E

（旧ＢＩＧＷＡＹ）

03-5313-1949

A.M9：00~P.M9：00

仙川郵便局前

田村耳鼻咽喉科

仙川郵便局前入る、仙川駅１分、新宿寄ホーム際

☎ 3309－2884

診療時間

月水金

９時～12時　２時～６時半

火木

９時～12時　２時～５時

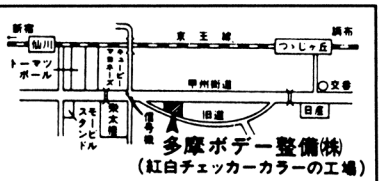
土

９時～１時

日、祝休診

磨いてだめなら　塗り替えましょう！

解体部品装着ＯＫ！　安く直ります



多摩ボデー整備K. K.

調布市東つつじケ丘１－15－３　甲州街道滝坂　☎ 3307-6105

月星シューズ 月星化成株式会社

月星特約店

UC・JCB・VISA・MC

靴の明治屋

仙川商店街中程　☎3300-1067



コーヒー専門店

商店街中程

AM10：00～PM11：00

☎3308-9497

割引券

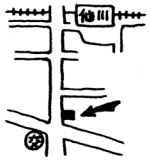
※本誌ご持参ください、お買上げ金額より、
一割引いたします。(有効期限94年8月31日)

手芸、和洋裁、毛糸、コットン

なかや本店

調布市仙川町1－15－28

☎3300-6805





子供服

水曜定休

☎3308－1931

いながわ

味よし，ボリュームあり，安い

ちゃんこ鍋

桃乃花

手作りおつまみ沢山あります。パーティー承ります。

営業時間12：00～14：00(日，祭，休み)
17：00～23：00

定休・第1水曜・第3日曜

神代書店2F
☎3326-8047

食事と喫茶

プレシャス カフェ　☎3226－5123

東京都調布市仙川町1－16－18 杉田ビル2F

－受付時間－

平　日 パーマAM9:30～PM5:30
カットAM9:30～PM7:00

土・日曜日 パーマAM9:00～PM5:30
カットAM9:00～PM7:00

ヒロ美容室

☎03-3326-1287

渡辺ビル1階（和光堂正門前）

定休日　毎週火曜日、第二・三月・火曜日

内科　理学診療科　胃腸科
人間ドック　各種検診　その他
(英文診断書受付)

愛和クリニック

The Aiwa clinic , English spoken

木、日、祝日、土午後：休診　03-3308-5477

仙川1－15－47（京王ストア駐車場前）

ビデオレンタルと制作

M&M

営業時間　正午～午前1時　年中無休

仙川町3－2－15　☎3308－2494

ファッションガード　(特殊撥水)
ソフトな仕上り！



三愛ドライクリーニング

日・祭日営業　☎3300-6763

仙川町1-33　(若葉町2丁目交差点際)

仙川ブロードウエイ——

ミュージカルダンサーを育てる街に

郡司行雄スタジオ

細川前首相を人呼んで『殿』と言う。ゴルフはシングル、スキーは元インターハイの選手、テニスの相手はプロ選手。佳代子夫人は文化と芸術を愛し、自らオペラ『蝶々夫人』の舞台に立つ。地元、熊本では細川殿より人気が高い。

平成元年、保険会社のコマーシャルコピー『一歩先を行く女房殿』という言葉が流行した。女性が一歩先を行く家庭は一家爛漫になれるという意味である。朝ラッシュ時の仙川駅には、女子学生が大挙して改札口から出て来る、その中の楽器を持った数人の学生は左の桐朋学園、右には白百合女子大学。そして武者小路実篤記念館。女性上位、文化と芸術の匂いのする街である。

仙川にダンススタジオを構えた男

平成二年秋、一人の男が数冊の台本と楽譜を鞄に詰め込んで、この街にスタジオと居を構えた。郡司行雄46才、ミュージカル『メイム』で、今は亡き越路吹雪の相手役に抜擢され一躍スターダムにのし上がり、『ウエストサイド物語』『ラ・マンチャの男』など劇団四季や東宝の数多くのミュージカルに出演し、さらに『カルメン』『ギャング』など振付・演出家として活躍中である。郡司行雄が仙川の街に居を構え、何を考え、何をしようとしているのか。現在、地元仙川で定期公演している、ニューナイト・ライフ・エンターテイメント『ポケットに宝石を持つ、芸人たち』とはどんな内容なのか、その由来について尋ねた。

誕生!! ニューナイト・ライフ・エンターティメント

昭和55年、日劇、浅草国際劇場などが相次いでその姿を消した。同時に新宿のシンボル的劇場であった新宿ムーランルージュも廃館の方向に流れが進んでいた。劇場の専属ダンサーの活躍の場がなくなる。「ムーランルージュの灯を消すな」と、各マスコミもいっせいに報道。日劇ダンシンゲチーム（NDT）を経てフリーとなり、海外公演に参加するなど、この時期、日本のトップダンサーでリーダー的存在であった、郡司行雄のもとに活躍の場を求める相談が相次いだ。ここに誕生したのが、新宿モーツアルトサロンでの毎週土曜の『夜の十時劇場』ニューナイト・ライフ・エンターティメントである。

この「ポケットに宝石を持つ芸人たち」という心魅れるタイトルのステージショーの様子について、郡司は「出演希望が相次ぎましたね。例えばNDTのトップダンサーであった立川真理、SKD（松竹歌劇団）の高城美輝、立原千穂、星里くらら……」と多くのダンサーの名前がすらすら出てくる。男性陣も上条恒彦、友竹正則、類十兵衛など多彩な顔触れであった。



当時の新聞報道によると、日劇ミュージックホールの朝比奈れいか、タップの佐々木隆子、塩沢とき、などトップダンサーたちの出演が続き、「迫力のある華麗な踊りは圧巻」（朝日）と、高い評価を受けている。一般客に混じり、森繁久弥、山口百恵、近藤正臣、真田広之、八千草薫などの俳優、さらに永六輔、渡辺


谷井里衣ちゃん

美佐など多くの顔があった。郡司は「いい芸を持ちながら、生かせる場所がない。この人達のウインドーだったんです」と語る。

新宿の激しく移ろい行く変貌、その中で郡司行雄は新たな舞台を仙川の地に選んだ。


ニューナイトライフ・エンターティメント　第13回公演

ミュージカルダンサーを育てる街に

仙川、この街をミュージカルスター候補の宝庫にする、そして、あらゆる舞台芸術の発信基地にする。そのためには、街全体がひとつのキャンバスとなり、そのキャンバスの中で目的に向かって、それぞれの個性とカラーを組み合わせ、街が一つ絵に、舞台になる。一人一人が主役であり、その時、その場に応じて中央に出ていく。こんな街、仙川が郡司行雄の夢であり、「実現したい」と熱っぽく語る。日本テレビ制作、平成6年7月公演（青山劇場）『アニー』の主役に抜擢された谷井里衣（12才）ちゃんが今、大きく羽ばたき旅立っていく。

土曜夜8時、ダンスとタップ、歌のバラエティショー

小ホールには舞台と客席が一体となるよう、公演のつど百席の椅子が設営される。客席の目の前でサンバのリズムに乗ってダンサーが笑顔を振りまき、力一杯踊りまくる。音楽はジャズからサンバ、そしてタップダンス。ダンサーの汗が客席に飛び散る。客席から拍手が起きる。劇団『四季』に所属し数多くの大舞台を経験し、今回出演中の石川陽子さんは「客席と、こんなに近くで踊って歌ったのは初めて。お客様にすべて見すかされそうで怖いワ」と興奮。郡司ミュージカル劇団の劇団員の大木香枝さんも、「客席のお客様の目が、みんな見てやるぞ、といった感じで輝いて見えるの。私も負けないように必死よ」

ダンスと歌、タップを中心に笑いを折り込んで構成され、アメリカンスタイルの肩のこらない、笑って楽しめる、約一時間のバラエティショーとなっている。

東京のブロードウェイへ

仙川商店街で長年『仙川美容室』を営んでいる小室敏子さんは「私の趣味は、音楽を聴きながら絵を描くことなの」と話しながら、仕事の合間にキャンバスに向かう。その腕前は銀座で個展を開く程の玄人肌。その小室さんも、「なかなかやるわネェ、さすが郡司さんだわ」と、この公演を毎回楽しみにしている一人である。観客と出演者が一体となって熱気があふれる。

仙川の街に、ミュージカルやバラエティショーといった舞台芸術が「生活文化」として溶け込み、根づいていくことを楽しみに、多彩な宝石をポケットに持つ〝郡司行雄と彼をめぐる芸人たち〟を見守って行きたい。

（T・Y）

桐朋学園の公開とご案内

仙川ならびに周辺地域の皆様には、日頃何かにつけ桐朋学園に温かいご理解ご支援を頂いており、厚く御礼申し上げます。学園の毎日の運営や今後の発展は、地域の皆様のご理解とご支援がなくてはあり得ないものと考えております。学園の一日は朝の登校から始まり、夕方から夜にかけての下校によって終わります。すなわち仙川の皆様とは最初に顔を合わせ、また最後にお世話を掛けつつ一日の幕を閉じることになります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、学園開放と皆様との交流について、これは是非今後も前向きに取り組んでいきたい事項です。仙川キャンパスは現在幼稚園から大学まで大変過密な状態で活用されていますが、それでも工夫と努力次第で学園をさらに開放し、皆様との交流を深めていく余地はあると考えています。これまでもいろいろな案が出てまいりましたし、現在実現の可能性が具体的に検討されているものもあります。例えば、桐朋教育研究所に桐朋講座という生涯学習の事業があります。受講者は保護者と卒業生に限ってきましたが、一般の方への公開の可能性を検討しております。また、ポロニアホールを使って、コンサートや映画会などできないかといった案も出ています。

現在すでに公開されている催しも数々あります。平成6年度の予定を取りまとめてご紹介いたしますので、是非お越しいただきたくご案内いたします。

桐朋学園　三浦利文

●平成6年度　演劇・演奏等の行事日程表

5月28・29日	専攻科演劇専攻1年試演会
6月25・26日	専攻科演劇専攻2年試演会
7月2・3日	芸術科演劇専攻2年試演会
7月9・10日	芸術科演劇専攻2年試演会
7月16・17日	専攻科演劇専攻1年試演会
9月14日	演劇専攻2年実技発表会
9月22日	芸術科音楽専攻学内演奏会
10月1・2日	中学・高等学校桐朋祭
10月9・10日	短期大学部桐朋祭
10月9日	桐朋小学校運動会
11月23日	30周年記念演奏会（有料） 於　サントリー小ホール
11月26・27日	芸術科演劇専攻2年試演会
12月3・4日	芸術科演劇専攻2年試演会
12月9日	芸術科音楽専攻学内演奏会
12月10・11日	専攻科演劇専攻1年試演会
12月21日	専攻科演劇専攻実技発表会
1月28・29日	専攻科演劇専攻修了公演 於　俳優座（有料）
2月18・19日	芸術科演劇専攻卒業公演 於　俳優座（有料）
2月22・23日	芸術科演劇専攻卒業公演 於　俳優座（有料）
3月1～5日	専攻科演劇専攻1年発表会 於　本学園小劇場（有料）
3月11日	芸術科音楽専攻卒業演奏会 於こまばエミナース（有料）
3月16～18日	演劇専攻実技公開テスト

なお、会場の表記のないものは学園内。詳しい内容・時間については、日程が近づいたら学園にお問い合わせ下さい。

TEL　3300・2111（代）

先ずは、桐朋学園音楽部門の簡単な紹介から始めさせて戴きます。

音楽部門とは、桐朋学園大学音楽学部、桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学付属「子供のための音楽教室」の総称でありまして、幼児期から、高校、大学――さらに、卒業後に至るまで一貫して音楽の専門教育を行っております。勿論、どの段階においても、男女共学ですが、桐朋女子高等学校に音楽科が併設されたとき、男子生徒が（この中には、今や〝世界の小沢〟となった小沢征爾氏もいた）仙川駅の駅員さんに、女子高なのになんで男子がいるんだと言われて、学割定期を買うのに難儀したという話は、今でこそ笑い話ですが、当時の男子学生にとってみれば、さぞかし肩身の狭い思いをしたことと思われます。

とまれ、3～4歳の幼児から、20歳台のおじさん、おばさんまで日夜（これは、少し大袈裟）、ピアノを叩き、バイオリンをギイーコ、ギイーコやっている訳ですから、仙川の

桐朋学園音楽部門主催の演奏会

皆様、――特にキャンパス周辺の皆様には、何時もご迷惑をお掛けしていることと存じます。この場を借りて、お詫び申し上げます。

が、これはなにも騒音を出すべくして出そうとしている訳ではない。よい音楽を――皆様に楽しんで戴けるような音を何としても産み出したいという過程から生ずる、いかんともしがたい騒音なのです。余り良い比喩ではありませんが、良い子を産もうとする際の女性の苦悶の声とでも申せましょうか。この喧騒から産出された成果――どうぞ、こちらの方を是非お聴き下さい。そのためには、誠に申し訳ないのですが、仙川はホールに恵まれておりませんので、少々ご足労戴き、調布、府中、赤坂等々へおいで下されば幸甚に存じます。

平成6（1994）年度の東京での演奏会の曲目等、詳細については未定の部分がございますが、「演奏会日程表」の公開卒業試験演奏会は無料、その他の演奏会は、千円～千五百円程戴いております。なお、今年度の桐朋祭（音楽部門のです、お間違いなく）は、9月17、18日両日にわたって行われますが、学生による多くの演奏会等が開かれます。受付にてお申出戴ければ、どなたでもご入場できますので、ご来校をお待ちしております。

演奏会についてのお問い合わせは、電話3307・4101の内線23までお願い致します。

桐朋学園大学　難波　田紀夫

●平成6年度　演奏会日程表

5月3日　オーケストラ演奏会
於　サントリー小ホール
指揮　江藤　俊哉

5月10日　トロンボーンアンサンブルの夕　於　武蔵野市民文化会館　大ホール

5月13日　第51回室内楽演奏会
於　日本都市センターホール

6月3日　第52回室内楽演奏会
於　日本都市センターホール

6月15日　オーケストラ演奏会
於　世田谷区民会館
指揮　沼尻竜典

6月22日　第16回作品展　於　府中の森芸術劇場ウィーンホール

7月10日　「子供のための音楽教室」演奏会　於　日本都市センター　ホール

10月27・28日　高校ピアノ卒業演奏会
於　調布グリーンホール

11月21日　パリコンセルヴァトワール・桐朋交流オーケストラ演奏会
於　府中の森芸術劇場
指揮　高関　健

11月25日　パリコンセルヴァトワール・桐朋交流室内楽演奏会
於　カザルスホール　高関健

11月29日　第13回パーカッションの夕
於　調布グリーンホール

12月8日　オーケストラ演奏会
於　調布グリーンホール
指揮　ジャン・フルネ

12月9日　独唱と合唱の夕　於　府中の森芸術劇場ウィーンホール

12月11日　「子供のための音楽教室」演奏会　於　スペース日本都市センターホール

1月13日　第4回シンフォニック・ウィンズ演奏会
於　調布グリーンホール

1月17日　チェロ・アンサンブル演奏会
於　府中の森芸術劇場　ウィーンホール

1月未定　オーケストラ演奏会
於　調布グリーンホール

1月25日　指揮　原田幸一郎　徳永二男
卒業公開実技試験演奏会
（高校V1）於　調布グリーンホール（以下同）

1月26日　卒業公開実技試験演奏会
（大学V1）

1月27日　卒業公開実技試験演奏会
（大学V1、Vc、Cb）

1月31日～2月1、2、4日　卒業公開実技試験演奏会
（大学ピアノ）

3月15日　オーケストラ演奏会
於　調布グリーンホール
指揮　秋山和慶

いつでも，どこでも，24時間年中無休で，

あなたをお待ちしています。

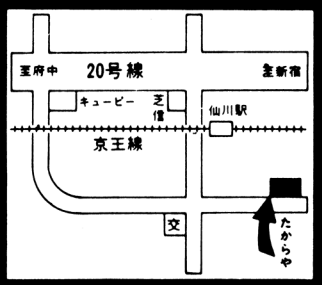
セブンイレブン調布仙川店

甲州街道沿い，仙川駅入口　　☎3305-0711

買入れと販売

たからや

営業時間AM10:00～PM9:00
調布市仙川町1-23-6　☎3308-7170



丹波路　山路の露　栗ようかん　竹流し水羊かん

笹子見し幸巻餅の柔ら幸　汀女

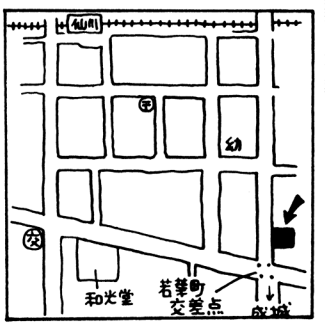
御菓子司 光輪堂

若葉町2－14－5（和光堂横）　木曜定休　☎3308-1455

診療時間
・AM9：00～PM7：30
・祭日、9：00～12：00
・日曜、休診

仙川獣医科病院

〒180 調布市仙川町1－34－13　☎03-3300-4927

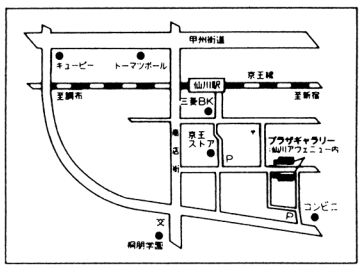


プラザ・ギャラリー

〒182 東京都調布市仙川町1-25-2-107
（仙川アヴェニュー内）

10:00am～6:30pm（水曜定休）

phone　03-3300-1010
facsimile　03-3305-7491



中華料理

萬來軒

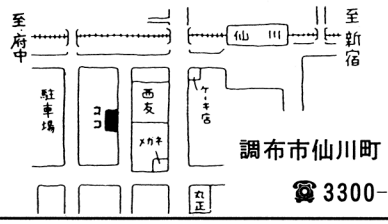
ご宴会30名様まで承ります
京王線仙川駅ホーム前
☎03-3308-9288

いわし料理各種・天ぷら
うな重・鍋物(冬)・その他

こしじ

ご宴会25名様まで承ります
京王線仙川駅ホーム前
☎03-3308-9457

仙川寿司



調布市仙川町 1-11-4
☎ 3300-7024

住まいづくりのことならなんでもおまかせ

東京都知事許可　般03第5933号

佐藤工務店

建築士　佐藤　満

仙川町 1 －23－41
☎ 3307-5457
FAX 3307-2360

英修塾

"どの子も伸びる、どの子も伸ばす"
厳しい指導と暖かい塾風
小4～高3・受験と補習

仙川商店街のはずれ、"小さきこと"にこだわり続けて、15年、
☆互いの目を見合いながらの学習指導が、進路への決意と自信を切り拓きます。
☆深く徹底して子どもを信頼することが、他人への優しさと自分への厳しさを育てます。
これからも自立する若い知性を熱く応援しつづけます。

調布市若葉町 1－42－5　TEL.03・3305・4040

JFN ジャパン・フラワー・ネットワーク 加盟店

新鮮なお花を贈られる方に……
全国どこへでもスピーディーに確実に
お届けすることに努めております。

「花とみどりのギフト券」取扱店

イシケンフローリスト

代表 さとう 健次

〒157　東京都世田谷区上祖師谷5－31－11
TEL・FAX (03) 3308-1951

美しい歯と歯肉の健康のために

イチカワ歯科

GENERAL DENTISTRY・ORTHODONTICS

仙川クリニック　TEL 03-3308-8241
広尾クリニック　TEL 03-3486-8266

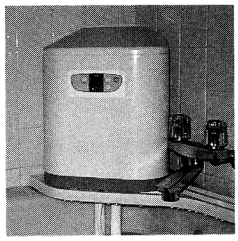
Anchor Here
AND
COIL UP YOUR ROPES
SINCE 1977

ICHIKAWA BLDG. 1F
1-12 SENKAWA-CHO CHOFU-SHI TOKYO
TEL (03)3307－2611

お風呂掃除不要でいつでも入れる24時間風呂

お風呂は清潔が一番　　リフロッシュ24





無料体験貸し出し致します

フリーダイヤル☎ 0120-86-4126
ハローヨイフロ

(株)アクト

仙川町 1－3－27
（桐朋学園先）

☎ 3308－4126
さわやかよいふろ

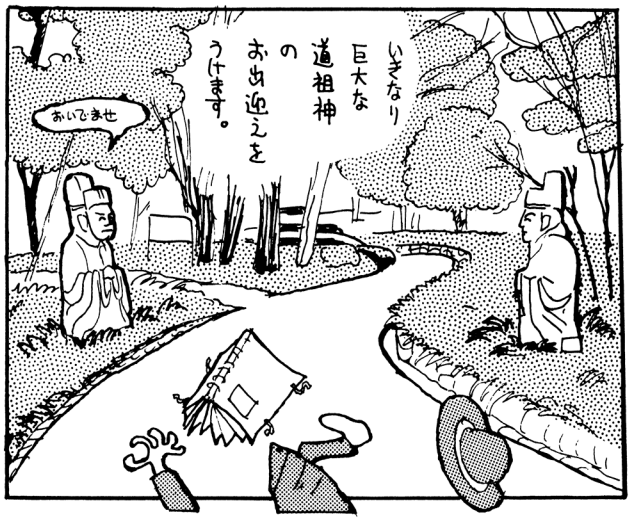
白百合女子大学を描くの記

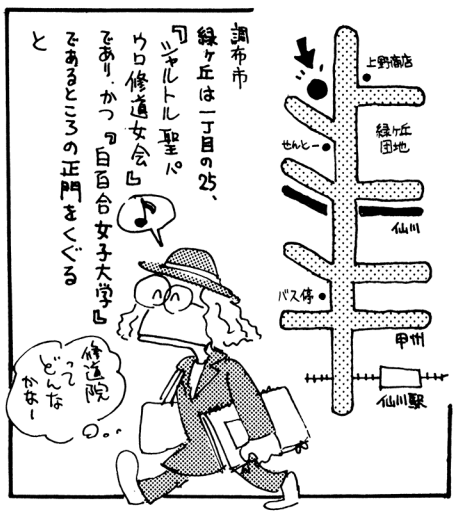
孔子と聖母と石燈籠

Nakajima Rie
中島 りえ

銭湯の前をぬけるとそこは緑深き修道会であった。
（守衛室がカワイイ）













○修道院敷地への立入りはご遠慮ください。





▷カエルの卵のある池からチャペルを臨む



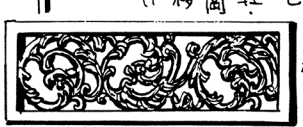




律義にまた畳大に残されている孔子像や井戸、石燈籠、はては日本の民家(!!後述)までが聖母像と庭(敷地)を同じくして共存している様相に、キリスト教の母性的側面を見出すべきか、それとも日本的気配のお文をも身につけたキリスト教を見出すべきかは、意見の分かれるところかと……だれも思ってないか。



ほかに大戦中政財界首脳部の秘密会議所になったという江戸時代の瓦葺農家(江戸豪家の瓦葺は珍しい!!)旧菊地家住宅(通称めぐみ荘、昭和初期に静岡から現在地に移築)もあるんだけど…スペースがないっ!!



1994年3月25日

六年振りの仙川と個展



一年前のあの日、六年ぶりにやっとの思いで、静岡の田舎より戻ることが出来、久し振りに乗る京王線の中で仙川駅が近づくにつれ、ドキドキと高なる胸に、なつかしさ、嬉しさが加わり、まぶしい思いで降りた仙川。まず、そんな私を迎えてくれたのは、前と少しも変わってない街並のにぎやかさ、急ぎ行く人々の元気な表情、それに明るい声で何やら嬉しそうに話し合っている学生達の姿だった。

ああ、また私はこの仙川に住むことが出来るンだ。子供達の側でまた絵を描き始めよう。また、久し振りになつかしい友達とも会えるんだ——喜びと希望と嬉しさとで胸いっぱいで、元住んでいた子供達のいる家へ向かったあの日だった。

それから一年を迎えた今。この一年の多くのいろいろ。毎日の病院通いが始まり、精神的にも不安定な上、首と肩の骨のズレ等の肉体的にも痛む体と、何をどうしてよいやらと思うことすら苦痛の日々が続いた。じいっとしていても辛かった時期の思い出は体の痛みと共に消えず、何とか夢中になれるものを探し始めた頃、「モッテ」の栗田さんに絵を描くことをすすめられ——そうだ、絵が私にはあったのだ。痛い痛いと泣いていても一日はそれだけで過ぎてしまう、二重の痛みになるかもしれないが、筆を持ってみよう——と思い始め、油絵を描く決心をした。

不思議と絵を描いている間は辛い思い出も、痛い思いも忘れられ、次々と絵がそれでも出来上がっていった。栗田さんの暖かい応援もあり、個展ということにも恐れは無くなり、二科の斉藤賢司さん、織田広比古さん等に絵を見てもらったり、また会場探しにお手伝いしていただいたりで、どうにか会場も決まり。あれよあれよという間に個展の日が決まった。多少の戸惑いもあったが、もう決まった以上迷ってはいられず、個展の準備に入った。モッテさんを中心に案内のハガキもあちこち配ってもらい、私自身も六年前の旧友に長いご無沙汰を詫びるのと、個展の案内と同時になってしまった。

旧友達の反応もさまざまで、六年も音信を絶っているということは、人間関係にも大きな開き間が出来、それぞれがそれぞれの道を着実に頑張って生きているという感と共に、元の様な人間関係を望むには遠い道のりがやはりあるのだと知った。それでも、絵の仲間（というのには何歩もずっと遅れている私は彼らに対して失礼だと思うが）だけは、前と変わらず暖かい応援でとても嬉しかった。何とか無事に個展も終わり、会場費と額代が払えたことは成功だったと栗田さんは云ってくれた。

その後、次々に栗田さんを始め、仏在住の二口正和さん、織田さん、斉藤さんと個展が続き、それぞれがまた大きく成長されているのを見る度に、私も、彼らの仲間として負けないように頑張ろうと思った。そしてこれからも長く、いつまでも仲良く、お互いに良い影響を受けながら成長して行きたいと思っている。

これからはここ仙川で住み、また絵を描いて生きていこうと思っている私。いつの日か、六年前の様に、また、多くの人々と話が出来、楽しい日々を過ごしたいと願っている。

（緑ケ丘二）



一枚の写真からの出合い

三浦隆志

高校三年の正月（昭和二十九年一月）、私は一人で奈良の中宮寺を訪れた。奈良ならどこでもいいはずなのに、この時ばかりは中宮寺でなければいけなかった。というのは、前年、高校最後の夏休みに、槍、穂高の縦走を終えて帰宅してから、半月ばかりの上高地の生活のあれやこれやをぼんやりと反すうする日が続いたある日の夕方、久しぶりに、父を訪ねた時、「ちょっと、これを見てみろ」と云って、眼の前に出されたのが中宮寺の弥勒菩薩像の写真であった。誰の撮影なのかは記憶していないけれど、何と美しい微笑だろうと思った。

まじまじと佛像の写真を見たのは、この時が初めてであった。勉学のことなどおかまいなしに、それ穂高だ！剣だ！映画だ！と遊ぶことにうつつを抜かしていた自分にとって、「静けさ」というものを脳裏にやきつけられたのが、この写真であった。

黙って写真を見ている自分に「いいだろ」と声をかけた父が、しばらくして奥の部屋から一冊の本を手にして、自分の前に座り、「これを時間があれば読んでみたらいい、中宮寺のことが書いてあるから」と云って手渡してくれた。

本は、亀井勝一郎の『大和古寺風物誌』であった。

「中宮寺の庭は、誰にもかえりみられない庭だが、私はいつも不思議に心をひかれる――」から始まるこの文章と弥勒菩薩の写真が、見事に重なって、自分の心をひきつけた。

二学期になっても、中宮寺のことが気になり、行きたいという思いがつのるばかりであった。卒業してからでも行けるのに、自分はどうしても卒業する前に行きたいという思いにかられて、年が明けた一月二日に、斑鳩の里に足を運んだ。

法隆寺から夢殿を経て、中宮寺に向かう白砂の道を歩いていると、飛鳥人の歩く足音や、絹ずれの音が聞こえるような思いがした。

中宮寺は小さな尼寺で、玄関の呼鈴を押すと尼僧がでてきて、くぐり戸をあけて、本堂に案内してくれた。

限りなく静かであった。白い壁を背にせんりょうの赤い実が眼に浸みて、庭にさすおだやかな陽射しがゆっくりと無限の静けさに広がってゆくように思えた。

頬にそっとふれた御佛のふっくらとした指先から微笑がこぼれ落ちて、本堂の中は、この微笑で埋めつくされていた。

声にもならず、ただ端座していた事を今でも忘れられないでいる。

こどもの創造空間
アトリエ はちの巣

大人の造形・絵画教室
サークル 萌黄会

＜仙川駅より歩いて5分＞　世田谷区給田1-9-22　お問い合せは3300・3616

●フォローアップ●

帰ってきた実篤
――資料館オープン

堀　公彦

「お休みだけど　みられる……」という、いささか言訳めいたキャッチフレーズを掲げて凌いできた「資料館」の新築工事でしたが、ようやくこの3月に竣工となり、5月には展示室もほぼ1年振りに再開されます。

1年余にわたる事実上の休館というのは、館側にとってもまことに心苦しいことで、そうとは知らずに来館された遠方からの訪問者の残念そうな表情の数々が目に浮かびます。

振り返れば、着工から1年7カ月、さらに構想の段階まで遡ると、優に5年の歳月を費やしたプロジェクトの成果がようやくここに実を結んだものといえます。

今回の事業は、手狭になってきていた収蔵庫の拡張がきっかけでスタートしたものでしたが、職員間の討議や関係者との協議を積み重ね、基本構想から基本設計、実施設計と進んでいく過程で、大型の収蔵庫と閲覧室を合わせ持つ「資料館」構想へと夢は大きくふくらみ、発展してきました。

さらにはハード面だけでなく、記念館が持っている情報や資料の提供などについても検討する作業が並行して行われてきました。

このような経緯をたどって設計が進み、このほど完成した「資料館」の特長を挙げますと、最大7万冊の収容能力を持つ収蔵庫のほか、従来なかった機能として、だれでも気軽に利用できる「閲覧室」が新たに設けられたことです。ここでは、実篤をより深く理解してもらうために、実篤作品や図書、雑誌などを開架式の書架から直接手に取って自由に閲覧できるほか、「レファレンス・コーナー」では、研究者や学生の論文作成などの要求にもできるだけ応えられるよう、情報や資料を努めて提供していく予定です。

またこの閲覧室には、新しい試みとして、実篤の生涯と作品を検索したり鑑賞することのできる「情報提供システム」が導入されます。このシステムは当館が4年余の歳月をかけて開発を試みたものですが、パーソナル・コンピュータとレーザーディスクを操作して、文字や写真・映像・音声資料などにより実篤やその周辺の図書・雑誌に関する情報や、美術作品などのカラー写真、珍しい映画フィルム、朗読テープなどの資料が最新の「マルチメディア」を駆使して提供されます。このシステムは来館者自身が、特に高齢者や機械がまったく苦手といわれる初心者でも容易に操作ができるよう配慮しています。



作：西　常雄

南面のガラス越しに中庭が望める「休憩コーナー」では、当館制作のビデオ作品の放映やお茶のサービスが受けられますので、「新しき村」から移植された紅白の梅を眺めながら、ゆったりと寛いだ気分に浸るのも一興でしょう。

この資料館は、実篤生誕満109年目の5月12日当日にテープカットが行われ、翌日から一般公開の予定になっています。そして記念特別展「描かれた実篤像」や実篤公園の無料開放、実篤ブロンズ像の除幕など、数々の開館記念事業を計画しています。

資料館のオープンに続いて、来年秋には開館10周年を迎えます。情報と文化の発進基地・仙川の地で、私たち記念館も積極的にその一翼を担っていけるよう、さらに努力を続けてまいりますので、地域の皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げる次第です。

お問合わせ／武者小路実篤記念館
03－3326－0648

●●実篤記念館マルチメディア情報提供システムの概要●●●

武者小路実篤記念館の「マルチメディア情報提供システム」は、レーザ・ディスクとパーソナル・コンピュータを組み合わせたシステムです。

その中心は、対話形式のソフトウェアで制御されるレーザディスク『武者小路実篤―その生涯と作品』で、館内で随時〝上映〟する他、数箇所に設置される来観者用端末で自由に検索・鑑賞することができます。さらに、これは一般のLDプレーヤでも見ることのできるレーザ・ディスクとパソコン・ソフトのセットですので、全国、さらには海外の大学、研究機関、図書館などに提供して有効に活用してもらうことも可能です。

「情報システム」のハードウェア（機器・設備）は以下のような構成です。

○パーソナル・コンピュータ（Apple Macintosh）＋ディスプレイ

○レーザ・ディスク装置（コンピュータ接続用のRS-232C 端子を装備）

○テレビジョン（21型）

これらを上の写真のように専用の家具調のボックスに収めています。これは、閲覧室を設計したデザイナーが共通のイメージで設計したものです。

中心となるマルチメディア・データベース『武者小路実篤―その生涯と作品』は、約30分の動画、およそ三千枚の静止画、さらに10分の音声を記録したレーザディスクと、パーソナル・コンピュータからその内容を簡単に、しかも自在に読み出すための「検索ソフト」で構成されています。

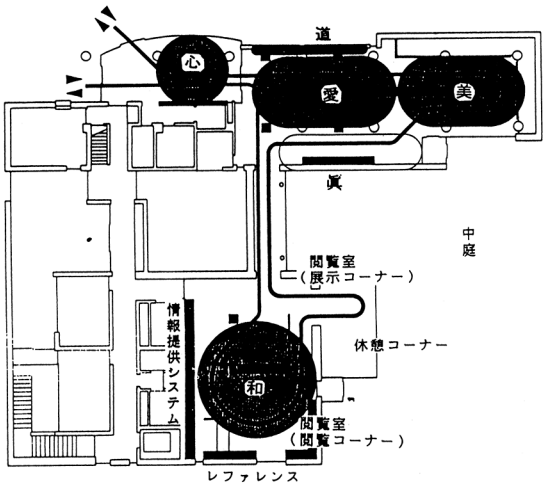
このソフトは、冒頭の部分で装置の操作方法を図解付きで説明しますので、「コンピュータ操作」についての知識や経験などは全く不要です。

また、今回の開発にあたっては、できる限り〝一般性のある〟技術、機材を使用することを原則としました。

この考えに沿って、レーザディスクについても、コンピュータがない、あるいは使えない場合でも、レーザディスク・プレーヤとテレビがあれば、通常の（映画等の）ディスクと同様に観ることができるものとなっています。

この特長を生かして、本データベースが広く活用され、文人「武者小路実篤」がさらに身近なものとなることを願っています。





心
・我が老いたる手ト
・日日是好日

道
・人生の軌跡
・文学の軌跡

愛
・著作活動の結晶

美
・生命讃美の藝画
・美術遍歴
・美を求める心

眞
・白樺の活動
・新しき村の活動
・仙川時代
・此人は歩いた

和
・仲よき事は美しき哉

●室内装飾専門店●

フェリカインテリア

お電話下さい。



●内装工事

クロス（壁紙）張り替え、ジュータン、クッションフロアー、パンチ等の敷込み、カーテン、ブラインド、アコーディオンカーテンの取付け。

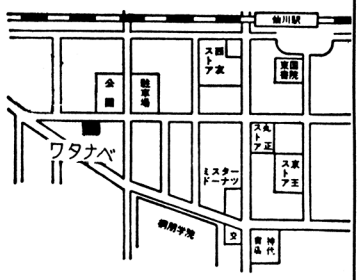
調布市仙川町1-10-4
第2伊藤ビル1F
☎ 03-3305-0028

各種自転車販売修理　日本火災代理店　バイクの保険取扱
どちらのお店でお買いの自転車でも完全な修理致します。バイクの軽修理ＯＫ

修理大好きな店　サイクル
自転車安全整備店

ワタナベ

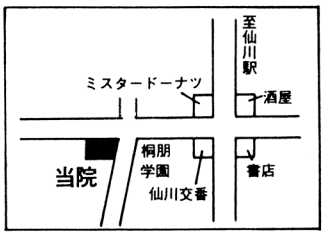
仙川町１－３－５　☎3326－0966



内科・耳鼻科・歯科

仲島医院

診療時間
- ９:00～１:00　３:00～７:00
- 火曜、木曜、土曜　９:00～１:00
- 日曜、祭日　休診



若葉町１－27－５　☎ 3300－0755

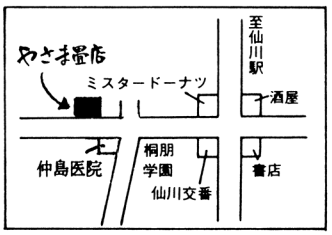
総合内装工事請負　建設内装業都知事許可(般)第47217

一級技能士　矢佐間式弘

営業品目　表替　裏返　新畳工事一式
襖　障子　クロス　カーテン　ジュータン

やさま畳店

仙川町１－３－38　☎ 3300－2360
FAX 3328－6135



内科　神経科　漢方　良導絡

飯田医院

診療時間　平日。午前８：00～午後９：00まで
休診日時　。日、祭、火、金(昼間)、土(夜間)

入間町２－11－14　☎ 3488－6061

まちニティ自由大学

漂流時代

こと、みな漂い流れ
もの、みな決めなし
何処へか、行くらん

時間は太古から、未来永劫へと続き
ひとは、何時しか生れ
ひとには、いつしか終末の刻あらん

されど、
わかき人たちよ
現在を生きよ
現在は過去と未来を繋ぐ
あなたの存在は、此所にしかない

懼れるもの勿れ
ひとも、ものも、ことも
自らの信ずる途を征け
而して振り返る征け
自らの途を拓け

十九九三年一月二十二日
終講の日に、はぎはらしょうぞう



夏休み手づくり絵本教室

世界でたった一冊しかない貴重な絵本をつくってみませんか！
物語のつくりかたから製本までしっかり指導します。

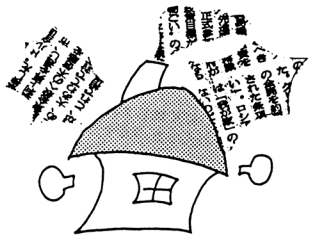
- ◎期間　8月24日・25日・26日　午前 9:00～12:00
- ◎1人 3000円（親子の場合 5000円）材料費込み（筆記用具は各自持参）
- ◎会場「せんがわ21」
- ◎講師　こやま きょうへい（「小学生のたのしい工作教室」などの著者・デザイン専門学校でイラスト担当）

- 申込み 8月10日まで　せんがわ21へ
- 10人以上集まった場合のみ開講

§社会研究フォーラム§

世知辛い世の中、様々なスタンダード（基準）が揺らぐ今、“隔絶”している「個人」がいます。自分の考えを伝えられない、きっかけがない。その虚しさを拭いさるようにして、4年前、学生を中心に結成されたのが、社会研究フォーラムです。「個人」をつなぐ場として、考え方を闘わせる場として、新しいグループの形を模索しています。

…まあ、難しいごたくはさておいて、一度遊びに来てください。



- 活動場所…せんがわ21事務所内
- 活動日　…土日のPM1:00～PM5:00＋α
- 活動内容…雑談議論、会誌発行　イベント企画など

ミニ中国語教室

你好！	こんにちは。
晚上好！	こんばんは。
初次見面！	はじめまして。
請多关照！	よろしく。
再見！	さようなら！

中国語講座

新国際語『中国語』を学びたい方、隣の国のことを知りたい方へ——入門・発音からの集中講座。小人数による親切な徹底指導（一クラス5名ぐらい）、ご本人のレベルに合わせてプライベートレッスンを指導するのは基本。

毎週の水曜日午後7時～8時半
八月十五日から十月十五日まで
一人月一万円
講師　劉雲
申込み　8月10日まで

Tel/Fax:03—3326—2707

聖教新聞
仙川販売店
岡村英夫

仙川町２－11－23　　☎ 3307-7343

お気軽にご相談下さい

むさしや質店

仙川駅前森の中　☎3300-6348

ハクビ京都きもの学院
仙川教室

生徒募集中／（トーマツボール内）
毎週木曜日　10：00－12：00　14：00－16：00
夜の部／18：30～20：30
入学金　3090円　受業料　4120円
維持費　（３ケ月分）1545円
☎（3309）5014

日本テレビ・週刊文春にて紹介されました
味の店
とんかつ仙川
各種宴会40名様迄御相談下さい
仙川駅前東国書林横　☎3309-0144

ティールーム
チャティー・ず　う
落ちついた雰囲気のティールームで、憩いのひとときを…
仙川商店街入口（西友前）☎3308－9278

BOUTIQUE
QUEEN
仙川商店街（西友前）　☎3308-3819

ボクにも　キミにもできる

リビット
山田屋金物店
西友ストア前
☎3300-4407

パーマをかけるたびに健康毛になるバイオパーマ
着付，アップ，美顔術，メーク
山野愛子山の実会
堀内多賀子美容室
営業AM9：30～PM6：30まで受付
火曜日定休，第３火水曜日休み
予約優先　東光電気２Ｆ　☎3309-0676

白生地、京染、京呉服、名入り物
洗張り、生洗シミヌキ
きもの乃店
創業120余年
上原屋染物店
調布市仙川町３－９－７
仙川駅際 03－3300－6968

高級呉服　京染　手洗
和服の御手入には専門店の当店へ
富士屋染物店
桐朋学園前　☎3300－2572

マップ21

仙川習いごと教室パート3

時を紡ぎ、豊かな時を紡ぐ

今号の〈マップ21〉は久しぶりに「習いごと教室」の特集です。前回の調査から十一年。この間、約半数の教室が移転や閉鎖されていましたが、ニューフェイスの教室もたくさん登場しました。その内容もバラエティに富み、伝統的な茶道、着付けをはじめ、絵画、音楽、写真、手芸、語学など盛りだくさん。都心のカルチャースクールまでわざわざ出かけなくても地元でなんでも見つけられるほど。

また、この地区の公民館、図書館、地域福祉センターなどでも各種の文化・学習サークルが増えております。何かひとつのことに打ち込み、充実した時間を仲間と共有する喜びを、あなたも見つけに出かけませんか。

書道・茶道

［武家茶道御家流教室］

★茶道　〔武家茶道御家流所属〕
代表／米田宗晶　所在地／緑ヶ丘1―11―45　☎3307・8882
〔日時〕土曜（月三回）1時～〔費用〕――　〔構成〕全員女性　仙川地区在住者45%　地区外在住者55%　20才以下（9%）　20～30才（28%）　30～45才（18%）　45～60才（9%）　60才以上（36%）
◎モットーは、人と人との和をもって／見学可能／御家流の大会・茶会は年に二回、護国寺。教室としては二年に一回、茶会に参加。
「御茶道に興味を持っていただけたら、と常々思っております」
「忙しい日々の中でも大切な時間をつくり、日本古来の伝統にふれ、己の心の余裕を持ち文化を高めたい」
†資格取得の平均年数は特になく、本人次第。

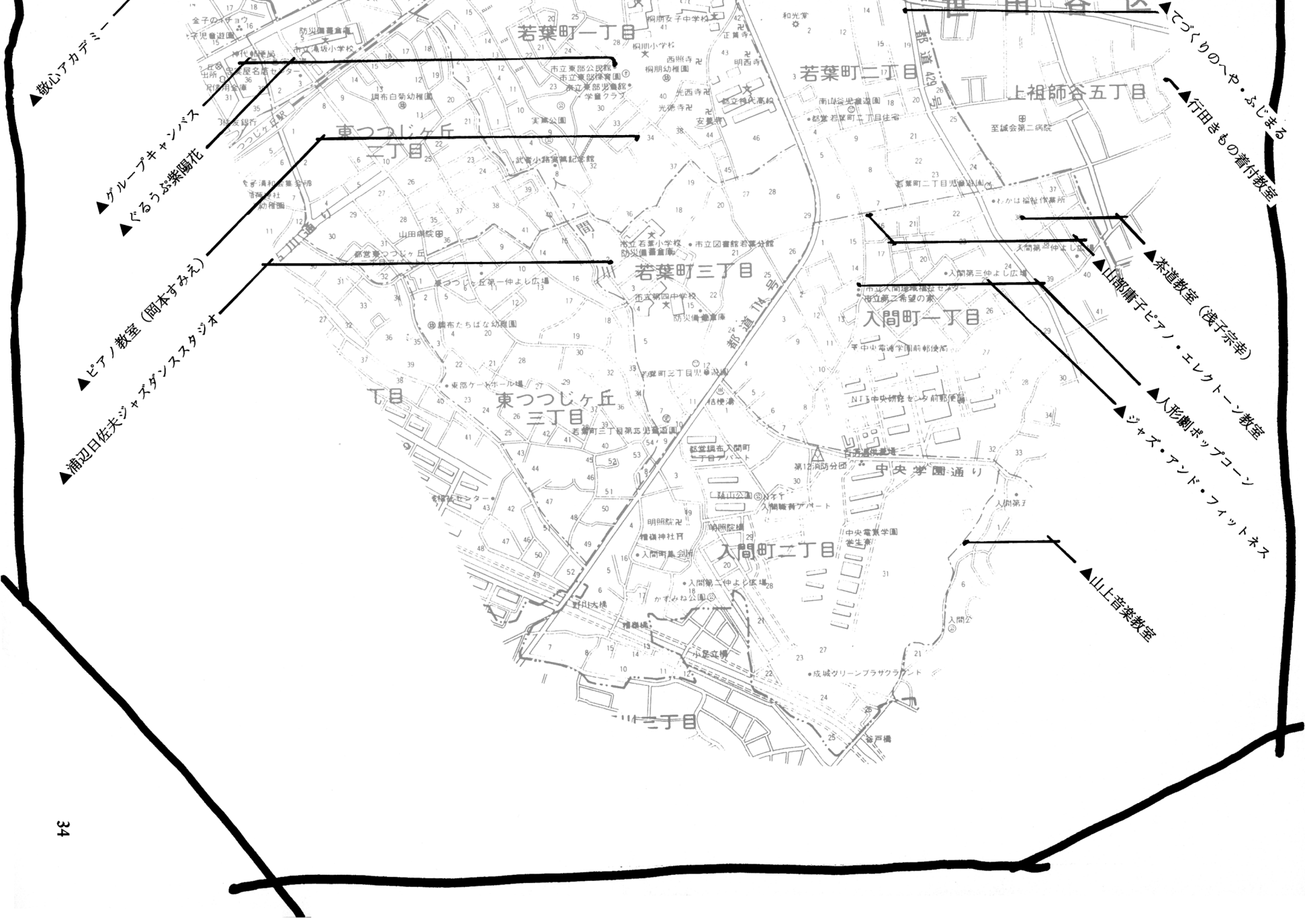
［茶道教室（浅子宗幸）］

★茶道　〔裏千家所属〕
代表／浅子幸江（宗幸）　所在地／入間町1―36　☎3308・4607
〔日時〕水・金曜（第一～三週）／10時～16時、土曜（月二回）／10時～12時
〔費用〕入会金／五千円　月謝／五千円（月三回）　四千円（月二回）　二千円（月一回）　その他（水屋料も）なし
〔構成〕全員仙川地区在住の女性　30～45才（69%）　45～60才（23%）　60才以上（8%）
◎日本文化である茶道の素晴らしさを身近なところで伝えたいと開設／自分のペースで末永く、気取らず季節を感じながらお茶を楽しむ／いつからでも始められますので、お気軽に／ここ数年は、子育ての終わりかけた主婦の方が多い／講師は一人。茶道歴二十五年／見学可能／発表会は仙川内外で不定期に開催。
「仙川地区の芸術・文化に係わる環境は、今後もっとよくなると思います」
「先入観を捨て、先ずはやってみることをお勧めします」
†一～二年で、入門～台天目までの許状。費用は一万～三万六千円。

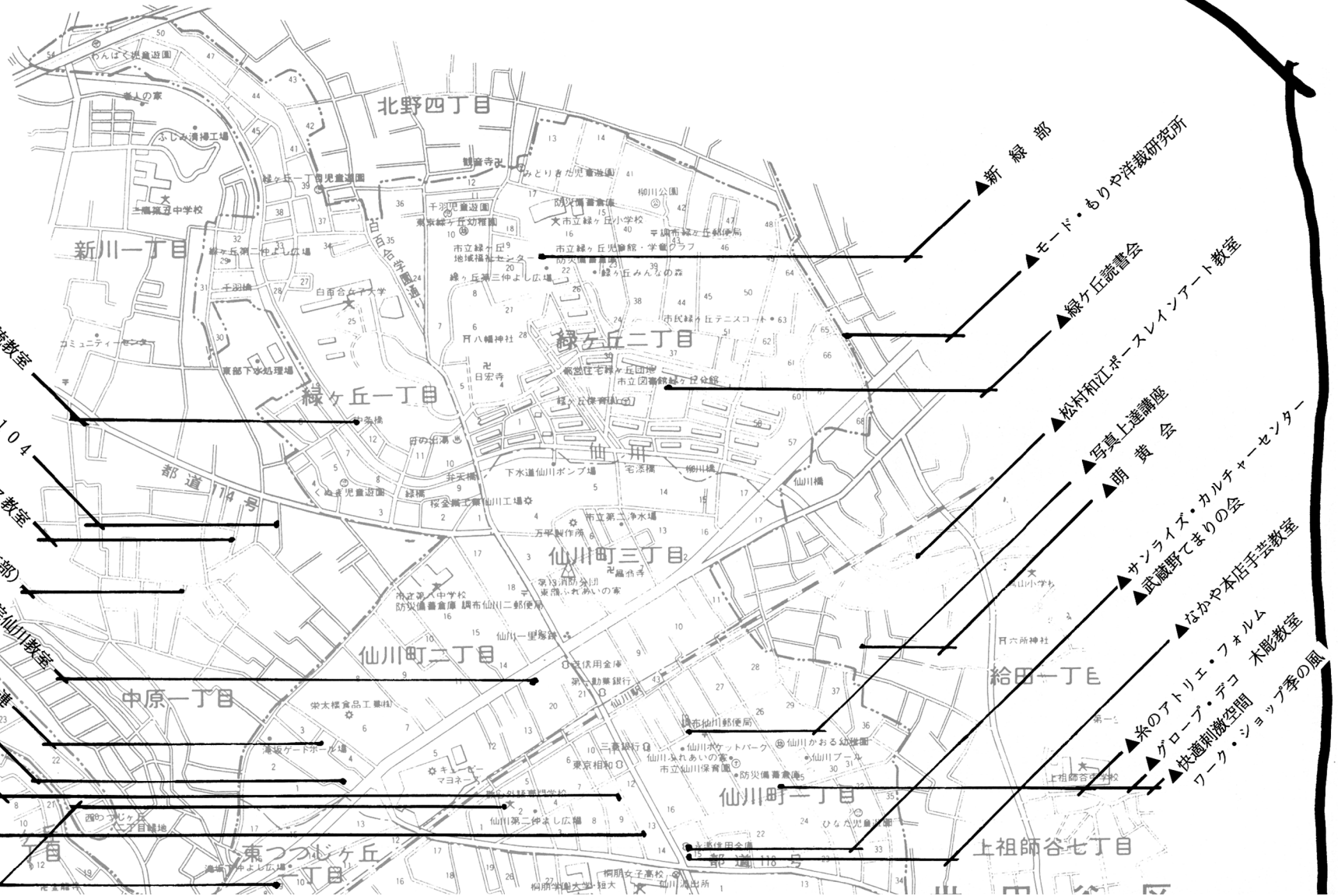
［書道教室（日本習字学会三鷹支部）］

★書道　（毛筆、硬筆）
代表／中野文子　所在地／三鷹市中原1―25―43　☎3309・2716
〔日時〕水曜・金曜／14時～21時　〔費

■質問事項■
1. 教室（サークル）を開始したきっかけや理由
2. 教室（サークル）の活動内容・特色やモットー
3. メンバー　①性別、世代、居住地の比率　②ここ2～3年の傾向や特徴　③参加資格
4. 講師・指導者とプロフィール
5. 見学の可能性
6. 資格や免許の取得期間と費用
7. 発表会の有無と場所
8. 仙川地区の芸術・文化環境や状況
9. 仙川の街に一番欲しいもの
10. 仙川の街にとって大切なこと
11. カルチャー・スクールの将来性
12. 〈習いごとの勧め――その妙味〉のアピール


▲敬心アカデミー
▲グループキャンバス
▲ぐるうぷ紫陽花
▲ピアノ教室（岡本すみえ）
▲浦辺日佐夫ジャズダンススタジオ
▲てづくりのへや・ふじまる
▲行田きもの着付教室
▲茶道教室（浅子宗幸）
▲山部晴子ピアノ・エレクトーン教室
▲人形劇ポップコーン
▲ジャズ・アンド・フィットネス
▲山上音楽教室
若葉町一丁目
若葉町二丁目
若葉町三丁目
上祖師谷五丁目
東つつじヶ丘二丁目
東つつじヶ丘三丁目
入間町一丁目
入間町二丁目
都道429号
都道116号
中央学園通り

カルチャー・サロン　イン　せんがわ





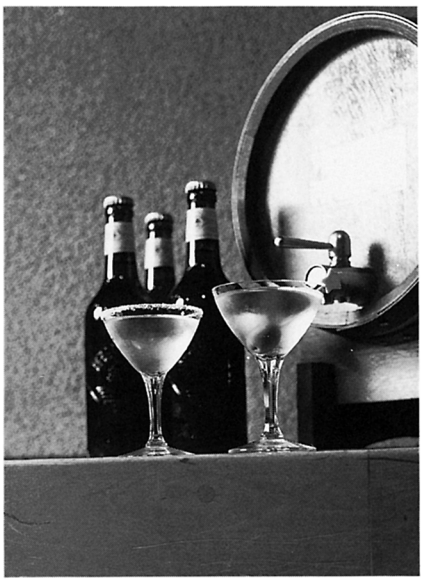
串焼き・和風料理の店　ぷあぷあ
☎3308－0280

よりリーズナブルに楽しんでいただきたく、『串焼き』をメインとし、海・山の幸、旬の味覚を串で楽しみながら、仲間と飲み交わす……気軽で気楽。そんな肩の張らないお店に衣替えしました。

従来からの日本料理はもちろんのこと、ご宴会なども承ります。どうかお気軽にお立ち寄り下さい。

ぷあぷあ

仙川商店街中程



パブ
ベースボールイン
ぷあぷあ
☎3309－6469



洋風居酒屋
HEARTLAND
PUAPUA
☎3307－0810

用）入会金／なし　月謝／三千五百円
その他／機関紙・五百円　〔構成〕男女比率　一対三　全員仙川地区在住者　20才以下（50％）　20～30才（10％）　30～45才（15％）　45～60才（25％）
◎自分の子供や近所の子供に指導していたが、人数が増えたので教室を開く／生徒のニーズに応じた指導／応募資格は特になし。随時入学可能／最近は、芸術書道より実用（硬筆）を求める人が増えてきた／講師一人。日本習字学会支部長、藍筍会会員、読売書法展入選／見学可能／発表会は年に一回、教室で行う。
†素質によって違うが、休まず続ければ早くて六年位で師範の資格取得。月謝＋認定試験料

邦楽・着付

［此君会］

★箏　三絃　〔中田博之派箏楽会所属〕
代表／久松君博　所在地／東つつじヶ丘1―9―18　☎3326・4669
〔日時〕月・木曜／13時～18時　〔費用〕入会金／任意　月謝／一万円　その他／定期演奏会会費・チケット代　〔構成〕全員仙川地区在住の女性　10代～60才以上
◎友人・知人より教室開講の依頼を受けて始める／一曲を丁寧に熱心に教え、教授する態度／来たりし者は誰にでも教授／最近は、一つのことを続ける気力に欠けている人が多い様に思える／講師陣は教授資格者六名。芸歴は十五～五十年。その他数名／見学可能／発表会は不定期に仙川外で開催。
「仙川のまちに、定期的な芸事の発表会の場や小さなホールがあればよいと思います。文化的で住み心地良いまちになってほしい」
「忍耐力が養われ、生活に張りが出来、長い一生を楽しく過ごしていけます」
†初伝／一年・三万円　中伝／二年・四万五千円　奥伝／五年・五万円　助教授／七年・二十万円　教授／十年・十万円　個人差あり

［ハクビ京都きもの学院仙川教室］

★着付け
代表／大西ミツ子　会場／トーマツ・ボール仙川内　☎3309・5014
〔日時〕毎週木曜／10時～12時　14時～16時　18時半～20時半　〔費用〕入会金／三千円　月謝／四千円　維持費／千五百円（12回分）　〔構成〕全員女性　仙川地区在住者　20～30才（13％）　30～45才（40％）　45～60才（35％）　60才以上（12％）
◎日本の良い伝統を伝えるため／和服の着付けとマナーの習得／年齢問わず、意欲のある方なら誰でも。若いメンバーが増えている／講師・ハクビ卒、同校師範会教育委員／年一回、仙川外で発表会。
「若い人も高齢者も安心して生活のできることが大切なこと」
「ミニコンサートのできる位の劇場、気軽に会合・集合できる場所やお店が欲しい」
「より一層バラエティに富んだスクールが増えて欲しい」
†三カ月で三級、費用は一万五千五百円。後は三カ月毎に進級。

［行田きもの着付教室］

★きもの着付　〔日本きもの綜合学院所属〕
代表／行田享子　所在地／世田谷区上祖師谷5―3―14　☎3300・1656
サンライズ・カルチャーセンターでの講座もあり。
〔日時〕自宅／月～水曜と土曜の10時～20時の間に数コマあり。サンライズ・カルチャーセンター／木曜10時～15時
〔費用〕入会金（自宅）／三千円　月謝／四千円　〔構成〕全員女性　仙川地区在住者90％　地区外在住者10％　20～30才（30％）　30～45才（25％）　45～60才（40％）　60才以上（5％）
◎学院講師として教えていたが、近隣から自宅でも教えてほしいとの要望があって始めた／道具を一切使わない本格的な手結び。マン・ツー・マン指導／最近は二十代の若い方が増えた／見学可能／発表会は年に二回、仙川外で行う「資格を取得し、着付師としてキャリア・ウーマンに」
†一年で自装・他装の資格取得。かかる費用は十万円。（認定、発表会費、修了式会費、看板）

音楽・ダンス

［ピアノ教室（岡本すみえ）］

★ピアノ
代表／岡本すみえ　所在地／若葉町1―32―4　☎3300・6860
〔日時〕週一回、お互いに都合の良い時に四十分～九十分間、レッスン内容により違う　〔費用〕入会金／なし　月謝／初めての方は五千円～六千円　レッスン内容により違う　〔構成〕男女比率　一対一　仙川地区在住者70％　地区外在住者30％　20才以下（70％）　30～45才（20％）　45～60才（10％）
◎音楽学校時代より自然に継続／稽古が常に楽しく、そして音楽への窓に通じるようにと心がけている（作曲科出身であることも関係か）／個人の音楽性を伸ばせる様にソルフェージュを活かしたレッスン／講師一人。桐朋学園の高校・音大と東京芸大で学ぶ／見学可能／発表会は年一回。仙川内外で行う。
「桐朋学園音楽部門があるので、いろんな楽器の音が聴けるとよい。有線での音楽は、聴く姿勢をあいまいにすることもある」

「音楽に大切な静けさや落ち着き、心のゆとりを持つことの出来る空間が必要。大きくて立派な樹、原っぱがまちにほしい。お店や駐車場が目立たないように、物質的な心が拡がらないように。畑が残っているとホッとする……」

「音楽は教えてもらって出来るものではなく、一緒に育てていくもの（時間をかけて）そして一人で見つけていくもの。教師はある部分のお手伝いさん。個々の感受性をとやかく言えません。スクールという言葉は注意深く使いたいです」

「習い事（感動する事）によって、自分を知ること。生きていく上の勇気や希望を持つ事ができるように」

［山部庸子ピアノ・エレクトーン教室］

★ピアノ　エレクトーン

代表／山部庸子　会場／入間町1―16―3　鈴木商店2階　連絡先／3300・0814

［日時］火曜日、他応談　［費用］入会金／三千円　月謝／六千五百円（初級）

［構成］全員仙川地区の女性　20才以下（93％）　45～60才（7％）

◎若葉幼稚園を会場にしていたが廃園となり、生徒さんの親が現在の場所を提供してくれて始めた／四才～大人まで幅広く教えている／音楽の楽しさを感じてもらいたい。感性豊かな人間になってほしい。

「音楽大学もあり、芸術活動をされている方が多いので、環境はとてもよいと思う」

「始めたことは挫折せずに続ける。一生懸命努力すれば、いずれ何かのプラスになる」

［山上音楽教室］

★ピアノ　声楽

代表／山上敏子　所在地／入間町3―6―41　☎3789・3722

［日時］月曜～土曜　10時～20時応談

［費用］入会金／三千円　月謝／七千円～　［構成］全員女性　仙川地区在住者60％　地区外在住者40％　20才以下（50％）20～30才（20％）　30～45才（20％）　45～60才（10％）

◎音楽を通じて、コミュニケーションを図りたい／年代を問わず、楽しく個性を生かしたレッスンを目指す／継続は力なりが習うことの妙味／講師一人。東京芸大大学院卒／見学可能／仙川地区で年に一回発表会あり。

「芸術・文化環境はいい。コミュニケーションのできるスペースが一番欲しい」

［滝坂の森発声教室］

★発声練習　呼吸法　歌（日本、世界）

代表／川口信子・澤武紀行・稲川　澄

連絡先／川口☎3300・8871　澤武☎3305・7167　稲川☎3300・6616　会場／仙川町2―4―1　川口屋

［日時］日曜（月2～3回）20時～22時（昼の部開設も検討中）　［費用］入会金／三千円　月謝／三千円　維持費／月五百円。

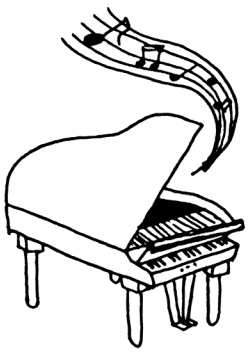
［構成］男女比率　一対九　全員仙川在住者　45～60才

◎歌いたくても声がうまく出ないので、出るようにして欲しい。カラオケブームの中、ピアノ伴奏でマイク無しで、思いっ切り歌いたいという希望に応えて／楽しく歌って、心も身体も健康になろうがモットー／上手、下手は二の次、とにかく歌うことが大好きという方ばかり集まっている／老若男女問わず、特に初心者大々歓迎／講師・澤武紀行。桐朋学園大学音楽学部声楽専攻卒、研究科に在学中。年2～3回教室内で発表会を開催。

「歌を通じて新しい自分に出合うことが出来る」

「街に音楽ホールが出来て、やらず嫌い、聞かず嫌いという人を無くしていければよい」

「もっと教室同士の情報交換や交流があればよい」



絵画・写真

［萌黄会］

★芸術

代表／目黒はつ枝　所在地／世田谷区給田1―9―22　☎3300・3616

［日時］月曜日　13時半～16時半　［費用］入会金／三千円　月謝／三千円

［構成］全員仙川地区在住の女性　30～45才

◎一線美術会、旺玄会の先生に指導を仰

［浦辺日佐夫ジャズダンススタジオ］

★ジャズダンス

代表／浦辺日佐夫　所在地／若葉町3―2―84　☎3326・6149

［日時］原則として週二回×四週、クラス（初級から上・中、一般、レディスなど各種あり）による。　［費用］入会金／一万二千円　月謝／週一回・七千円　週二回・一万円　※チケット制もあり

◎六本木スタジオ移転のため、現在の教室を開く／アットホームな雰囲気で、初心者から上級者まで楽しく踊るスタジオ／三才以上の踊りたい方なら誰でも歓迎。入会随時／教師四名。浦辺日佐夫（日本ジャズダンス芸術協会理事長）。インストラクターは第一線の教師・プレイヤー三名／見学、無料体験レッスン可能／年に一回、銀座博品館劇場や六本木の俳優座劇場などで発表公演。

いで結成／結成十年、絵画に興味のある主婦が和気あいあいと集う。教室での集中制作に充実感を覚える／成人であれば男女問わず参加可／講師二人。保科米三（一線美術会委員）温厚な人柄。目黒はつ枝（旺玄会会員）女子美術大卒後、東京芸大に学ぶ。日本のベストアーティストグランプリ受賞／見学可能／発表会は年に一～二回、銀座と世田谷美術館にて行う。

「仙川におられる様々な分野の芸術家の話を聞けるチャンスがほしい。噴水のあるスクウェア、気軽に人々が集える施設が欲しい。仙川アヴェニューの様に、演奏会・パフォーマンス・絵画展が行われている特色ある場所をもっと宣伝して多くの方に知ってほしい。ただ、その前に商店街の自転車の置き方の改善を」

「少しの時間をさいて、自分にあった趣味を探し、続けることが老後の豊かな生き方につながる」

［仙川クロッキー道場］

★絵画

代表／栗田行雄　会場／スペース仙川　連絡先／仙川町1―9―61　モッテ画材店　☎3300・8287

［日時］第二・第四木曜／18時半～21時

［費用］入会金／五千円　月謝／一回・千八百円　［構成］男女比率　七対三　仙川地区在住者54％　地区外在住者46％　20～30才（27％）　30～45才（32％）　45～60才（22％）　60才以上（19％）

◎開設の希望が多く、昭和五十四年に開講／道場の名が示す通り、自らの努力で技術の向上を目指す人達の自由な学習の場でありたい。したがって講師はいない。／応募資格なし。即、入会可能。一年以上続けられる方歓迎。

「将来は、スケッチ旅行なども計画していきたい」

［松村和江ポースレインアート教室］

★ポースレインアート（上絵付）

代表／松村和江　所在地／世田谷区給田2―19―11　☎3308・8762

［日時］第一・三月曜、火曜13時～16時

［費用］入会金／一万円　月謝／八千円

他に材料費　［構成］全員女性　仙川地区在住者15％　地区外在住者85％　45～60才（80％）　60才以上（20％）

◎資格修得後、教えてみたいという気持ちがあって、希望者の方に教え始めた／なごやかな雰囲気の中で、技術を学ぶと同時に楽しい時間を持つ／学ぶことが学生時代の義務から喜びへと変わる。楽しい友達づくりが出来る／手作業の好きな方、食器等生活用品に関心のある方歓迎

講師一人。多摩美大卒、西武カルチャー教室にて修得／見学可能／年秋に第一回発表会の予定。

「分野の違う講師の方々との交流の場が欲しい」

［写真上達講座］

★写真

代表／加藤純一郎　所在地／仙川町1―19―24　BIG　WAY店内　☎5313・1949

［日時］4カ月にて一期、毎週水曜　19時～22時　［費用］受講料四万五千円、その他材料実費　［構成］男女比率　二対一　仙川地区在住者83％　地区外在住者17％　20～30才（17％）　30～45才（37％）　45～60才（50％）

◎カメラまかせの写真から、自己の意志でカメラを操作し、写真を撮れるように／カメラを武器とせよがモットー／講師一名。極めてユニーク／性別・年齢問わず、見学可能／不定期に仙川地区の銀行などの展示スペースを利用して写真展を開催。

「仙川の街に映画館が一番欲しい」

工芸・造形

［快適刺激空間――ワーク・ショップ季の風］

★自由花（四季の花）

代表／塩沢珠江　会場／仙川町1―25―2　仙川アヴェニュー北プラザ306　☎3307・3089

［日時］火・水・土曜（月二回）／10時～12時半　12時～14時半　（土曜のみ18時半～21時のクラスあり）　［費用］入会金／五千円　月謝／一回三千円　（花器使用料込）花材費／一回四千円（月二回で計月一万四千円、三カ月分前納）

［構成］全員女性　仙川地区在住者50％　地区外在住者50％　20～30才（10％）　30～45才（40％）　45～60才（40％）　60才以上（10％）

◎まわりの方々の希望により教室を始める／型や流派ではない「自分流」の花の良さを知ってもらいたい／技術だけでなく、感性・感覚を磨くための刺激と快適な緊張の場にしたい／季節の草花、枝物、花器に合わせて詩のある花を生ける／応募資格なし、未経験者大歓迎。見学可能、入学随時／講師一人。日大芸術学部卒後、パントマイム、広告代理店、花店勤務を経て、ワーク・ショップ季の風を主宰する。他の講師による、フラワー・アレンジメント、木彫、ニットの教室も開講中。

「桐朋や白百合などの文化背景と、地域とのギャップを感じる。モノを売るだけのまちではなく、多種多様な人達が仙川以外からも交差できるよう、何時どこで誰が何を行っているかの情報機能が整備されたまちになれば、と思う」

「仙川以外の地域からも人々（学生以外の）が来る、チャンとした内容を持つ、面白い街でありたい。スペースやサロンがあればありがたいが、雰囲気のある場でないと意味がない」

「詩のような花、音楽のような花、絵画のような花、書のような花、そんなドラ

マティックな花で、自分を表現してみましょう」

†美術・芸術に免許や資格は不要と考えています。

［グループ・デコ　木彫教室］

★木彫

代表／野坂恵美　連絡先／044・922・3869　会場／仙川町1―25―2仙川アヴェニュー北プラザ306

〔日時〕第一・第三月曜／14時～17時

〔費用〕入会金／一万円　月謝／六千円　諸雑費／一万七千円

〔構成〕全員女性　30～45才（50％）　45～60才（45％）　60才以上（5％）

◎一年がかりで一～二点の作品を仕上げる。それ故に、出来た時の喜びは大きい／暖かみのある木との対話／参加資格なし。見学可能／講師一人。四代続く彫刻一家に生まれる。翁朝盛（実父）、ローマでジャコモ・マンズーに師事。白百合女子大学構内の『ルルドのマリア像』制作／発表会は不定期に仙川外で開催。

「趣味だからと簡単に考えず、集中力と忍耐力を発揮し、厚い壁を乗り越えた先にある感動をつかんでもらいたい」

「特色あるまちづくりが、今後の仙川に必要かと思う」



［創作人形教室アトリエ104］

★創作人形

代表／つぼうちわかこ　所在地／三鷹市中原1―2―30―104　☎3307・8605

〔日時〕金曜（月二回）／10時半～13時

応談　〔費用〕入会金／一万円　月謝／六千円　材料費別途　〔構成〕全員女性　仙川地区在住者57％　地区外在住者43％　20～30才（14％）　30～45才（14％）　45～60才（29％）　60才以上（43％）

◎皆様の要望により開講／明るく楽しくアットホームな雰囲気の教室／初歩から上級まで個性を大切に、楽しみながら技術・感性の向上／性別・年令問わず／講師一名／発表会は二年に一度、仙川地区で行っている。

「クラシック音楽の流れる仙川は、芸術・文化環境としてはなかなかのもので、今後の発展に大いに期待する。気軽に利用出来るスペース・サロンがほしい。」

「新しい自分の発見、一つの作品が出来るごとの大きな喜び、コツコツと長く続けられる楽しみ……、心豊かになります」

［小島インテリア工房・ステンドグラス教室］

★ステンドグラス

代表／小島健二　所在地／三鷹市中原1―27―3　☎3308・6450

〔日時〕月～木曜・土曜　13時～16時

（月四回）　〔費用〕入会金／四千円　月謝／八千円（三カ月分前納）　材料費／五千～一万円（一カ月分）　時間八百円のフリー制あり　〔構成〕男女比率一対九　仙川地区在住者29％　地区外在住者71％　30～45才（33％）　45～60才（48％）　60才以上（14％）

◎市民の皆さんが気軽に習える教室。一日三人までの少人数制で、マン・ツー・マンにより、わかりやすく親切丁寧に指導／素人でも綺麗な作品が作れる。一年間に八つの作品をつくるのが目標／豊富なビデオテープとスライド、書籍でより深い知識を得ていただく／応募資格なし、どなたでも歓迎／最近は入会者数が増えている／講師一人。定年後にステンドグラス（鉛線とコパーテープ）を習得。教室開設十年で、プロを二人育てた／見学可能／二年に一度、銀座画廊で発表会。

「今後は個人の教室とカルチャースクールの授業料の差が問題となるでしょう」

†師範／おおよそ八～十年、費用はゼロ。

手芸・創作

［てづくりのへや・ふじまる］

★パッチワーク　キルト　〔調布工芸美術協会所属〕

代表／藤丸陽子　所在地／若葉町2―19―17　☎3308・2792

〔日時〕初級／第二・第四金曜　10時半～12時半　中級／第一・第三木曜　10時半～12時半　上級／水曜（月に一～二回）／10時～12時　〔費用〕入会金／五千円　月謝／三千五百円（三カ月分前納）　雑費／五百円（三カ月分）　〔構成〕全員女性　仙川地区在住者40％　地区外在住者60％　20～30才（4％）　30～45才（66％）　45～60才（20％）　60才以上（10％）

◎若い頃から子育て終了後のライフワークとしての教室開設は目標であった／布と針と糸の実用であるとともに、すばらしい芸術の世界／基礎技術を大切に、その人の感性を活かした創造的なデザインの作品づくり／技術の幅を広げながら、デザインの発想力を高め、〝その人らしさ〟のある作品づくりが目標／ぬいぐるみや袋物などの小物はバザーへ出品／大作に自己表現できる奥の深さに、生涯の趣味として習う生徒が増えている／講師一人。中学校家庭科教師の免許取得後、洋裁、デザインを学ぶ。各種学校で洋裁教師を務め、パッチワークを学ぶ。現在はパッチワークの講師として、自宅のほか多数の教室で教えている／見学可能／免状制度には疑問があり、与えていない。本当に実力をつけるには五～十年必要／発表会は年に一～二回。教室内と仙川以外の地区。

「このまちは、環境も整い文化人が多く住んでいると思いますが、活動はみられない。住む場所と活動する場所は別なのでしょうか」

「公共の場所以外にも、発表の場となるスペース、サロンがほしい。芸術・文化のまちとしてのイメージづくりが大事」

「自己流でつくる作品と、基礎を学び、仲間たちと和気あいあいの雰囲気の中で刺激しあってつくる作品は、どこか違います。オリジナリティの高い秘められた能力を引き出すことが出来ます」

［武蔵野てまりの会］

★手芸（手まり）〔日本手まりの会全国手工芸指導協会所属〕

代表／三本迦代子　会場／永楽信用金庫集会室　連絡先／若葉町1―24―19　☎3308・9573

〔日時〕木曜（月三回）／10時～14時

〔費用〕入会金／五千円　月謝／三千円

教材費／千円（一回毎）〔構成〕全員女性　仙川地区在住者27％　地区外在住者73％　30～45才（1％）　45～60才（44％）　60才以上（55％）

◎針と糸があれば膝の上で一人静かに作れる美しい手まり、その楽しさを知ってもらいたい／音も出ないので誰にも迷惑をかけない／まりの様に教室を暖かい和（輪）が包んでいる／女性向き／最近は若い方が入会しませんね／講師三名。三本迦代子　日本てまりの会理事兼教授・全国手工芸指導協会師範。尾崎文子　日本てまりの会教授・武蔵野てまりの会補佐・全国手工芸指導協会師範。川端信子　日本てまりの会教授・武蔵野てまりの会補佐・全国手工芸指導協会師範／見学可能／発表会、仙川地区で不定期に開催。

「仙川地区には文化的な趣があると思います。まちにほしいのは、駅前に安く利用出来る大きな掲示板」

「手まりを一度でも作ってみれば、楽しく、美しく、魅せられてしまいます」

†日本てまりの会／師範（六～八年・二万円）　教授（十年以上・四万円）　全国手工芸指導協会／講師（五～六年・四万円）　師範（十年以上・十万円）

［糸のアトリエ・フォルム］

★編物　オリジナルニット

代表／鈴木洋子　連絡先／　3415・7405　会場／仙川町1―25―2　仙川アヴェニー北プラザ306（成城教室あり）

〔日時〕第一・三木曜／10時～12時半

〔費用〕入会金／一万円　月謝／八千円（三カ月前納）その他／糸代（一万～一万八千円平均）

〔構成〕全員女性　仙川地区在住者67％　地区外在住者33％　30～45才（25％）　45～60才（33％）　60才以上（42％）

◎私の作品を見て教えて欲しいという要望があり、仙川教室は友人の誘いで開設／違った素材と色の組み合わせで、プティック感覚の一点物を心がける／子育てが一段落した方から年配の方までが楽しんでいる／夢中になれる趣味を一つもつことは大切、テレビを見て時間を過ごすだけなんて／普通のではなく自分だけの一点物をという方に向いてる／見学可能／講師一人。跡見短大卒、ひつじの会主宰／発表会は仙川地区で不定期に開催。

「編み物の楽しみは四つ。考える、作る、着る、そして褒められる！」

「駅から近い所に、図書館や多目的なスペースがあるといい」

「子育ての終わった主婦は、自分の趣味を楽しむスクールについての情報を捜しているはず、一括したガイドブックがあると便利」

「芸術・文化等によって人の輪が広がり、心にゆとりを持った人たちの多い街になってくれたらと思う」

［なかや本店手芸教室］

★①編み物（手編み）②パッチワーク③刺繍

代表／鈴木孝夫　所在地／仙川町1―15―28　☎3300・6805

〔日時〕①毎週土曜／11時～13時　14時～16時　②第一・第三木曜／10時半～12時半　③第一・第三金曜／11時～13時

〔費用〕入会金／無料　月謝／①③無料　②有料　その他／材料費は自費

〔構成〕全員女性　仙川地区在住者90％　地区外在住者10％　20才以下（10％）　30～45才（30％）　45～60才（10％）　60才以上（50％）

◎仙川周辺の手芸の発展を目指して／作品が出来上がるように、出来上がるまで（手編みセーター）がモットー／講師　手編み・日本手編協会講師、刺繍・戸塚刺繍講師、パッチワーク・ヴォーグ講師／年齢問わず、見学可能。

「あの作品、この作品ステキ、キレイ、どのようにして作るのかしらと思った時が、入会の時、どうぞお気軽に！」

［モード・もりや洋裁研究所］

★洋裁

代表／守屋政子　所在地／世田谷区給田4―14―11　☎3309・5654

〔日時〕火・木・土曜／10時～17時

〔費用〕入会金／一万円　月謝／二万円

チケット制あり　〔構成〕全員女性　30～45才（50％）　45～60才（50％）

◎洋裁の技術者が減少傾向にあるので、若い人達に技術を伝達するために開講／立体裁断と平面図によるパターン作りとプレタ縫いを指導／ウェディングドレスも手作りで楽しむ／年令不問、初心者可。洋裁に関心がある方ならどなたでも。見学可／講師一人。洋裁店自営、専門学校教諭を経て、現在の研究所開設。

「専門学校の内容と同じ様に指導するので、プロを目指す方（パタンナー、注文服）にもお勧めします」



語学・総合

［敬心アカデミー］

★総合英語　フランス語　ドイツ語　英会話
代表／内田信子　所在地／仙川町1―2　敬心外国語専門学校内　☎3300・6885
［日時］月曜～金曜／16時半～20時半
［費用］入会費／二万円　月謝／一万三千円～　年間維持費／一万円　［構成］仙川地区在住者40％　地区外在住者60％　20才以下（25％）　20～30才（50％）　30～45才（15％）　45～60才（10％）
◎1953年以来の41年間の長い伝統と実績により、地域の皆様の厚い信頼と支持を受けている敬心外語の生涯学習部／対象は3才児から成人まで。個人指導が中心で、英会話はグループ指導／英語力をグレードアップしたい、各種検定試験に挑戦したい、英会話を楽しみたい――各個人のニーズに合った指導を行う／大学院修了（或は同等）の資格を持つ、質の高い教師陣／見学可能。随時入学可。
「英会話を習ってみたいが、英語から遠ざかって何年もたつという方は、総合英語で初歩から復習して、会話クラスに移ると、無理がなく効果的」

［サンライズ・カルチャーセンター］

★学業　趣味　教養　手芸　保健体育
代表／篠原晴美　所在地／仙川町1―15―1　坂口仙川ビル2階　☎3308・4365
［日時］月曜～土曜　10時～18時・20時
［費用］入会金／五千円（各講座共通）　月謝／三千～六千円　その他／各講座によって違う　［構成］男女比率　一対九　仙川地区在住者75％　地区外在住者25％　10代～60才以上
◎学園都市のイメージと、商店街の充実による集客力に期待して開講／デコパージュ、ロマンドール、俳句、水墨画、カラーセンスアップ、鎌倉彫、料理など昼間28講座、夜間3講座が開講中。モットーは少人数制、地域密着型／アットホームな雰囲気と、実力ある講師陣／応募資格問わず／ここ数年、生徒数が伸び悩んでいる／見学可能／発表会は講座ごとに実施。
†資格・免状は講座によって異なる。



サークル・クラブ

［新緑部］

★民謡
代表／田中トク　連絡先／3300・4677　会場／緑ケ丘地域福祉センター
［日時］毎週土曜／13時～17時
［構成］全員女性　60才以上
◎見学可能／仙川外と教室で年に二回発表会あり。

［仙川はやし連］

★祭り囃子　鉦　笛　大胴　鼓（締太鼓）
［調布市郷土芸能祭り囃子保存会　般橘流（大場流）所属］
代表／田辺豊　所在地／仙川町2―3―5　☎3309・5431
［日時］土曜／19時～21時半　［費用］入会金／なし　月謝／千円　その他／自前の道具、笛や面をつくる時には必要
［構成］男女比率　三対二　全員仙川地区在住者　45～60才（38％）　60才以上（62％）
◎明治初年頃に結成され、途中しばらく途絶えていたものを昭和二十一年に再興／伝統芸能なので、末永く伝承していきたい／最近は女性の進出が目立つ／応募資格は男女ともに高校生～六十才位、仙川地区在住の方／囃子の指導は調布市祭り囃子保存会の役員―田辺豊、浜島健二、稲垣春雄。舞の指導は紅梅流家元・紅梅扇寿郎／見学可能／調布市の保存会大会の発表の他、八幡神社祭礼、商店街の夏祭り、行政や町内の祝い事、訪問演奏など、発表の機会多数あり。
†資格・免状はないが、約三年間は新習い（見習生）、その後、正会員となる。長期会員は市より表彰。

［ジャズ・アンド・フィットネス］

★ジャズ・ダンス
代表／川村絵里子　連絡先／3482・3682　会場／入間地域福祉センター
［日時］毎週木曜／10時～12時
［費用］入会金／なし　一回／六百円
［構成］全員女性　20～30才（10％）　30～45才（80％）　45～60才（10％）
◎入間町の都営住宅集会所で始め、後に現在の会場に移る／体を動かす楽しさ、爽快感を味わってほしい。ストレス解消、リフレッシュできるステキなサークル。小さいお子さん連れでもお互いに助け合ってOK／参加資格なし、見学可能／日劇ダンシングチーム出身者が明朗闊達に指導／年に一回教室で発表会あり。
「広い公園があるわけでもないし、仙川に行くのは買い物だけが目的になってしまう。誰でも利用できるホールがあって、小さな音楽発表会や絵画の展示などがあれば（その横にはお年寄りや子供の集まれる公園があれば最高）、ゆっくりと散歩し、買い物が楽しめるステキな街にな

る（千歳烏山の様な）」
「小さな子供がいる主婦は教室に入会したくても、やはりためらってしまう。託児所（有料でも）さえあれば、やりたい人はたくさんいる」
「仙川は場所代が高いせいか、閉鎖するスクールを目にする。もっと一般の人が入り易い公共的な施設ができればよい」

［人形劇ポップコーン］

★人形劇の制作・公演
代表／藤森恵美子　連絡先／３３００・７７７２　会場／入間地域福祉センター　〔日時〕月二回／13時半～16時半　〔費用〕年に千円位　〔構成〕全員女性　30～45才
◎小学校の学級活動で作った人形劇が楽しかったので、有志が集まりグループを作った／幼稚園の誕生会や子供会の催しにボランティア出演／人形製作は廃物利用の手づくりが多い／無理せず楽しくがモットー。台本つくりから音入れまでも行う／一緒に仲良くやれる方なら、どなたでも歓迎します。
「セットや道具が増えるので保管場所がほしい」
「みんなで使えるスポーツ施設、安く又は無料で使える公民館的な施設が身近かに多くほしい。自然を残したまちづくりも必要」
「幕が開く前の緊張感、降りた後の開放感、子供たちの天使の様な真剣なまなざしで見つめられた時の身のひきしまる思い、みんなで考え、工夫して作り上げる楽しさ……全てが魅力です。」

［ぐるうぷ紫陽花］

★女性コーラス
代表／黒沢陽子　会場／東部公民館　連絡先／☎３３０９・３２４７　〔日時〕毎週水曜／13時～16時　〔費用〕入会金／二千円　月謝／三千円　積立金／千円　〔構成〕全員女性　30～45才（35％）　45～60才（50％）　60才以上（15％）
◎歌の好きな仲間が集まり、緑ケ丘小ＰＴＡのコーラス部として出発／オペラの歌、女性合唱曲、カンツォーネと幅広く、楽しく歌っている／資格問わず、ただ歌の好きな人達の集まり、見学可能／講師・谷茂樹。オペラの二期会会員のバスバリトンの若い、すてきな先生／不定期に仙川外で発表会。
「三百人位収容の舞台のある会場が欲しい」

［グループキャンバス］

★絵画（水彩・油彩）
代表／井出豊　連絡先／０４２４・８６・５７６６　会場／東部公民館　〔日時〕第一・二・四の日曜／９時半～12時半　〔費用〕入会金／千円　月謝／三千円　〔構成〕男女比率　三対七　仙川地区在住者53％　地区外在住者47％　20才以下（６％）　20～30才（12％）　30～45才（６％）　45～60才（41％）　60才以上（35％）
◎東部公民館の水彩教室から発展的に自主運営となる／出来るだけ自然観察を取り入れたいので、四季を通して野外写生（宿泊もある）を実施。会員相互の親睦も図る／若い人の入会が増えた／初心者歓迎／講師・帆足次郎。東京芸大卒、入間町在住／見学可能／発表会は年に二～三回。教室内と仙川以外の場所で。
「公民館が狭く、文化祭等の発表会では部屋割に苦労。絵画鑑賞には不向き」
「道路の整備、文化的なまちづくり（芸術・音楽）が大切」

［緑ケ丘読書会］

★読書会　〔調布市図書館ブッククラブ所属〕
代表／出沼覚子　連絡先／３３０９・３９４４　会場／緑ケ丘図書館　〔日時〕第四水曜／10時～12時　〔費用〕本代のみ（借りる場合もある）　〔構成〕全員仙川地区在住者の女性　45～60才（17％）　60才以上（83％）
◎会が始まってから二十年近い／読みたい本をみんなで読む／講師・大出きたい／一緒に活動する方を求めている／見学歓迎。
「イベントや他のことにも使えるスペースが仙川にほしい」
「個人の好みでは絶対手にしない本も、みんなと一緒だと読めるもの。意外な成果がある」

［神谷倶楽部］

★将棋
代表／下山修平・原丈祠　会場／カットサロンたけし、ゴーシュ、東国書林　連絡先／☎５３８４・６２７４　原　〔日時〕木曜（月一回）　20時半～　指導対局（月一回不定）　20時半～　その都度の連絡　〔費用〕入会金・月謝／なし　その他／プロ棋士への指導対局料　〔構成〕全員男性　仙川地区在住者80％　地区外在住者20％　20～30才（20％）　30～45才（40％）　45～60才（20％）　60才以上（20％）
◎将棋自由人の集い。　先だけは誰にも負けない強い者共／毎月一回のプロ棋士との指導対局。職団戦への参加／指導者・神谷広志六段（浜松市出身）。28連勝記録。Ｂ級2組／見学可能。将棋の好きな人、強くなりたい人歓迎。
「スポーツセンター（温水プールなど）や映画館が欲しい」
「タイム・イズ・マネー。仙川地区のカルチャースクールの将来を暖かく見守りたい」

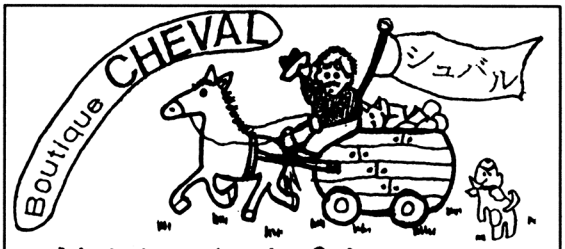


魚貝料理と釜めし

なみはな

営業時間　AM 11：30〜PM 2：00（ランチタイム）
PM 5：00〜PM 11：30

仙川町 1-4-28　☎ 3307-9854



仙川町1-4-24
Tel 3326-8323

カットサロン

たけし

完全予約制　厚生省公認毛髪診断士

仙川駅徒歩 2 分　桐朋学園通り　☎ 5384-6274



仙川町 1 −10　第 2 伊藤ビル　☎ 3305-0838

遊んでいる本は有効に生かしましょう

古書
訪文堂書店

桐朋学園通り　☎ 3308-6455

伝統の味 ふるさとの味　手打そば処

家族庵

営業時間　11：00 〜 21：00　火曜定休

桐朋学園通り　☎ 3326-9456

汗かく夏季はかき氷
おばさん！蜜豆みっつ、心太もよ！
…… 宵待草のやるせなさ

甘み処 よしきり

仙川町 1−16　3300·8481

画材・額縁

mottet

お蔭様で20周年を迎えました。

仙川町 1-9-61　☎ 3300-8287

与えられた美ではない創りだしていく美しさを
なりゆきまかせの人生からすばらしいふれあいの生を
——ファッションをとおして
そんなことができないか、
と願っております。

仙川町 1 − 12 − 1
☎ 3308 − 7264

azi

てしまの粋飯



特別栽培米
新潟県中条町産コシヒカリ特約店

手島米店

仙川商店街駐車場前

本店☎ 3309-4641　仙川店☎ 3307-5649

●ある受講生の体験記

写真上達実践講座あらかると

長　正男

昨年11月のある日、行きつけの写真屋BIG WAYの店頭に無造作に置いてあるチラシがフト目に止まった。『写真上達実技戦講座――基礎から実技、暗室まで――』とある。

BIG WAYの主人曰く。「家庭的な雰囲気の教室にしたいので、10名ぐらいを限度にしたい」と。12月から3月まで4カ月間、毎週水曜日、1講座3時間。長丁場だが大丈夫だろうか……あれこれ熟考の末、受講することに決めた。

クリスマスの雰囲気が漂い始めた12月1日夜7時、いよいよ講座の開幕である。受講生一同神妙な顔で席に着く。それにしても、みんなイッパシのカメラマンみたいな顔をしている。「やっぱり自分の来る処ではなかったかな?」とチョッピリ後悔が頭をもたげた。物事はスタートが肝心――勇を鼓して、おずおずと大一声「先生、知識ゼロの初心者に基準をおいて講座を進めていただきたいんですが……」。すかさず他の受講生から助け船あり、「いや、私たちもみんな同じです。写真のことは何も分からんのです。だから来たんですから……」と。

ああ、相手を思いやる心のある人たちなんだ、これなら楽しくやっていけそうだ……と安心する。

講座は和気アイアイとした雰囲気のうちに回を重ねていった。家庭的な雰囲気の教室にしたいという言葉に嘘はなかったのだ。難解なカメラ用語も実に分かりやすく噛んで含めるような説明である。

写真は撮ったが、どんな具合に写ってるのか、プリントされた写真を見るまで全く分からない。たまたま偶然うまく写ってるのがあればもうけもの――くらいにしか考えなかった私である。だが先生に言わせれば『シャッターを押した瞬間に、写真の出来具合がある程度イメージできるようにならなければウソ』なんだそうだ。そのためにこそこの講座でいろんなことを勉強していこうという訳である。

3回、4回と講座が進むにつれて、写真が写る基礎的な原理が段々と分かってきた。今までは写真やカメラに関する本を読んでも理解できず、ただパラパラと眺めるだけだった。絞りとシャッタースピードとフィルム感度の組み合わせで露出が決まる、という能書きだけは分かるのだが、では絞りの2.8とか、4、5.6、8とかいうあの不規則（と思える）に並んでいる数字の意味するものはとなるとサッパリ分からなかった。しかし、今は違う。理解できるようになったのである。目からウロコが落ちる――とはこのことかと我ながら嬉しくなってしまう。

フィルムといえばネガしか知らなかった私であるが、リバーサルもみっちり教わり、早速に一本撮らされた。そして忘年会を兼ねた別会場で作品をスライド映写機で写しながらの勉強会である。「こんなきれいな写真が自分にも写せる、なんてスバラシイことなんだ!」一躍名カメラマンになったような気分になる。リバーサルのプリント料金はちょっと高いが、ネガで撮ったもの全部をプリントして、その中から気に入った何枚かだけをアルバムに貼ることを考えれば、最初から気に入ったものだけをプリントするリバーサルの方が、結果的にはむしろ安上りといえることも分かった。私にしてみれば思わぬ発見である。これでまたリバーサルという大きな楽しみが一つ増えた。

この講座の終わるのが3月末、今ちょうど折り返し点を迎えたところである。これから更に人物撮影、物撮り、野外撮影、そして暗室の実技指導等々が予定されている。講座はいよいよ佳境に入ろうとしている。講座初日に、先生が言われた通りの知識、技術が果たして講座終了の時までに自分の身につくのだろうか?一抹の不安はあるが、少なくとも初日とは比ぶべくもない大変身を遂げていることだけは確かだろうと思う。ともあれ、これからの人生に大きな楽しみが一つ加わったことを嬉しく思っている。

（平成6年1月31日　仙川町一）

仙川商店街中央　SSストアー内

佐藤精肉店

日曜定休　☎3300-6625

資生堂・コーセー　アルビオン

りきや化粧品店

仙川駅前　中央商店街　TEL(3300)8024

おいしいお茶と海苔の専門店

●都内無料宅配（含む三多摩地域）

●地方発送承ります

仙川商店街中央・藤屋ビル1F

☎3307-7288

お茶と海苔　金山利百（やまりや）

MAXFACTOR

カネボウ化粧品

ソフィーナ

ユンケル　黄帝液

恵命我神散（けいめいがしんさん）

くすり

仙川商店街中央

☎3300-4660

広田薬局



パスタ，ピザ，イタリア料理

PICCOLO MONDO
RISTORANTE

AM11:30～PM9:30　定休日・月曜日

仙川町1-12-15

フジヤビル2F　☎3326-0243

オーディオ＆ビデオ　ナショナルショップ

あなたの街のあなたのお店

サトウデンキ

仙川商店街中程　☎3300-5016

毎度有難う御座います

※米穀・宅急便取扱

鍋屋

斉藤米店

甲州街道仙川駅入口角

☎3300-4709（米穀・宅急便取扱）

ミセスの装い・おしゃれのみせカスミ

Kasumi

〒182 調布市仙川町1－13－9　☎3300－6768

目黒歯科医院

診療時間　10時～12時　14時～19時

休診　日曜日・祭日・土曜午後

〒182 調布市仙川町1－9－7　☎3308－6602



診療時間

平日　午前10時～12時30分

午後2時30分～7時

土曜日　午前10時～午後1時

日曜日・祭日・木曜午前中休診

仙川耳鼻咽喉科

仙川町1-12-46 根岸ビル2F　☎5313-3281

●人と仕事シリーズ

わざわざ相談室のカウンセラーたち

あなたは友人や、家族に話せない悩みを持って苦しんでいる時がありませんか？　自分一人で悩んで、悩んで、どうしても解決できない時、ここ仙川の「わざわざ相談室」を訪れてみましょう。

京王線仙川駅を降りると、すぐこの町のにぎやかさとアッアッのムードに囲まれます。この町には何とも言えない人に親しみを抱かせる雰囲気があります。「わざわざ相談室」はこの町の表通りのにぎやかさと対照的な裏通りのわりあい静かな所にあります。

この桐朋学園通りの一軒の小屋＝スペース仙川の前に「わざわざ相談室」という看板がかかっています。さりげなく、原木のままの素朴な感じで、正直にいって、ここに悩んでいる人達の話を聞いて、その悩みを解決してきた相談室があるとは信じられない気持ちです。

ここはもともと仙川名物の一つ、じじばば劇団「わざわ座」が一世を風靡していた小屋です。世田谷区の「世田谷婦人大学」でカウンセリングを学習し、今なお研鑽し続ける人達によって、その劇団の名前を借りた「わざわざ相談室」が運営されて、すでに十一年になります。

私が訪れた日は週に一回の相談の日――月曜日で三人のカウンセラーがおりました。二十年以上の経験を持つカウンセラーのプロでおられる巻島セミナーの巻島恒子先生、それから薬剤師が本業で日本心身医学会会員加藤桂子さん、それに主宰者である井上早苗さんの三人です。カウンセラーは現在五人いて、井上さんを除く、他の方は皆仕事を持っているとのことです。他の二人は松沢病院の看護婦さんと市の教育相談所に勤めている人で、全員五十代から六十代の女性ばかりです。

彼女たちは婦人大学で知り合い、なんとか自分たちの「実践の場をつくりたい」という共通の願いを固めていた時、仙川眼科の吉田央院長に出会いました。わざわ座の座長でもあった吉田氏は、スペース仙川を会場として無料で提供し、必要なものを整え、そして「金は出すが、口は出さない」をモットーに、彼女たちの動きを暖かい目で見守ってきてくれました。昭和五十八年四月に創設された相談室は、もうすっかりこの仙川の地に根を下しました。

プライバシーを守るため個人データは記録しない

相談所といえば、今ではあちこち役所の相談室とか、企業内の相談室とかたくさんできています。そこでカウンセラーと悩みを持っている人々との対話が行われるわけですが、どこの相談室でも、最も大事なことは相談者のプライバシーを如何に守るかということです。人に話せない悩みを打ち明けるのですから、秘密が漏れてしまうようなところでは、安心して相談などできないことでしょう。そして、直接悩みを聞くカウンセラーにとって、個人のプライバシーを守るのは、この仕事の基本原則です。しかし役所などでは最低限のデーターを残す必要があり、名前、住所、職業などを記録しています。「わざわざ相談室」でも、始めの五、六年の間は、他の相談室と同じように名前や職業や相談内容の一部を記録していました。

「でも、ある時フッと皆気がついたのです。記録など残す必要はない。いくら秘密を守るといっても、記録する以上、何らかのことで、その秘密が漏れてしまうことはないか。来ようとする人達が、そのことが心配で迷っていることはないか。実際にはもっともっと相談に来たい人達がいるんじゃないだろうか……。そのためには個人の住所、名前や職業などの登録などはやめてしまって、ただ相談の内容だけを記録していこう。それを蓄積していって、いろいろな人の悩み事の対処のデーターとして活用していければ、私たちカウンセ

ラーの仕事にとって十分ではないだろうか。」「そして、その時まで残していた個人のデーターを全部消却し、相談内容だけを残してきた。これからも『個人データーを記録しない』ということを、この相談室の特色としてやっていくつもりです」と。

思いっきり泣いていい……さまざまな悩みに耳傾け

相談に来る人は、市の広報、新聞、タウン紙、それに手作りのポスター、チラシなどで知って訪ねてくる。行政機関、病院や施設からの紹介のケースも多い。地元の人から、遠くから車でわざわざ来られる人たちまで、「データーをとっていないので、一体どこから来たのかはっきりとは分からないのです」と。年代は十代後半の若い人から、七十代のお年寄りまで、幅広い。一番多いのは、四十、五十代の女性で相談者の大半を占めます。

相談の内容はさまざまです。家庭内外のトラブルから子供の教育、自分の生きがい、心の悩みなど、サラ金や豊田商事に関する相談もあった。最近では登校拒否や出社拒否（会社へ行きたくない）というケースも増えてきたそうです。

例えば、普通の生活ができなくて、人と顔を合わせるのもいやという出社拒否のAさんは、医者の紹介で訪ねてきました。一人一回の相談時間は一時間ですが、週に一度話をして、一年近く続けて通ってきて、最近やっと元気になって、普段の生活にもどりました。「人間は誰でも自分のことは自分で解決してゆける能力があると信じ、わたしどもカウンセラーは相談者の気持ちを十分に聞くことで、解決へのささやかなお手伝いをするのを使命と思っています」と。

ここに来て、何にも言わず、ただ泣いているだけで、泣き終ったら帰る人もいます。そんな時、カウンセラーはお客さんの前で何も言わずに、静かに見ていてあげて、「泣きたいんだったら、思いっきり泣いていい。現在の社会でそんな場所も必要です」と、井上さんは話します。

この仕事の性格上、相談室を一歩出ると、無関係を装い、町で会っても知らん顔をしています。これは「カウンセラーとして少々寂しいことではありますが、相談に来られた人の悩みが解決して、又元気になって、元の生活に帰っていかれる時、何とも言えない喜びで胸に一杯なります」とは加藤さんの話し。



巻島さん、井上さん、加藤さん

カウンセラーとしての絶えざる精進と充実感

この相談室のカウンセリングがもっとうまくいくようにと、月に一回全員揃っての学習会をもち、資質の向上をはかり、わざをみがき、相談員としての感性を養っています。

井上さんは他の仕事を持っていないので、薬剤師の加藤さんとともに相談日には必ず出ています。井上さんは庶民的な親しみ、優しさとおおらかな抱擁力、暖かさがある人です。この人なら私の悩みを聞いてくれる……、悩みを持つ人と同じ次元に立って、平易な言葉で話を聞けるということは相談員に何より求められるわざであると思います。

井上さんに、このカウンセラーの

仕事についての感想を求めたところ、本当に感慨深げに、

「この仕事をやって本当に良かった。心を開いて話ができる友達がたくさんできました。四十代半ばで世田谷区の婦人大学に入る時、月三千円の授業料を払ってカウンセリングを勉強するということは、仕事も年金もない私にはけっこうな金額で、ちょっと迷ったんです。でも今考えてみると、大学（二年）、大学院（一年）そして研修部（三年）の六年間にわたる受講となりましたが、その授業料で、本当に莫大な財産を手に入れたという気持ちです。婦人大学に通ってから私の人生も変わったと思います。そして、このカウンセラーの仕事をやってきて、私自身が、家族とか、人間関係とか、子供との関係がスムーズにいくようになりました」と。

巻島先生は婦人教育の学校の仕事で、とても忙しい方なのですが、月一回は必ず相談室に来られます。「地域で一生懸命やっている方々のその気持ちに対して、一緒にやりたい。自分のできる限りの力で、多くの人々の悩みを分担し、解決していきたい」と。これは、ここで働く五人のカウンセラーの共通の気持ちでもあります。

女性五人のボランティアパワーは続く

この「わざわざ相談室」には地元の人達がいろいろなかたちで応援してきました。近くの病院に通っている患者さん達も、医者の紹介でたくさんきました。そして、何よりもこの小屋を十年近くずっと無料でお借りしていたのですが、最近、吉田先生が眼科医院を閉めたので、小屋の管理人さんへの管理料は負担することになりました。

五人の皆さんが自腹で出し合い、

「これからも、あくまで相談は無料で行くつもりです」とのことです。ミニバザーという形での資金集めなども考えています。

「私たちにとって、まったくのボランティアですが、仕事がうまくいった時の充実感、相談者を通して学ぶことの多いことは金銭には変えられない大きな喜びです。」

開設五周年の時、読売新聞や、東京新聞などからインタビューを受けたことがあります。「この相談室をこのままずっと続けますか」と聞かれ、皆で「続ける自信を持っていますと答えたことを今でもはっきりと覚えています。」

それから、また五年たち、この「わざわざ相談室」は今年でもう十一年目を迎えました。この間少なくとも五百人近くの人々が相談に来られました。

「これから、またいろいろ大変なことがあるだろうが、私たちは自分の個性を生かし、皆様の信頼を失わないように、もっと、もっと頑張っていくつもりです。」

目の前に、自分の母親と同じ年代の彼女たちの顔を見て、私は心から尊敬の気持を抱くとともに、「どうぞ、悩んでいる人たちのために、これからも頑張ってください！」と心の中で願っていた。

（劉　雲）

相談日／毎週月曜（10時～15時）
祭日休み
場　所／スペース仙川　03－3309－1422（相談日のみ）
予　約／事前に相談日時を予約して下さい



お茶・のり専門店 東京相和銀行前 TEL 3300-8737

せんかわ界隈史

仙川婦人会の歩み（上）

伊藤綽彦

一九六十年発足の頃とその活動



昭和38年蔵王旅行

「仙川婦人会は、南、中、北の三つに別れていて、各支部に支部長をおき、その下に理事をおいている。会員は百五十名。主な行事としては、毎月十日、二十四日の両日を清掃日と決め、仙川駅付近および甲州街道の清掃をを行なっている。また、駅前広場に花壇をつくり、草花を植え、環境の整備に心掛けている。青少年育成に協力、昌翁寺境内で調布青少年楽団による音楽会を開いたり、CYCのリーダーと共に子供会を開いたりした。

また、日赤奉仕団として献血の手伝いや、日赤本社で肌着製作をおこなったり、災害地の義援金募集をおこなったりした。年に一度、夏期に楽しい旅行をし、会員の親睦をはかっている。貯えていた各種のリベートのうちで冠婚葬祭用の衣服を購入し、会員の利用に役立てている。」

今から三十年前の、一九六四年（昭和三九）の調布市婦人団体連絡協議会の理事会で、仙川婦人会会長が活動状況をこのように発表している。

この調布市婦人団体連絡協議会（婦連協）は、市内婦人団体相互の連絡と親睦をはかるとともに、意見の交換、その他連絡協議をすることにより各団体の発展を期待し、また婦人自らの教養を高め、知徳を養い育てるために事業をおこなうことを目的としていて、仙川婦人会のほかに神代、多摩川、上ケ給、若竹、小島町、婦人友の会などの婦人会が加入していて発表をしている。

仙川婦人会は、もともとはこの婦連協の集いに名前のあがっている、神代婦人会の仙川支部であった。各支部から支部長がつつじケ丘の市役所出張所に集まって会議をし、決まった活動方針を各支部に持ち帰り、それに仙川独自なものを加え活動をおこなっていた。

物資のない時代だったので、カーペット、鍋、木炭、障子紙、衣料品などを購入して会員に売り、その利益は運営費に繰り入れていた。衣料品の肌着販売では、地元の洋品店から営業妨害で怒られたりした。

このような婦人団体のことだが、調布が市になった一九五五年（昭和三〇）前後のころの実態についてははっきりしない。地域を中心とした婦人会の組織や活動は、神代町（村）、調布町時代から引き継がれてきたようである。さらに、それは戦前の愛国婦人会、国防婦人会（両婦人会は、四二

――去る3月7日（月）、編集室にて宍戸ヤス子、荻須法子、小山はな代、近藤富久代、冨沢すみ子、宮川久子の皆様に、「仙川婦人会」の発足以来34年余にわたる活動の歩みを語り合っていただいた。今回は、その前半をとりまとめた。

●仙川婦人会歴代会長●

初代	大館　道子	昭和34～35
第2代	小山はな代	昭和36～37
第3代	冨沢ふじ子	昭和38～40
第4代	田代世紀子	昭和41～42
第5代	冨沢すみ子	昭和43～44
第6代	北村富子	昭和45～46
第7代	稲川ヒデ	昭和47～48
第8代	志田たね子	昭和49～50
第9代	荻須法子	昭和51～54
第10代	藤木善恵	昭和55～56
第11代	宮川久子	昭和57～58
第12代	田中トク	昭和59～60
第13代	安斉愛江	昭和61～62
第14代	近藤富久代	昭和63～元
第15代	田辺テル子	平成2～3
第16代	宍戸ヤス子	平成4～5
第17代	荻須法子	平成6～

年に大日本婦人会に統合）などとよばれた組織が敗戦によって解散され、民主的組織として再出発したものなのである。

敗戦後の仙川では、選挙や茶飲み話などでの婦人の集まりが、津村家（津村薬用植物園・今の白百合女子大）、根岸家（今の西友ストア）、石坂家（大日本測量・今の丸正食品）などであり、そのうち一九五三年（昭和二八）ごろに、神代婦人会に入り神代村の多くの婦人たちと交流しようということになったのである。

さて、話を再び調布市制施行以降に戻すことにする。当時は自治会の婦人のほとんどが会員で、今の仙川・若葉・緑ケ丘・入間（その一部）地区を範囲とする仙川支部は、農家や商店の婦人あわせて二百人を越えていた。会費は一〇円ぐらいで、その三パーセントを本部に納めていたが、これは損だという考えになった。また、月に一、二回仙川の役員が支部長となって本部にでていて、役員が手薄になってしまうという苦労がある。こういうことで神代婦人会を脱会して仙川婦人会になったのが、一九六〇年（昭和三五）のことである。

この会員が多くて相互の連絡が一苦労であり、すこしでも楽にできるようにと考えたことが原因で、南、中、北支部の組織が生まれることになった。今と違って電話の入っていない家庭が多く、連絡事項はすべてガリ版印刷にした回覧板を、こども連れで徒歩や自転車で配るより方法がない時代であった。

では、ここで年の順序に活動のいくつかをとりあげることにする。

一九六一年（昭和三六）に、会員から冠婚葬祭の式服を安く譲り受けて貸し衣裳が始まった。江戸褄五、六着と喪服何着かが用意され、江戸褄三千円から下は二千円、喪服は千五百円ぐらいで貸し出された。借りる人が多くとても喜ばれ、途中二着の新調もしているが、物の豊富な時代になると借りる人が少なくなり、七六年（昭和五四）に廃止と決まり、婦人会総会後セリによる売却となった。

この年には、主婦連合会（主婦連）の大会に役員二名が出席した。主婦連は、主婦の意見を政治や社会問題に反映させたり、消費者の利益を守るための活動をおこなう婦人団体であり、仙川婦人会も加入しようかと考え四谷の会館にいったのだが、これはとても大変なことだと感じて加入はしなかった。

一九六三年（昭和三八）には、調布市民体育祭出場のために「調布音頭」や民謡おどりの練習をしている。盆踊りはずいぶん前からおこなわれていて、昌翁寺で青年団や親和会（仙川、緑ケ丘、若葉町の住民が会員で、親睦をはかり、明るい街づくりと住民の福祉を目的とする会）と合同で、或いは主催者としておこなっていて、場所も今の芝信用金庫のところ、仙川駅前、仙川子ども広場と移り変ってきている。その後は、毎年のように仙川商栄会（仙川商店街協同組合）青年部主催の盆踊り大会に参加している。

（次回つづく）

あの街、この街、みなさんのしばしんです。

●地元のおひとりおひとりとの長いおつきあいをたいせつに、
明るい窓口でご奉仕を——これがしばしんの合言葉です。

しあわせ、一歩一歩

芝信用金庫　仙川支店　☎3308-8171
182 調布市仙川町2－21－10

マイホームづくりをお手伝い
ハートの
住宅ローン
住宅リフォームローン

心のふれあいを大切にします
ハートの銀行
第一勧業銀行



●調布仙川支店
東京都調布市仙川町3－1
電話 東京(03)3300－3331

東京相和銀行
仙川支店　☎3308-7331

◎貯める、◎ふやす、◎借りる、
を通帳一冊にパック。

SUPER PACK
三菱のスーパーパック
お申し込みは窓口へ。

心のかよう結びつき —Linkage—

三菱銀行
仙川支店
〒182 調布市仙川町1-18-37
TEL.(03)5313-4111

地元と共に発展する
永楽信用金庫　仙川支店
お気軽にご相談ください
永楽しんきんの便利な機能をご利用下さい。
●融資・住宅ローン　・カードローン
・個人ローン　・スピードローン
●夜間金庫・集会室・貸金庫
調布市仙川町1-15-1　各種ご預金のお取扱もいたしております。　☎3326－7001

福徳治療院

指圧・マッサージ

治療時間ＡＭ９:30～ＰＭ７:００

仙川駅徒歩１分西友ウラ　☎3326－1985



ALI GARH

インドレストラン

営業時間　AM 11：00～PM　2：30
PM　4：30～PM 10：00

仙川町１－12－1　ニットウビル　☎3308－1577

小劇場／貸ホール

スペース・仙川

仙川町 1-12（桐朋学園通り）

お問い合わせ　☎0424(87)7126　足立

●●おいしく食べて、気軽に飲んで 2,000円前後で楽しめる●●



台湾家庭小皿料理

天龍門

仙川店

PHONE(03)3305-2317

〒182 東京都調布市仙川町3-2-4　■営業時間 11:30～23:30 年中無休

ランチ
12:00～2:30

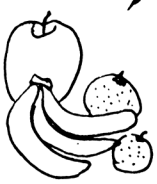
ビッグ鉄

TEPPAN-YAKI
SENKAWA-CHOU1-7-1

晩 6:00～10:00

商店街駐車場西隣　☎3326－5324

フルーツショップ



しみずや

仙川駅前　☎3308-5177

・学生歓迎!!　明るくマナーの良いお店

ふりーまあじゃん

オレンジハウス

FREE MAH-JONGG・ORANGE HOUSE

第一勧銀向かい３Ｆ　☎3326-4181（ヨイパイ）

腰痛　肩こり　カイロプラティック療法

✚仙川腰痛センター

＜受付時間・予約制＞午前９：00～12：00
（休診日　月曜、祭日）午後２：00～ ７：00　☎ 5384-6686

小鳥・熱帯魚・金魚・小動物　趣味の切手



いずみ園

仙川町1-21-26
第３ウェストマンションビル　☎ 3307-3926

焼内　**ぎゅうぎゅう**

仙川店

調布市仙川町１-3-31　富士ビル１Ｆ　☎ 3309-2929

仙川　**鮨助**

仙川第二仲よし広場前　☎3305－2255

そば処

平野屋

桐朋学園前　☎ 3308-0115

フリーマーケットを せんがわで!!

●人とひととの自然な交流の場を

昨今、特に都会では人とひととのつながりが希薄になったと言われています。そういえば、買い物かごをさげて立話をするおばさんもめっきり減り、公園で三角ベースをする小学生もほとんどみかけなくなってしまいました。同じアパートに住む人の顔も知らない、街ですれ違ってもあいさつ一つ交わさない。

使い古された表現ですが、生活がどんどん豊かで便利になっていく一方で、僕らはなにか大切なものをなくしていってしまっている様な気がします。

「買い物」という言葉にどんなイメージをいだきますか？　例えば、八百屋の軒先で、

「おじさん、今日は何がおいしい？」

「いいジャガイモが入ってるよ。新じゃがだからね。今夜は肉じゃがなんかいいんじゃない。」

「そう、じゃあ、そのジャガイモと、……たまねぎもちょうだい。」

「毎度！　じゃあ特別に少しサービスしちゃおうかな。」

こんな光景が、ほんの一昔前までごく日常的なものだったように思うのですが、いつの頃からか買い物と言えば、スーパーマーケットでレジまで商品を運んでお金をはらうだけ。そんなところにもなにか寂しさを感じませんか？

もっと自然に人とひととが交流できる場所が欲しい！　これが僕らがフリーマーケットの開催を呼びかける第一の理由です。人々が集まり、語り、交流できる場所をフリーマーケットという形で、せんがわの街で開催する。売り手と買い手との交渉、あるいは、そこに集まった人々のパフォーマンスを含めた様々な形でのコミュニケーションが、老若男女をこえて、自然体としての〝交流の場〟を形作っていくことができるのではないかと期待します。そして、そんなフリーマーケットを目指して作っていきたいと考えています。

●リサイクル運動の一環として

現在、各地でフリーマーケットが開かれています。そのほとんどが〝リサイクル〟を表看板にしています。僕らはまず、コミュニケーションをいいましたが、むろんリサイクルも大きな目的の一つです。

リサイクルがいわれるようになってもう大分たちます。しかし、それが生活のなかに根づいているかと言えば、ほとんどの人は、リサイクルを意識しても、ゴミを出す際の分別収集に留意するほかは、実際にどうしたらよいか分からない。そして、〝もったいない〟〝使えるのだが〟と思いながら、結局家具や電器製品などを粗大ゴミとして捨てることになってしまいます。

フリーマーケットは、そこに参加することがすなわちリサイクル運動です。おのおのにとっての不要品を持ち寄って、必要な人に使ってもらう。売り手はちょっとした小遣い銭を稼ぎながら、買い手は、買い物を楽しみながら、それがそのまま〝再活用〟へとつながっていくのです。また、こ



往年の“せんがわ風ボロ市”の風景
大盛況??だったらしい

れらの活動が、リサイクルへのさらなる関心を呼ぶきっかけになってくれればと考えています。

せんがわでも、というよりもこの「せんがわ・21」誌がかつて「せんがわ風ボロ市」なる有用品の交換市を行っていたことがあります。もう、十年も前のことですから、僕もバックナンバーのグラビアなどでみるだけですが、バザーとも、雑多な青空市ともつかないものだったようで、なかなか好評だったそうです。おぼえている人はいますでしょうか。

今回のフリーマーケットは、当然それとはまた違った形で、より現代的で、より盛大なものにできればと思っています。

●せんがわの街でフリーマーケットを

このフリーマーケットの計画はもう始まっています。正直に打ち明ければ、昨年の暮れ位から、今年の春を予定して準備を進めましたが、結局のところ遅れているのが現状です。第一の理由は、僕らの不慣れと怠慢に帰せられるべきことですが、正直、こういったイベントをやろうとする際のせんがわの不便さに困惑しています。

その最大の理由は場所の問題です。せんがわの駅の周りには適度な広さを持つ広場や公園といったものがありません。これはちょっとした都市計画の不備なんじゃないかと思うくらいです。例えば、調布では、駅前の広場で月に1度ほどフリーマーケットが行われています。そういった広場をせんがわにも作れないものかと思うところですが、これればかりは、当面どうしようもないことでしょう。そこで、発想をかえて、せんがわのまちの中の数カ所で各々が個性的なスタイルで開催し、歩きめぐることの楽しみもつけ加えようとイメージを拡げています。具体的に、オープンスペースのある店舗や工場の方との話し合いを進めております。商店街にも連携していただき、せんがわのまちの〝新しいイベント〟としてアピールしていけるものにしたい……。

●実行委員募集!!

とにかく、なんとか僕らの暮らすせんがわの街でフリーマーケットを開催したい。それは、僕らの力で何かをやってみたいということと、やはりせんがわが好きだからです。

そんなわけで、実行委員を募集します。現在の実行委員会はまだまだ力が足りません。もっと多くの人の手で支えてください。

まだ、このフリーマーケットの企画は未知数です。これからつくっていくんです。あなたの力を貸してください。

人とひととの交流の場をつくりましょう。どうすればより多くの人が集まることができるか?〝モノの交換〟から〝心の交流〟へ。そんな楽しい企画を一緒に考えてください。

リサイクル。今後ますます重要になっていくことだと思います。今、できることから始めましょう。リサイクル運動を押し進めるために一緒に働きませんか?

お祭騒ぎの好きな方。そして、せんがわの街の好きな人。新しいイベントを、せんがわの街づくりを手伝ってください。

毎週土曜日と日曜日の午後、せんがわ21の編集部のあるまちニティサロンに僕らはいます。訪ねてきてください。ご連絡をお待ちしています。

(大久保信昭)

連絡先

調布市仙川町1-16-18 第一杉田ビル3F
☎03-3326-2707
せんがわまちニティサロン内
せんがわフリーマーケット実行委員会

特報!! フリーマーケット開催決定!

とき　七月三一日(日)八月一日(月)二日(火)
午後七時三十分〜九時三十分

ところ　仙川商店街駐車場(おらほせんがわ祭り会場)

年に一度の仙川の夏祭!そこでのフリーマーケットです!前代未聞の夜のフリーマーケットです!皆々様、ぜひとも お立ち寄りください!

モール



このページは商店と企業の皆様に開かれた伝言欄です。事務的なお知らせからちょっと工夫した生活情報まで幅広く活用され、とにかく気になるページに育つのが楽しみです。

オープン

▼リサイクル、手づくり委託品の店
子供用品・服、婦人服・小物を中心に新品の生活雑貨も。買取り、委託販売情報コーナーあり。神代書店の隣。
アルブル ☎5384—5256

▼和風味のさっぱりラーメンの中華店
ギョーザ190円、ラーメン320円、その他丼物、定食各種。テイクアウトも。小田急バス折返場の向い側。
中華東秀 ☎3305—2449

▼豊富なメニューのアメリカ風料理。
ディナーサービスドリンク全品50円割引。ドリンクのみもOK。第一勧の隣り。レストラン ダイナー
☎3308—9317

▼西洋料理の店 新築新装
オムレツのうまい本格派の洋食屋。西友のウラ。
ぱんぷきん ☎3326—2944

▼スポーツアドヴァイザーの店 新装
健康維持、ダイエットにもっとスポーツを。海外並行輸入のウェアも好評。
サンスポーツハウス ☎3300—1870

▼動物大好きな若夫妻のクリニック
サマーカットのトリミングもどうぞ。夜間緊急診療OK。若葉町交差点南側
アミィ動物病院 ☎3326—0368

▼今秋10月初旬、新装オープン予定
調理人としてリフレッシュ中。二階を新規に焼肉コーナーの予定。
トンカツ ささ本 ☎3300—2661

メッセージ

▼開店18年目、若葉町の〈オアシス〉
一人ひとりに、心をこめた一杯のサイフォンコーヒー。飾り気のないサッパリムードのお店。若葉町2丁目バス停前。
珈琲 らら ☎3309—4846

▼修理大好きマイスターの専門店
新車、中古車、各種自転車販売。どんな自転車でも完全修理します。
サイクル ワタナベ ☎3326—0966

▼生ビールと焼肉で 夏バテ知らずに
開店7周年、安くておいしい 焼肉が一番。11時半〜深夜12時（日祭は12時）第一勧銀の前。焼肉 あかべこ
☎3308—4419

▼真夏の夜の散歩にお立寄り下さい
午後10時（日・祭は9時）まで開店。古本、ビデオ・CD。 訪文堂書店
☎3308—6455

▼インドの釜使用のナンは絶品
シェフのアワン氏はインド生まれのパキスタン人。日本人向きに食べやすく、辛さもリクエストに応じて調整。
ALI GARH ☎3308—1577

▼美容と健康に「国産玉露杜仲茶」
無農薬有機栽培で育てた長野県生まれの玉露杜仲茶。甘くまろやかな味。発売元——（株）アンカーコーポレー

まちニティ・ショップ・カタログ……広告掲載店INDEX



●着る
aZi……44
いながわ……17
上原屋染物店……32
ehime……16
カスミ……46
キクヤ……2
QUEEN……32
三愛ドライクリーニング……17
CHEVAL……44
たげ屋……44
たんぽぽ……58
冨士屋染物店……32
メンズ・ツカモト……58
靴の明治屋……17
陸右エ門……58
●飾る
カットサロンたけし……44
真珠……58
ヒロ美容室……17
堀内多賀子美容室……32
●飲む・食べる
あかべこ……4
ALI GARH……53
Anchor Here……23
磯春……5
家族庵……44
こしじ……23
三進……58
ザ・ボウル・ガーデン……58
鮨助……53
仙川寿司……23
チャティー・ずう……32
天龍門……53
とんかつ仙川……32
なみはな……44
PICCOLO MONDO……46
平野屋……53
ビージー亭……53
ぷあぷあ……36
プレシャス カフェ……17
ペルリ……17
まほうつかいのでし……58
まや徳……58
まり……53
萬来軒……23
桃乃花……17
焼肉ぎゅうぎゅう……53
野州茶屋……58
よしきり……44
●買う
アキヤマ……58
イシケンフローリスト……23
イトウ……58
サイクル ワタナベ……30
ウエマツ……58
光輪堂……22
佐藤精肉店……46

Sengawa ニュースピック

ション　アンカー・ヒア　☎3307―2611

▼4名以上のお客様は5%割引 ランチタイムは単品で700円台、セットで800円台のスパゲッティ、ハンバーグを。フレシャス　カフェ　☎3326―5123

▼天然素材と手づくりのホビー作品 20数名の制作者による洋服、帽子等の作品は見るだけでも楽しい。綿、麻絹、レーヨン素材の染直しも好評。ホビーショップ　たんぽぽ　☎3308―4637

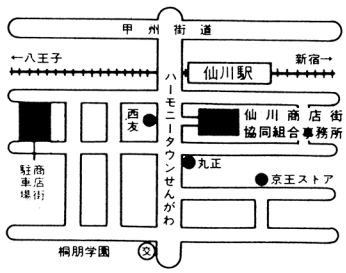
▼洋服のリフォームとリサイクルの店 婦人服のリフォームは7～10日間で。ブルーな気持ちもリサイクルで解決。桐朋学園正門前。Miracle Seven　☎5313―2270

▼改装閉店バーゲン中（8月3日迄） 全商品50%～60%OFF。8月下旬新装、秋物でお会いしましょう。aZi　☎3308―7264

夏だ！祭りだ！

おらほせんがわ

7月31日(日)
8月1日(月)
2日(火)
3日(水) **乞ご期待！**



移転・店名変更

▼愛和クリニック　京王ストア駐車場の斜め前に移転。☎3308―5477

▼セロ弾きのゴーシュ　仙川駅南側、新宿方面徒歩30秒に移転。オリジナル・サンドウィッチの店。年中無休（年末年始を除く）。宅配11～21時　☎3326―3077

▼ビージー亭　ヒゲのマスターが英国風パブからモデルチェンジ。斜め前で鉄板焼。☎3326―5324

▼フォト　テヒニカ（旧BIG WAY）　独のリンホフ社のプロ愛用のビューカメラ名にちなんで。「マスターテヒニカ4×5」をお持ちの方にフィルムサービス（8月まで）　☎5313―1949

サトウデンキ……46
鍋屋斉藤米店……46
しみずや……53
青香園……49
セブン・イレブン調布仙川店……22
たからや……22
手島米店……44
ナカエ……58
マルジュウ……58
丸正食品仙川駅前店……16
ほうすいえん……58
ヤナバ電機商会……58
山田屋金物店……32
山利屋……46
りきや化粧品店……46

●備える
永楽信用金庫……52
芝信用金庫……52
調布仙川郵便局……58
第一勧業銀行……52
東京相和銀行……52
東京博禮社……G1
三菱銀行……52
むさしや質店……32

●見る・読む
ASA仙川……2
いずみ園……53
サンライズ……2
神代書店……表3
聖教新聞……32
TECHNIKA……16
東国書林……2
訪文堂書店……44
M&M……17

●習う・創る・遊ぶ
アトリエはちの巣……27
英修塾……23
オレンジハウス……53
敬心アカデミー……G1
なかや本店……17
motte……44
スペース仙川……53
ハクビ京都きもの学院仙川教室……32
パチンコ　コトブキ……2
プラザ・ギャラリー……22

●からだ
愛和クリニック……17
アクト……23
飯田医院……30
イチカワ歯科……23
大塚矯正歯科医院……表2
仙川耳鼻咽喉科……46
仙川獣医科病院……22
仙川腰痛センター……53
広田薬局……46
福徳治療院……53
田村耳鼻咽喉科……16
仲島医院……30
目黒歯科医院……46
和光堂……表2

●住まう
グローバル設計……表3
佐藤工務店……23
フェリカ　インテリア……30
やさま畳店……30
多摩ボデー整備……16

――数字は掲載頁です。

タネ・園芸・造園

ウエマツ㈱

仙川町2－21－9　☎3307-4187

ホビーショップ（手作り　手染め）

たんぽぽ楽

仙川駅前　☎3308-4637

生活雑貨

イトウ

仙川町1－11－10　☎3300-1764

あなたのまちの郵便局

調布仙川郵便局

☎3300-3001

JEAN'S FAMILY

陸右エ門

RIKUEMON

商店街中程　☎3326-2282

15年たちました。コーヒーやお酒を飲みながら
夢を語ろう

喫茶＆スナック

まり

10：00～24：00　商店街中央　日曜定休　☎3309-6384

カット＆パーマ　着付

おしゃれサロン　**真珠**

若葉町1－28－20（東部公民館斜め前）　☎3309-2180

メガネ・トケイ・宝石

ナカエ

仙川町1－11－17　☎3300－0667

紳士洋品専門店

メンズ・ツカモト

仙川商店街中程　☎3300－6707

自家製煮物漬物　新鮮塩乾物

アキヤマ

仙川商店街中程　☎3300－6803

手つくりのパン

ホームベーカリー

マルジュウ

仙川商店街中程　☎3300－6417

そば、うどん 専門店

野州茶屋

京王ストアとなり　☎3307-4584

自然食品の店

ほうすいえん

スペース仙川横
仙川町1-13-16 ☎3326-2356

元気な野菜たちがいっぱい！
せひ一度御来店下さい！



たべてみんしゃい、うまいけん

広島風　お好み焼　**まや徳**

MAYATOKU

京王ストア駐車場東側　☎3326-3455

冠婚葬祭・御料理仕出し承ります。
御宴会等に御座敷60名様まで承ります。

大衆割烹　三進

☎3300-5655

パーティ予約受付中

ザ・ボウル・ガーデン

客席120席／　永楽信金2F　☎3326-1315

あなたの街の電気店

ヤナバ電機商会

若葉町2－24－19　☎3307-3182

ゆであげスパゲティの店

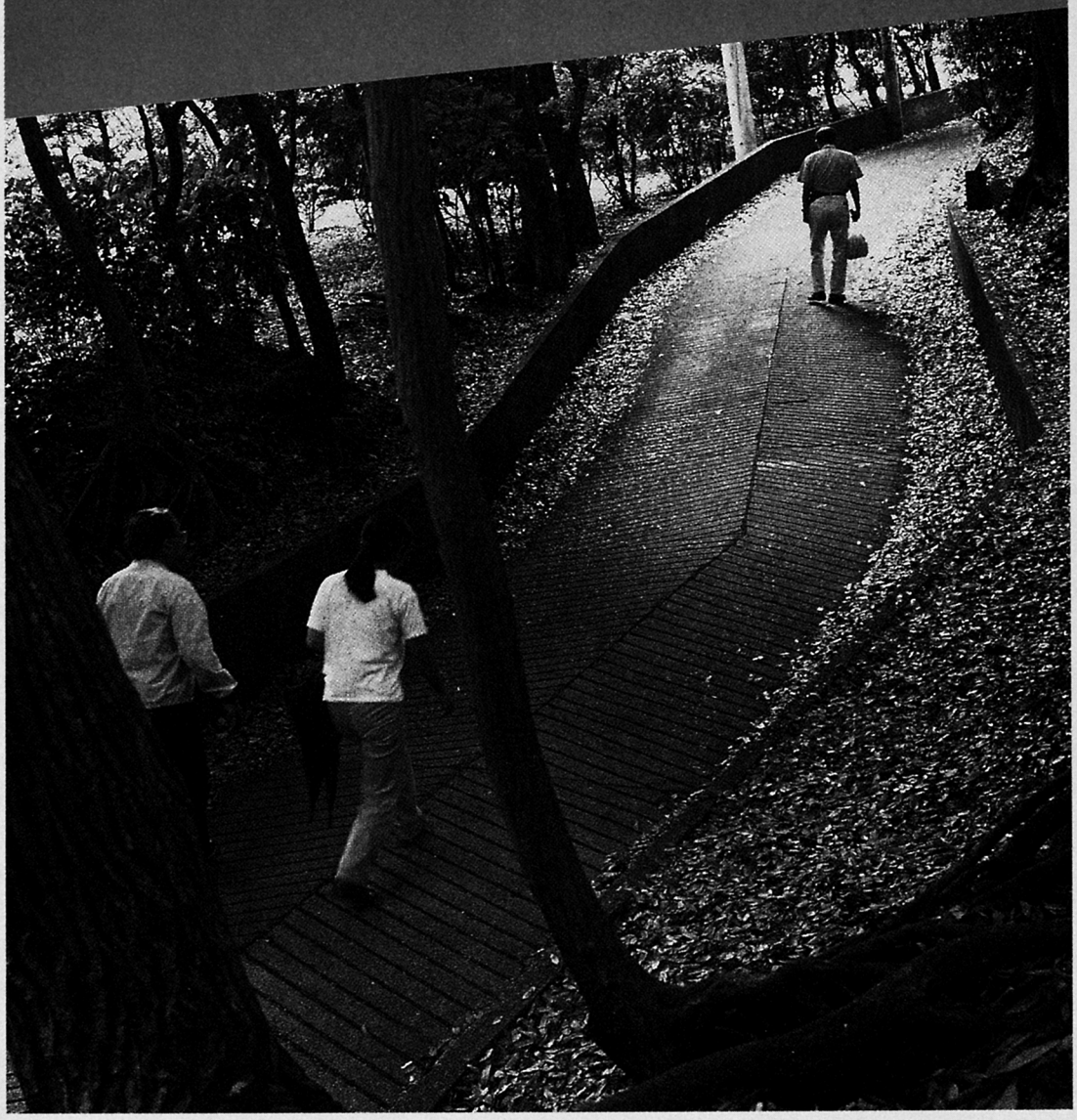
コンパ会食OK

まほうつかいのでし

神代書店2F　☎3309-4644

せんがわ 21

特集●せんがわ界隈史



本特集号は、仙川のこれからの生活や街づくりのあり方を考えていく上での“温故知新”（仙川の今をかたちづくってきた風土や人々の営みや意志をじっくりと振り返っておくこと）を企画意図として、多くの方々のご協力を得て、編集・刊行しました。1年余の制作期間をかけ、188ページの大作として7000部発行し、約半分を各店舗・家庭及び学校・図書館等へ無料配布しました。カンパ誌代2000円での有料配布分が、たっぷり残っております。是非とも“せんがわの共同財”のご活用とご支援を!!

●グラビア PART 1
時は流れ ― 移ろい行く界隈の景色 …… 105
ある家族の肖像 …… 112
●グラビア PART 2
せんがわ鳥瞰 ― 航空写真にみる〝むら〟から〝まち〟へ …… 176
せんがわの変わらざる原風景 …… 181
・せんがわギャラリー　雨田光弘 173／表Ⅳ

●マップ
実篤公園・記念館への案内マップ …… 41
昭和29年当時の商店街マップ …… 79
昭和58年の仙川商店街マップ …… 80
古き地図より …… 111
マップ21／仙川界隈史散策 ― 路傍の石仏をたずねて …… 114
せんがわ周辺の遺跡分布図 …… 128
神代村当時の字名と現在の町名の対照 …… 142
・私誌抄
此の地に生涯を託す／菊池璋 …… 67
ライヴハウス〝ゴスペル〟の不在／高崎梨菜 …… 83
仙川　失われ行くもの／奥田道大 …… 116
・コラム
仙川の風土から日本を見る／萩原祥三 …… 45
字下仙川向山の四季 …… 49
我が愛しの仙川駅よ／山岡義典 …… 51
仙川の製造業　萬平製作所＆月兎ソース …… 76
コミックエッセイ　実篤公園を描くの記／中島りえ …… 98
仙川の風土と心／萩原祥三 …… 101
仙川面白話三題／京町純彦 …… 102
〝清貧の思想〟を生きる／Ｉ氏 …… 117
界隈史特集号の発刊に際して／川原主計 …… 167
かつてのある日 ― そのごの出会い／加藤純一郎 …… 184
・資料
明治42年の「多摩新聞」より …… 20
仙川農業の歩み …… 73
せんがわ周辺の遺跡一覧表 …… 129
せんがわ界隈史参考文献 …… 160
・インフォメーション
ショッピングモール／ショップカタログ …… 162
トピックス　ブラジルフェア　１９９３ …… 164
せんがわ界隈史の会第二期発足 …… 169
せんがわまちニティ情報センター …… 170
募集・アンケート／編集後記 …… 173

表紙・口絵及びグラビアデザイン／山岡義典
表紙写真　／加藤純一郎
写真・資料提供　／伊藤綽彦、川口三八、川原武次、川原主計、酒井一真
中島藤尾、桐朋学園、神代高校、調布市郷土博物館
仙川商店街協同組合、京王帝都電鉄
イラスト　／こやまきょうへい、中島りえ、山下　琢
レイアウト　／青野　道子、岩田幹雄、松尾洋介＋１
タイプ　／木村任男（木村企画）
ワープロ入力　／伊藤綽彦、伊藤史彦、大久保信昭、大脇正昭、松尾洋介
山下　琢、吉沢喜美子、今待幸男、三沢千恵（ワークス）
題字　／小沢基弘、こやまきょうへい
校正　／伊藤史彦、大久保信昭、小山操、松尾洋介
広告・グラビア版下制作／木下　仁
本文版下製作　／新井　満、山口教良（シーダー企画）
印刷総務　／陰山俊憲、大江宏明（和幸印刷）
雑誌配付　／社会研究フォーラム

せんがわ21　目次

●口絵写真　古き建物たちの語らい
農家と馬宿／和光堂東京工場／桐朋学園大講堂／思い出点描 …… 2
・巻頭言　「仙川の中での桐朋学園五十年の歩み」　千葉preface …… 9

■特集1　座談会
「大正・昭和のせんがわ〜風土と生活点描」 …… 12
植松好子／川口信子／清水八重子／田中トク／田辺テル子／浜島光子

■特集2　界隈史30話
≪くらし点描≫　昔語り ― 明治・大正・昭和の仙川界隈／川原イト …… 25
ランプから電灯へ ― 大正二年京王線敷設とともに／田辺喜勝 …… 28
大正 ― 戦前の生活点描／伊藤綽彦 …… 30
大正末 ― 昭和始めの下仙川物語／浜島寛 …… 32
新井家と入間町界隈／新井一男 …… 34
昭和期の大字入間のまちづくり／新井一男 …… 36

≪むさしの≫　仙川から深大寺へ／春原一穂 …… 38
仙川付近の草花の今昔／春原一穂 …… 42

≪かいわい≫　〝滝坂〟昔ばなし／川口三八 …… 46
神代村字下仙川向山／宍戸義男 …… 48
「むけーやま」から一言／中山俊夫 …… 50

≪てらまち≫　仙川の寺町／菅　隆慶 …… 52
昌翁寺住職五十五年／榎本晃道 …… 54
昭和初期の仙川界隈／酒井一真 …… 56

≪来たりもん≫　〝土くささ〟に住みつく／萩原祥三 …… 58
来たりもん第一号　半世紀を語る／中野朗子 …… 60
私と仙川 ― 母娘四人の戦中・戦後の暮らし／菊池溶子 …… 62
緑ケ丘団地三十年／山崎孝市 …… 64

≪しごと≫　仙川酪農事始物語／田辺喜勝 …… 68
仙川農業の担い手たち …… 70
和光堂東京工場ヒストリー／原田亮一 …… 74
仙川商店街と共に四十年／岡部敏英 …… 78

≪なかま・スペース≫　明治・大正 ― 講・青年団・消防団／伊藤綽彦 …… 84
仙川青年會の活動とクラブハウス物語／田辺喜勝 …… 86
仙川青友会二十年の歩み／川原徳重 …… 88
祭礼囃子 ― 〝仙川はやし連中〟の今昔の記／田辺豊 …… 90
小劇場〝スペース仙川〟 起・承そして転開／吉田央舟 …… 92
四中クローバーズ　おかげさまで十五歳／遠藤衛 …… 94
実篤公園と実篤記念館／堀公彦 …… 96

■特集3　界隈史年表　監修　伊藤綽彦／川口三八／佐美佑
仙川の大地〜先土器時代〜縄文時代〜弥生時代 …… 120
古代〜中世〜江戸時代 …… 131
明治〜大正 …… 145
昭和（戦前） …… 148
昭和（戦後） …… 152

広場（ひろば）



実に苦労と努力の結集と感嘆!!

堀　平八

今回は「仙川」の歴史の歩みを豊富に載せました素晴らしい史料を収集されて、ひとつの郷土誌を発刊されましたことは、実に苦労と努力の結集であったことと感嘆して居ります。読んでみて取材の巧みと出来映えには胸の迫る共感が浮かびます。

掲載されている記事は、過去の記憶を辿りまして、克明に筆を起こして書き進めている様は実に価値が存在し、貴重なる内容が連続的に書き進められていて、これには大いなる衝撃を感じざるを得ません。従って多くの人々の気持ちを握えることでありましょう。読めば読むページ毎に懐かしき場面に変り、過去の昔を物語る想像を喚起させられて興味は深く、諸々が湧いてくる気分に左右せざるを得ません。

仙川の各地域に言い伝えられている伝説や何かが頭に浮かんできたりする反面、写真の画面に表現されている、かつて古老に聞かされていた郷土が実感される、実に完璧の誌であることは申すまでもありません。感動しました。この「せんがわ21特集号」に起稿された皆様が一致同心して、当意即妙に発揮されたその現れが実現したことに頭の下る心境になりました。心より賞賛する一人であります。

この貴重な当該誌の出版に対してご協力された方々に深心なる敬意を表し、同時に感謝を捧げると共に高く評価して筆をおきます。どうか今後も益々のご活躍とご発展を期待し、関係者皆様のかぎりなきご多幸を祈念致します。（調布市下石原）

仙川を離れて二昔、懐かしく……

増田　治男

御地を離れまして、もう二昔近くになります。懐かしき思い出の数々を新たに致しました。特に写真の数々には、ひょっとしたら何か知っている事や物が写っているかも……という思いでみられるので、大変良かったと思います。

どうぞ頑張ってお続け下さい。

（群馬県　吾妻町）

感激、感心の作品に

岩田　幹雄

一頁ずつ大切に読んでいます。感激、感心の作品に皆さんの苦労が偲ばれます。本当に、お疲れ様でした。（横浜市中区）

語りかけるような気持ちで……

中村　きよ

幼い日を想い出しながら、語りかけるような気持ちで頁をめくりました。有難うございます。（若葉町一）

三年生の社会科のよい資料として

有賀　芳子

空の高さに秋の深まりを感ずるこの頃でございます。平素は学校教育に暖かいご理解とご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。さてこの度は、「せんがわ21」を寄贈くださりありがとうございました。心より厚くお礼申し上げます。

企画、内容共にすばらしく、ほのぼのする思いで読ませていただきました。学校の方では三年生の社会科の地域の学習で、よい資料として活用できそうで嬉しいです。どうぞスタッフの皆様にもくれぐれもよろしくお伝え下さい。

（緑ケ丘小学校校長）

砂のようなコミュニティを

つばた　しゅういち

何かがないと、隣りも理解できないコミュニティ。大きくなりすぎて、砂のようにサラサラになったコミュニティ。

情報紙がどれだけ、それをつなぎとめられるか。まちニティの情報センターの役割を注目してます。

（春日井市）

長く仙川在住であった友人にも

小梶　雅子

「せんがわ21」を手にした時は、本当に懐かしく思いました。郵送していただき有難うございました。

私は今、特別養護老人ホームのヘルパーをしております。前の職場では地元といえ、地域に目を向ける時間が全くありませんでした。今は不規則勤務ですが、心身共に慣れてきたこともあり、地域に根ざした生活をと思っております。

仙川に長く在住していた、下記の岡崎市の友人に、一部郵送お願いします。末筆ながら、ますますの御発展をお祈り申し上げております。

（川崎市多摩区）

読者の



とても良い本ですね

宮古　良一

吹く風もほほにここち良く春めいてまいりましたが、いかがお過ごしのことでしょうか。

私は先日吉田央舟先生の打ち上げの席におじゃました宮古です。「せんがわ・21」とても良い本ですね。読ませていただいてカンパ代お支払いしようとしたら、もうお帰りになっていたので、ここに送らせていただきます。

私の方も11日より芝居をやっております。お暇でしたら、のぞいて下さい。では、お元気で、次号も頑張って下さい。（調布市深大寺元町）

この町を故里と感じさせる

須山　静夫

『せんがわ界隈史特集号』をお送り下さいまして、誠にありがとうございました。

私どもは調布市に住むようになりましてから、まだ十八年ほどにしかなりませんが、娘（25歳）にとりましては、十八年の歳月は、この町を故里と感じさせるだけの長い時間になりますので、興味をもって拝読しております。（調布市深大寺南町）

御苦労の成果が多くの方々に……

出崎　澄男

早速拝見させていただき、素晴らしい出来栄えにおどろいています。これだけの内容のものをお作りになるには、さぞかし御苦労も大きかったものと拝察申し上げます。

さて、図書館にも、学生が気軽に手にとって読める場所ということで新聞などのおいてあるスペースに置いてくれることになりました。きっと御苦労の成果が多くの方々に届けられることと存じます。

これからも、益々の御活躍をお祈り申し上げます。（白百合女子大学）

仙川の風土を真底愛して

山岡　昭男

本づくりにかたむけられておられる情熱と、何よりも表紙の絵にもありますように、くぬぎや雑木の生えている武蔵野台地や水の湧きでるハケのせんがわ界隈、つまり仙川という風土を真底愛しておられることにうたれました。すばらしい特集号の上梓を心からお慶び申し上げます。（調布市国領）

こういうものを作り上げる不思議

関口弥重吉

本当に「ユニークな大作」で、どういう力でこういうものを作り上げることが出来るのだろうか、と不思議に思いました。町への愛情、手作りへの情熱がなければできない……私たちもいつも資金ゼロから何事かをやっているので、ついそんなふうに思うわけです。

ご健闘と益々の充実を祈ります。（武蔵野市緑町）

ただの郷土誌でなく知的で、意志があってパワーあり

岡　睦

仙川の歴史を読ませていただきながら、私の町、神田や終のすみかになりそうな阿佐ケ谷をこのようにとらえた本が出来たらいいのにと思っております。ただの郷土誌ではつまりませんものね。

知的で意志があってパワーがあります。また、せんがわの通信を載けましたら、幸せでございます。（東京都杉並区）

とびとびながら、息長く……

館野　允彦

「せんがわ21特集号」を受け取りました。とびとびながら息が長いですね。ぜひ、21世紀までは続けられますように。

学校（国土建設学院造園緑地工学科）では、昨年から、市の公民館で学生の卒業制作発表会として、「小平のまちづくり――緑からの提案」展を始めました。

こちらの方も、長く続けていければと思っています。ではまた。（小平市）

玄海灘

岡田　貞寛

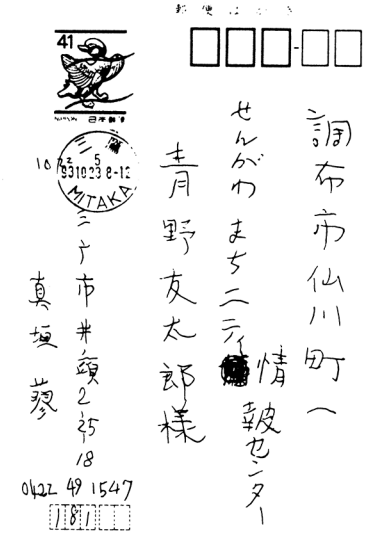
私が仙川に住みついたのは昭和三四年の暮、線路沿いに少し歩けば一面の麦畑、春は空高く雲雀が囀っていた。

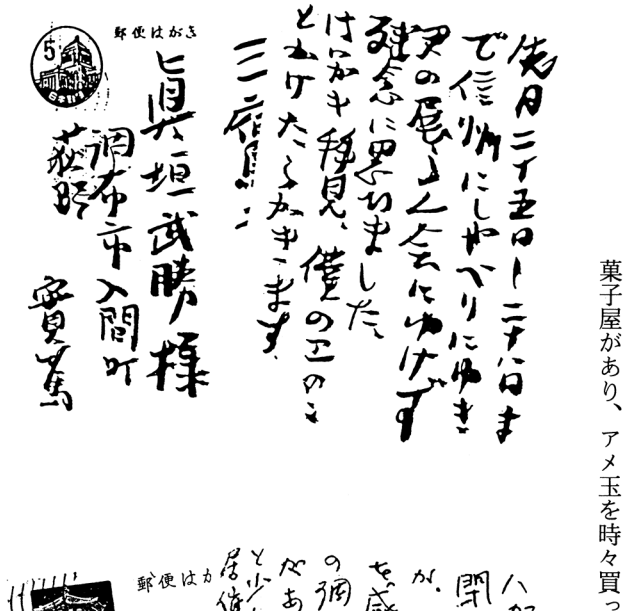
交通は旧道だけ、キューピーから左に曲がった坂は舗装されておらず、雨でわだちの跡が深くえぐれ、大揺れに揺れたので、私は玄海灘と名付けた。（若葉町一）

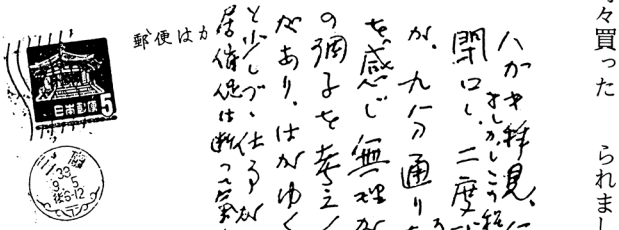
三鷹からの通信

真垣　蓼









第一信

仙川駅の写真がなつかしく。

終戦前後、仙川に畠を借りていて、農作業によく通った。

私はもうすぐ五十九才になる者ですが、先日東京新聞で昔の仙川駅の写真をなつかしく見ました。界隈誌が発刊されたそうですが、一冊送って下さい。

食糧難の終戦前後（十一才～十四才ぐらいまで）井ノ頭から仙川まで農作業に自転車であの橋を渡って通ったものです。出札口左には小さな駄菓子屋があり、アメ玉を時々買ったものでした。場所は武者小路さんの上の中島さんの畠を借りて、小麦、サツマイモ、カボチャ他を作りました。スイカもとれました。

下の方は田んぼが広がっていて、中央の川で水浴びもしました。成城方面から小田急の走る音が聞こえる位静かな所でした。斜面にバンガローを作りキャンプをしました。つらくても人々の心は皆暖かく、いい時代を思い出したくなったのです。

父は画家だったので、武者小路氏に仙川を紹介したのです。喜んでおられました。

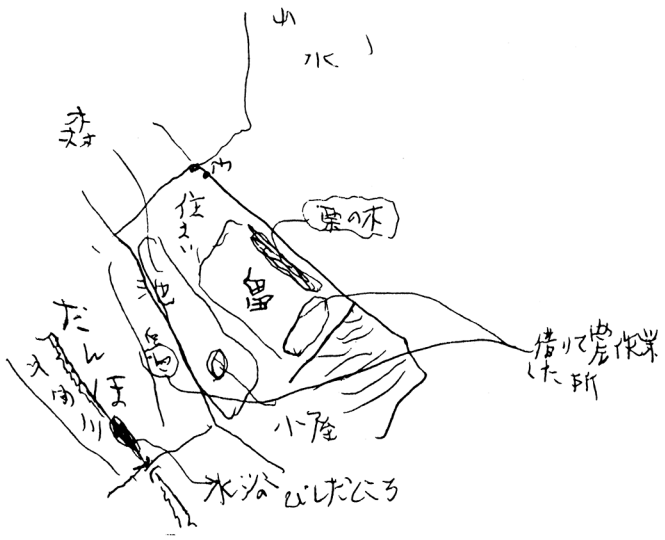
第二信

界隈史特集、非常に面白そう
終戦当時の仙川を思い出す。
気味のわるかった池、大きな
鳥居、苔むした社殿……。

前略　この度は早速界隈史特集をお送り頂き本当に有難うございました。軽く目を通し非常に面白そうで、とても嬉しくなりました。後は当時を思い出しながら、今の地図と比べながら、ゆっくり見たいと思っています。



2ケ所興味深い所がありました。一つは、一人で行くのは昼でも気味がわるかった池、時々農具を洗いに行ったものでした。その近くに朽ちてはいましたが、大きな鳥居がありました。社殿は鳥居に圧倒され記憶がはっきりしないのですが、残がいの苔むしたものがあったかもしれません。手水鉢は残っていました。人も寄り付かない淋しい所にと不思議でした。それが多くの人々の信仰を集め、お祭りの時はかなりの人で賑った時があったとは驚きました。今は鳥居も大理石となり、再建されているそうですが、私の見た荒れ果てたものでも、歴史的にはオリジナルに少しでも近く価値があるのかなと思っています。



もう一つは、京王線の軌道改良によって駅が半地下になったことは少しも知りませんでした。今の甲州街道（二十号）上りの左に見える滝坂低い所からもっと高い所まで上った場所は、まさにハードルのようなものがあったことが分かりました。土手を通る電車をよく眺めたものでしたが、昔は甲州街道が見えたのかなと目を閉じて想像したりしています。

二十二年の航空写真、その頃私はまだ通っていたわけですが、中島さんの畠がよく分かります。下の畠へ下る斜面の森もはっきり分かります。その南に大きな洞穴があり、その前が平坦になっていた所に小屋を作りました（終戦直前）。そこで、昼食を作ったり、昼休みなどしました。上の畠の脇の栗林は、大きな栗が採れるので、三鷹の武者さん宅に届けてあげ、喜ばれました。

「ある家族の肖像」の写真はひょっとしたら中島さんではないでしょかと思いました。四兄弟があそこに住居をかまえていたのですから。

武者小路さんの写真は新居に入られた時と思います。撮影は設計者の山口芳春氏だと思います。その写真と父・武勝宛のハガキを同封しました。

出所：京王あらかると特別号1994年３月

仙川駅発車標準時刻表　新宿方面

	平日	土曜・休日
4	シン 55	シン 55
5	14 28 41 52	14 28 41 51 59
6	1 13 24 32 36 41 45 53 57	14 22 32 37 44 55
7	3 8 12 16 20 23 27 31 35 39 43 47 51 55 59	0 12 21 28 32 41 48 51
8	3 7 11 15 19 23 27 31 35 40 45 50 55	1 8 11 23 29 38 44 51
9	3 8 17 23 29 32 36 43 50 56	2 11 23 31 43 51
10	2 10 16 22 30 36 42 50 57	3 11 23 31 43 51
11	2 10 16 22 30 36 42 50 57	3 11 23 31 43 51
12	3 10 16 23 30 36 43 50 57	3 11 23 31 43 51
13	3 10 16 23 30 36 43 50 57	3 11 23 31 43 51
14	3 10 16 23 30 36 42 50 57	3 11 23 31 43 51
15	2 10 16 23 30 36 43 50 57	3 11 23 31 43 52
16	2 10 16 23 30 36 43 50 57	3 12 23 32 43 52
17	3 10 16 23 30 36 43 51 57	3 12 23 31 43 51
18	3 11 16 23 31 36 43 51 57	3 11 23 31 43 51
19	3 11 16 23 31 36 44 55	3 11 23 31 43 50
20	0 5 14 20 25 34 44 54	3 9 23 29 本 35 43 49
21	4 13 23 33 43 52	3 12 22 33 45 53
22	3 11 22 32 47 59	5 14 26 32 45
23	11 24 37 49 岩 59	1 12 25 37 48 岩 59
0	シン 桜 11 50	シン 桜 11 50

仙川駅発車標準時刻表　橋本・高尾山口・京王八王子方面

	平日	土曜・休日
4	つ 47	つ 47
5	20 39	20 39
6	山 馬 山 府 1 16 27 36 48 54	橋 1 16 29 42 49
7	橋 山 橋 府 橋 高 府 橋 山 府 0 9 15 19 26 30 36 42 50 56	橋 府 橋 府 山 山 1 12 19 26 31 38 48 57
8	橋 馬 橋 馬 橋 馬 つ 調 山 つ 調 つ 1 5 10 14 18 23 27 31 35 40 44 48 52 55 59	橋 山 橋 山 橋 6 9 17 27 30 35 47 55
9	山 高 つ つ 橋 山 橋 山 3 7 14 20 24 28 30 35 40 48 55	橋 橋 橋 1 8 21 28 41 49
10	橋 山 橋 山 橋 山 1 9 17 21 29 35 41 49 56	橋 橋 橋 1 9 21 29 41 49
11	橋 山 橋 山 橋 山 1 9 16 21 29 36 41 49 56	橋 橋 橋 1 9 21 29 41 49
12	橋 山 橋 山 橋 山 1 9 16 21 29 36 41 49 56	橋 橋 橋 1 9 21 29 41 49
13	橋 山 橋 山 橋 山 1 9 16 21 29 36 41 49 56	橋 橋 橋 1 9 21 29 41 49
14	橋 山 橋 山 橋 山 1 9 16 21 29 36 41 49 56	橋 橋 橋 1 9 21 29 41 49
15	橋 山 橋 山 橋 山 1 9 16 21 29 35 41 49 56	橋 橋 橋 1 9 21 29 41 49
16	橋 高 橋 高 橋 高 1 9 16 22 30 36 42 50 56	橋 橋 橋 1 9 21 30 41 50
17	橋 高 橋 高 橋 高 2 10 16 22 29 36 42 49 56	橋 橋 橋 1 9 21 30 41 50
18	橋 高 橋 高 橋 高 2 10 16 22 29 36 42 50 56	橋 橋 橋 1 9 21 29 41 49
19	橋 高 橋 高 橋 府 2 10 16 22 30 36 42 50 56	橋 橋 橋 1 9 21 29 41 49
20	橋 府 橋 府 橋 府 2 10 19 25 29 39 45 50 59	橋 高 橋 高 橋 1 9 21 28 41 48
21	橋 府 府 府 5 9 19 28 39 48 59	橋 高 橋 高 橋 1 7 16 26 37 46 58
22	府 府 府 若 8 18 28 38 48 58	橋 橋 橋 高 6 18 25 38 45 57
23	高 つ 橋 つ 8 17 27 39 48	橋 高 橋 つ 5 15 27 39 48
0	高 セ 高 調 つ 4 18 26 35 42	高 セ 高 調 つ 5 17 28 34 42

凡例　黒一各駅停車、無印一新宿、(下り無印一京王八王子)、シン一新線新宿、岩一岩本町、本一本八幡、山一高尾山口、馬一府中競馬正門前、府一府中、橋一橋本、高一高幡不動、調一調布、つ一つつじケ丘、桜一桜上水、セ一京王多摩センター、若一若葉台

○　せんがわ２１　人財＆カンパ大募集!!　○

せんがわまちニティ情報センターは、せんがわにおける総合的な情報センターとして、せんがわの資料室・広報室・企画室の役割を担い、雑誌社やボランティアバンク、シンクタンクの機能を追求しています。有志のボランティア活動が基本で、チエ・パワー・カネを持ち寄り、センター及び『せんがわ・21』の維持運営にあたっています。現在、センターでは、『せんがわ・21』の定期刊行のために取材・編集及び制作スタッフを募集しております。また、資金面でのご支援もいただきながら、新しき街・せんがわづくりのための諸活動を展開していきます。

□賛助会員とは――センターの目的と活動に賛同し、維持のために支援してくれる人。
賛助会員会費・・・一口５０００円の随時カンパ

□維持読者とは――『せんがわ・21』の刊行維持のために支援してくれる人。
維持読者会費・・・一口１０００円の随時カンパ

◆お申込・会費は郵送あるいは、当方へお電話下されば取りに伺います。尚、下記の口座もご利用下さい。当該支店にお振込みいただければ、手数料はかかりません。

郵便振替　口座番号　００１５０－６－５７０６８８
加入者名　せんがわまちニティ情報センター

銀行等　芝信用金庫　仙川支店　普通９０３１２５８
永楽信用金庫　仙川支店　普通００３４４２９
第一勧業銀行　調布仙川支店　普通１８０２３４８
東京相和銀行　仙川支店　普通１１９０６８
三菱銀行　仙川支店　普通００７７３４７
口座名　せんがわまちニティ情報センター　青野友太郎

プラザ・ギャラリー　展覧会スケジュール　(1994年下半期)

7/2 → 7/31	高木敏行展　中庭にて磯部聡作品展示 オープニング・パーティ　7/2
8/1 →8/31	常設展
9/3 →9/27	関　直美展　鈴木英明展　第四回若手作家現代美術交流展 オープニング・パーティ　9/3　(同時)　“ＡｎＡｃｔｉｏｎ”
10/1→10/25	森脇隆赫展　林　敏郎展　鹿江恭夫展　阿部高治展 オープニング・パーティ　10/1　(同時)
11/3→11/29	大塩博美展　奈良原一高展　森脇裕之展 オープニング・パーティ　11/5 (同時)
12/3→12/23	第六回チャリティー　遠藤ナオミ展　末次宏二展　伊東篤宏展 ゆかりの作家展 打ち上げパーティ　12/23　(同時)

――せんがわまちニティ情報センター　会計報告――

○賛助会費受領（一口5千円）

酒井一真　柳田郁子　中村八郎　黒川弘
川口三八　山岡義典　藤丸卓男・陽子
元木キサ子　角田陽次郎　若葉町自治会
市原幸子　岩田幹雄　佐々木孝一・清子
海上道雄・悦子　小梶雅子　岡並木・睦
阿部實　池上政弘　珈琲店らら　高葉宏
伊藤薫　伊藤秀樹　若葉商友会　E・S
安藤雄三・光枝　吉田央舟　仙川婦人会
篠山貴之　E・M　新井祥文　大宅憲一
小山桂子　加藤廣　松井幸彦　東間紀子
岡部敏英　末吉保雄　三沢浩　高野公男
安保忠昭　日隈久典　伊藤恭二　K・I
菅孝子　山岡昭男　小笠原修身　堀平八
難波田紀夫　清水八重子　青野友太郎
浜島光子　林貞夫　佐々間信　田中トク
吉田萃・紀子　清水正男　鈴木久美子
森眞三郎　▽計91口

○カンパ誌代（一冊2千円）
122名2532冊5064千円

○委託販売分（一冊1600円）
140冊　224千円

○広告収入（第14号）1010千円

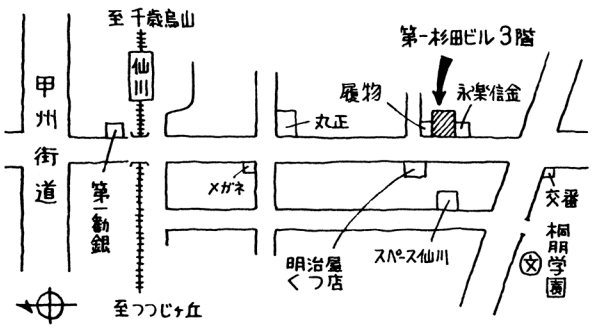
○合計　6753千円

各位のご支援に深謝いたします。

仙川風ボロ市“まちニティ市”の再開幕!!

毎月第3土曜・日曜11時～15時
会場　まちニティサロン（下記地図参照）

○各人，各家庭で使っていない有用品を持ちよる交換市
本やビデオ，おもちゃや衣類，手づくり創作品などなど
○“お金”という紙キレや硬貨も交換の対象となります
“お金”とかえる時はいわゆる定価の4割以下の値段で
○会場への持ち込み，値段付，見世番などは当人の役割
○交換が成立した場合，その2割を“新しき街せんがわ基金”へのカンパをお願いしたいと思います。



□編集後記□

▼恐るべき君等の乳房夏来たる
―西東三鬼
ひょんなことから編集のお手伝いをすることになりました。面白い（＝ちょっとヘンな）人たちがいっぱいの編集室です。
（鈴木啓子）

▼春は花粉症で悩まされ、そして熱くて蚊のうるさいイヤ～な夏がやってきた。世の中一年中秋と冬だけならいいのにと思いつつン十年。そういえば就職戦線は氷河期とか、これまた困った……。
（こやま　きょうへい）

▼せめて内閣の変る頻度くらいで発刊したいものですね。でも芸術の秋までには間に合って、よかった、よかった。ん？　まだ三カ月あるって。
（山岡義典）

▼今回遅れた原因の一端は私にあります。すいません。でも、印刷所で遅れても、わたしの関知する所ではありません。信じて！
（山下　琢）

▼本誌が巷に出回るころ、僕らは本文でも紹介したフリーマーケットの準備の大詰めをむかえています。続けていきたい企画ですので、興味のある方、是非御一報下さい。
（大久保信昭）

▼人間、元気が一番。元気な時にはもっと元気を！　元気のない時にはそれでもなんとか元気を！　お米をたっぷり食べて元気な毎日に！
（加藤純一郎）

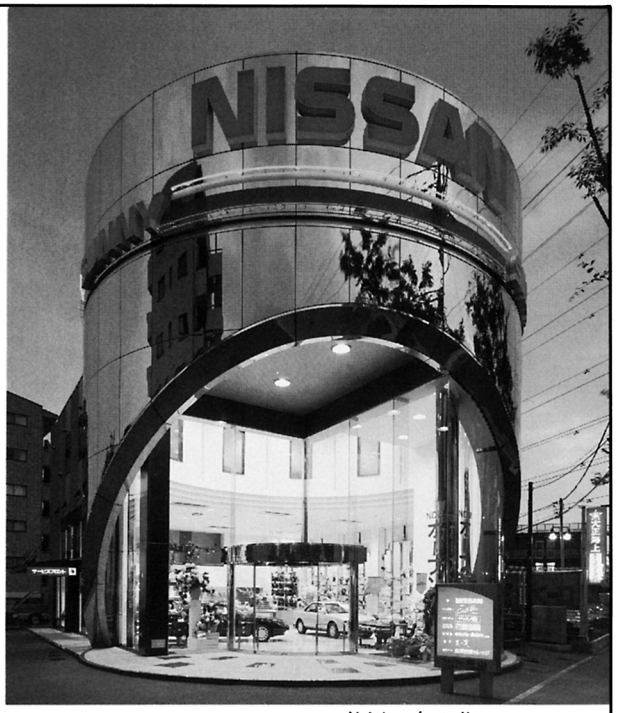
▼「一鼓作気」という中国のことわざをモットーとして編集の手伝いを始めたが、興奮、不安を感じながらいい勉強になりました。
（劉　雲）

▼「修身斉家平天下」の言葉をかみしめつつ、〝遠くまで行くのだ〟などという思念を新たにしてしまう。「21時から」「土・日曜」のまちニティライフの新鮮なる冒険を。より素直でかつ剛胆な知恵を今こそ!!

▼編集協力―松尾洋介　川口信子

せんがわ・21―第15号
アート・あっとホームな街　特集
発行日　1994年7月15日
頒　価　カンパ誌代300円
発行部数　5000部
編集長　劉　雲
発行兼編集人　青野友太郎
編集及　せんがわまちニティ情報
発行所　センター
調布市仙川町1・16・18
第一杉田ビル3F
〒182☎3326・2707
印刷所　㈱和幸印刷
製本所　㈱和幸印刷

• 個性あふれる
街づくり

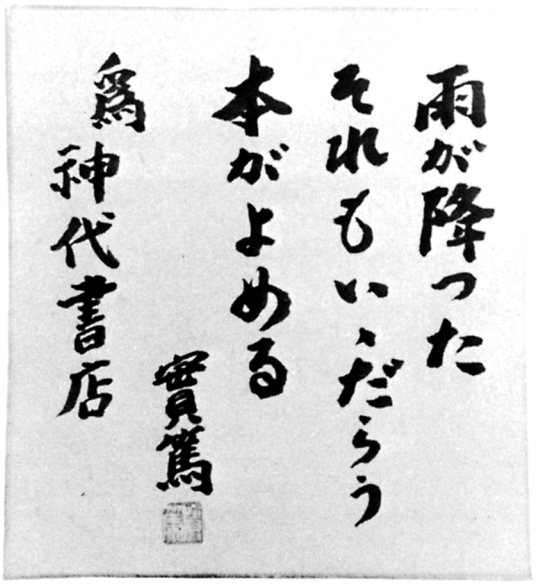


仙川・烏山作品—その33
フォーラム烏山

調布市仙川町１丁目15番地47号
ひなたビル

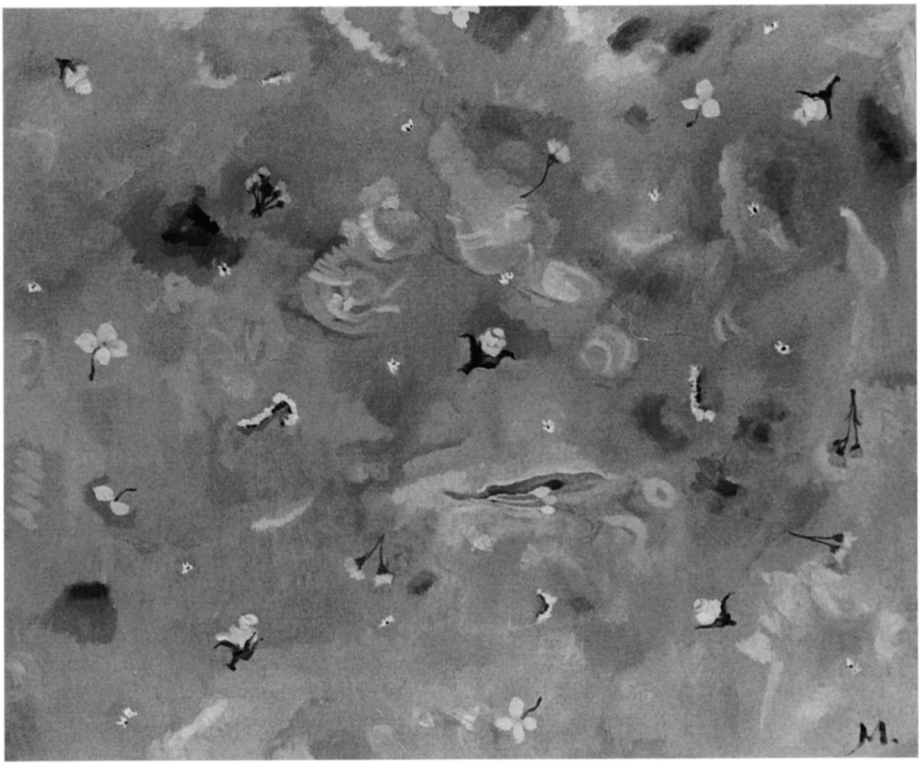
TEL 03-3300-0081
FAX 03-3300-7200

株式会社 グローバル設計



書籍と文具 神代書店

桐朋学園前 ☎ 3300-5633



「寄る辺なき五感－視覚」 **1994.2.26**

せんがわギャラリー



●三浦　利文（みうら　としふみ）

昭和38年、桐朋学園に勤務し、美術教育を担当する。画歴の上では、学生時代に独立美術展へ一度出品し、その後一度個展を開いた他は作品を公にしていない。確信の無いまま作品を公にすることにこだわりを持っていたためである。従って、ここに掲載されることは、顔から火の出る思いであるが、いつの頃からか、確信ほど手に負えないものは無いと確信するようになり、掲載をありがたくお受けした。

カンパ誌代 **300円**